

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
昭和30年 (1955) 及び 昭和31年 (1956)	<p>S30. 4. 日本地質学会の夜間小集会で災害地質に関する談話会が開かれる。これが本会発足の端緒となる。 出席者 10名</p> <p>災害地質研究連絡会発足(災害地質小委員会を改称) 事務局 京都大学理学部 会員 10名</p> <p>S30. 9. 災害地質研究連絡誌 第1号発行</p>	<p>S30. 3. 火山物理研究会ニュースNo.1発行</p> <p>5. 上椎葉ダム完成 戦後初のアーチ式ダム 堤高110m、堤長341m</p> <p>6. 日本鉱物学会 地質学会より独立</p> <p>11. 日本原子力研究所設立</p> <p>S31. 4. 日本第四紀学会創立</p> <p>4. 日本道路公団発足</p> <p>5. 科学技術庁設置 資源調査会を付置</p> <p>6. 工業用水法公布</p> <p>7. 気象庁設置 (中央气象台改組)</p> <p>10. 佐久間ダム竣工 堤高150m重力式</p> <p>12. 日本火山学会創立</p> <p>パターンソン 鉛の同位元素から地球の年齢をみつめる、45億年</p>	<p>S30. 5. 砂川闘争</p> <p>5. 宇高連絡船紫雲丸衝突事故</p> <p>8. 第1回原水爆禁止大会 広島</p> <p>8. 旧海軍燃料廠払い下げ 石油化学工業の発展</p> <p>11. 保守合同 自由民主党結成</p> <p>S31. 8. 原子燃料公社設立</p> <p>12. 国連総会 日本加盟可決</p> <p>S30~S31 新潟、能代、大館、魚津で焼失1000戸以上の大火事</p>
昭和32年 (1957)	<p>4. 応用地質研究連絡会発足 (災害地質研究連絡会より発展) 事務局 京都大学理学部 世話人代表 志岐常正</p> <p>会誌 災害地質研究連絡紙No.6及びNo.7を発行 会員数 36名</p> <p>12. 事務局を東京(地質調査所)に移転</p>	<p>3.31 特定多目的ダム法公布</p> <p>4. 日本古生物学会 地質学会より独立</p> <p>4.25 高速自動車国道法公布</p> <p>5.20 技術士法公布</p> <p>6. 9 小内ダム完成 堤高149m、堤長353m</p> <p>7.25 諫早豪雨：日雨量1,000mm以上 死者475名 行方不明489名</p> <p>8.16 日本科学技術情報センター設立</p> <p>8.27 東海村の日本原子力研究所で“原子の火”点火</p>	<p>1.29 南極予備観測隊 オングル島上陸 「昭和基地」と命名</p> <p>9. 本土縦断マイクロ波回線網完成</p> <p>10. 4 ソ連 初の人工衛星打ち上げ成功</p> <p>11. 日本原子力発電株式会社発足</p> <p>12. 6 日ソ通商条約調印</p> <p>12.28 NHKと日本テレビでカラーテレビ実験放送を開始</p> <p>なべ底不況</p>
昭和33年 (1958)	<p>1. 事務局 工業技術院地質調査所 世話人代表 尾原信彦</p> <p>2. 会誌名を応用地質研究連絡紙に変更 災害地質研究連絡紙(昭和30年)より通巻でNo.8号を発行 本時点をもって、日本応用地質学会設立とする。</p> <p>1.25 第1回研究連絡会</p> <p>3. 第2回講演会</p> <p>4. 9 第3回講演会</p> <p>5. 6 第4回講演会</p> <p>11. 7 第5回研究連絡会</p> <p>12.19 第6回講演会 会員数 141名</p>	<p>1.30 日本鉱山地質学会 地質学会より独立</p> <p>2. 1 粘土研究会創立</p> <p>3. 地すべり等防止法公布</p> <p>3. 9 関門国道トンネル開通 全長3,461m</p> <p>6.15 爆破地震研究グループ御母衣ダムで大爆破観測</p> <p>6.24 阿蘇山噴火：死者 12名</p> <p>6~8 (仏) パチスカーフ FNR3号 日本海溝潜水調査</p> <p>9.27 狩野川台風：死者 1,189名、流失家屋 1,044戸</p> <p>10.11 第一白龍号完成(海上における最初の試掘)</p> <p>11.20 建設省「河川砂防技術基準」作成</p>	<p>1.16 米 人工衛星打ち上げ成功</p> <p>8.12 全日空DC3 下田沖で遭難 死者 33名</p> <p>11.27 皇太子明仁殿下、正田美智子さまの婚約発表</p> <p>12. 1 一万円札発行</p> <p>12.23 東京タワー完成(333m)</p> <p>12. 公共用水域水質保全法 工場排水等規制法公布</p> <p>インスタントラーメン登場</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
昭和34年 (1959)	<p>1.24 事務局 農林省農地局資源課 世話人代表 堀田正弘</p> <p>11.13 例会</p> <p>12.23 総会 会員数 161名</p>	<p>1.30 海洋地質学小委員会設立</p> <p>2.20 科学技術会議設置法公布</p> <p>2. 第2次道路整備5か年計画決定</p> <p>4.20 国鉄東海道新幹線起工</p> <p>6.17 首都高速道路公団発足</p> <p>6~9 気象庁 凌風丸 日本海溝調査</p> <p>9.26 伊勢湾台風 : 死者・行方不明者5,101人、被災者 1,532,954人</p> <p>11. 4 化石研究会発足</p> <p>12. 2 日本地下水学会発足</p> <p>マルパッセ (Malpsset) ダム崩壊事故</p>	<p>1. 1 メートル法実施</p> <p>4.10 皇太子殿下、美智子妃殿下御成婚</p> <p>9. 中国 大慶油田発見</p> <p>10. 4 ソ連 宇宙ロケット月の裏側撮影</p> <p>12. 1 三井三池争議はじまる</p> <p>東京に緑のおばさん登場 岩戸景気</p>
昭和35年 (1960)	<p>1. 事務局 電源開発株式会社 世話人代表 一杉武治 (S35~S39)</p> <p>3. 研究連絡紙No.18に応用地質研究会会則を掲載</p> <p>4.27 第1回総会 応用地質研究会に名称変更 初代会長 広田孝一 (S35~40) 賛助会員制度採択 会誌名を「応用地質」に変更しタイプオフセット印刷とする</p> <p>6.29 第2回講演会</p> <p>12.21 第3回講演会</p> <p>12.21 応用地質 Vol.1 No.1~4 発行 (No.1~2はS30年の災害地質研究連絡紙 No.1から本年3月の応用地質連絡紙No.18までの再掲)</p>	<p>2.26 日向灘地震</p> <p>3.15 日本科学技術振興財団発足</p> <p>5.24 チリ地震で三陸地方大津波 : 死者139人</p> <p>6.20 科学技術庁資源調査会 新潟の地盤沈下は地下水の大量揚水が原因と結論</p> <p>7. 地理調査所 国土地理院と改称</p> <p>11.11 会長広田孝一氏 黄綬褒章を授与さる</p>	<p>1.29 アラビア石油 クウェート沖で第1号井成功</p> <p>6.23 日米安保条約発効 (60年安保闘争)</p> <p>9. OPEC (石油輸出国機構) 結成</p> <p>9.10 カラーテレビ放送開始</p> <p>12.27 閣議 国民所得倍増計画決定</p>
昭和36年 (1961)	<p>2. 1 第2回総会 委員を7名とする (現行4名) 会員数 260名</p> <p>4. 7 第1回講演会</p> <p>6.15 第2回講演会</p> <p>9.29 第3回講演会</p> <p>12.20 第4回講演会 会誌「応用地質」 Vol.2 No.1~4発行 (ただし No.3・4 は合併)</p>	<p>1. 第3回国際地球観測委員会 (パリ) UMP計画</p> <p>3. 国際地理連合 (IUGS) 創立総会(パリ)</p> <p>4. 海洋地質研究会発足</p> <p>4. 地震予知計画研究グループ結成</p> <p>7.31 北陸トンネル貫通 全長12,869m (日本最長)</p> <p>9.30 愛知用水完工</p> <p>10.24 御母衣発電所竣工 電源開発(株) (1957.6.着工) 御母衣ダム ロックフィルダム 堤高 131m、有効貯水量 3億3000万m<sup>3</sup></p> <p>11.15 災害対策基本法公布 ヘス、ディーツ 海洋底拡大説提唱</p>	

年	学会活動史	関連事項	一般社会史
昭和37年 (1962)	<p>1.31 第3回総会 会員数 308名</p> <p>4.27 第1回講演会</p> <p>6.29 第2回講演会</p> <p>10.16 第3回講演会</p> <p>12.14 第4回講演会 会誌「応用地質」 Vol.3 No.1~4発行 (ただしNo.3・4は合併)</p>	<p>4. 1 運輸省 港湾技術研究所設置</p> <p>4. 1 東京大学 海洋研究所設置</p> <p>5. 1 水資源開発公団発足</p> <p>5. 9~18 国際火山学会 (IAV) 開催 (東京・箱根・軽井沢)</p> <p>6. 8 奥只見発電所竣工</p> <p>7. アルキメデス号 (米) 日本海溝で9,545mに達す</p> <p>9. 6 激甚災害法公布</p> <p>9.26 若戸大橋 (福岡県) 開通 全長2,068m 東洋一</p> <p>10.19 新潟-東京間天然ガスパイプライン 全通 (335km) 東海大学 海洋学部設置 日本写真測量学会設立 日本国際地図学会設立</p>	<p>5. 3 常磐線三河島駅構内で二重衝突 (三河島事故)</p> <p>6. ばい煙排出規制法公布</p> <p>8.12 堀江謙一さん小型ヨットで太平洋横断</p> <p>8.30 戦後初の国産航空機YS-11初飛行に成功</p> <p>9. 中国 勝利油田発見</p> <p>10. 5 全国総合開発計画決定</p> <p>11. 米 有人衛星第1号打ち上げ成功 A2型流感 患者47万人 世界最大のマンモスタンカー 日章丸進水 (13万トン)</p>
昭和38年 (1963)	<p>1.31 昭和37年度定例総会 学会登録決議 会員数 348名</p> <p>2. 1 日本応用地質学会と改称する (英語名 Society of Engineering Geology of Japan) 会計年度は毎年1月1日から12月31日までとする 事務局 電源開発(株)水力調査部</p> <p>5.17 第1回講演会</p> <p>7. 8 第2回講演会</p> <p>10.26 第3回講演会 物理探鉱技術協会及び日本地下水学会と共催</p> <p>12.13 第4回講演会 会誌「応用地質」 Vol.4 No.1~4発行</p>	<p>1.23 北陸地方に豪雪 (38豪雪)</p> <p>3. 1 東京大学海洋研 淡青丸進水</p> <p>4. 1 科学技術庁に防災科学技術センター設置</p> <p>4. 3 日本地球化学会設立</p> <p>6. 5 黒部川第4発電所竣工 (1956.7.着工) 黒部ダム アーチダム 堤高:186m、有効貯水量:1億5,000万m<sup>3</sup></p> <p>10. バイオント (Vajont) ダム 地すべり</p> <p>10. 原子力研究所 動力試験炉JPDR初始動 松川で大深度試験に成功</p> <p>バイン、マッシュューズ海洋における地磁気異常縞模様の説明 —海洋底拡大説の傍証— 日本粘土学会設立</p>	<p>1.27 愛知大パーティ 北ア薬師岳で遭難</p> <p>7.12 閣議 13新産業都市指定</p> <p>8. 日本原子力船開発事業団発足</p> <p>8. 5 一部核停止条約調印 (モスクワ)</p> <p>9. 筑波研究学園都市 閣議了承</p> <p>11. 日米間T V宇宙中継成功 (ケネディ大統領暗殺)</p> <p>11. 9 三井三池炭坑炭じん爆発 死者458名</p> <p>11. 9 東海道線鶴見で二重衝突事故 死者161名 (鶴見事故)</p> <p>ポップコーン登録</p>
昭和39年 (1964)	<p>1.29 日本応用地質学会定例総会 (学会として第1回研究会時代からの通算では第5回) 会員数 432名</p> <p>5.12 第1回講演会</p> <p>7. 9 シンポジウム (第2回講演会はこれをもって代える)</p> <p>9.10 第3回講演会</p> <p>12.25 日本応用地質学会臨時総会開催 (会則変更について) 会長1名 委員長1名 委員20~25名 監査委員2名 各任期は1年とする</p>	<p>1.15 土木学会:「土木工学ハンドブック」</p> <p>2. 1 国土地理院 国土基本図を1/50,000から1/25,000に変更</p> <p>3. 7 アラスカ地震</p> <p>3.20 (社)土質工学会「土質試験法」</p> <p>3.23 日本鉄道建設公団発足</p> <p>4.10 首都高速 羽田海底トンネル貫通 全長300m 沈埋トンネル</p> <p>4.30 (社)土質工学会「土質調査法」</p> <p>6.16 新潟地震:(M7.5)地盤の液状化現象</p> <p>7.10 新河川法公布</p> <p>10. 1 東海道新幹線開通 (東京-新大阪間) 岩石物性研究会発足</p>	<p>大陸棚条約発効 シーラブ計画 (米) 水深58mに17日間居住</p> <p>4. 東京大学宇宙航空研究所発足</p> <p>8. 東京異常渇水 1日15時間断水</p> <p>10.10 第18回オリンピック ~24 東京大会開幕 衛星中継</p> <p>10.16 中国 初の核実験</p> <p>卓上電子計算機登場、重量25kg、価格53万5千円</p>

年	学会活動史	関連事項	一般社会史
昭和40年 (1965)	<p>1.28 昭和40年度定例総会 委員長制度採用 初代委員長 伊崎 晃 事務局 国立防災科学技術センター 西川 泰 (S40～S48) 会員数 502名</p> <p>4. 9 第1回講演会 7. 2 第2回講演会 10. 1 第3回講演会</p>	<p>ユネスコを主体とする国際水文10年計画 (IHD) はじまる</p> <p>3. 関東ローム研究グループ「関東ローム」発刊 7. 1 名神高速道路全線 189.8km供用 7. 4～18 ECAFE海底資源開発会議 (タイ) 8. 松代地震はじまる 11. 原研東海村発電所 初発電に成功、出力500kW</p> <p>ウィルソン トランスフォーム断層提唱?</p>	<p>6. 1 福岡県山野鉦でガス爆発 死者237名 6.12 阿賀野川流域で有機水銀中毒患者見つかる 6.22 日韓基本条約調印 10.21 朝永振一郎 ノーベル物理学賞授賞 12.10 日本 国連安保理事会の非常任理事国へ</p> <p>ビートルズブーム 日曜夕刊廃止 企業倒産増加</p>
昭和41年 (1966)	<p>1.31 日本応用地質学会定例総会 新会長 斉藤正次 (S41～S43) 名誉会員制度採用 広田孝一 福富忠男 高田 昭の3氏推薦される 北海道支部発足 会員数 522名</p> <p>3.30 北海道支部第1回例会 4.22 第1回講演会 7. 4 第2回講演会 10. 3 第3回講演会 12.28 北海道支部例会・講演会 12. 名古屋応用地質研究会誌 創刊 (名古屋応用地質研究会はS42年に東海地方支部となる)</p>	<p>4. 9 構造地質研究会発足 5. 日本科学者会議第1回全国大会 6.20～7.3 IUGS世界地図委員会 (パリ) 7. 東海発電所 営業運転開始 8.20 上越線 新清水トンネル貫通、全長13,490m (日本最長) 8.22～9.8 第11回太平洋学術会議 (東京) 9.25 山梨県足和田村に山津波 (台風26号) 10. 日本最初の地熱発電所 松川に完成</p> <p>東大海洋研究所調査船 白鳳丸進水</p>	<p>2. 3 全日空機東京湾に墜落 この後 カナダ航空機 (3.4)、BOAC機 (3.5)、全日空機(11.3) 等の大事故続発 3. 1 ソ連 金星3号 金星に到達 4.26 交通共闘統一スト (戦後最大の交通ゼネスト) 8. 8 中国 文化大革命起こる 12. 9 建国記念の日 2月11日復活</p> <p>電子レンジ登場 ミニスカート全盛 マイカー元年 (1000ccクラスのファミリーカー登場)</p>
昭和42年 (1967)	<p>1.31 定例総会 新委員長 芥川真知 (S42～S43) 東海地方支部発足 会員数 583名</p> <p>4. 7 北海道支部定例会・講演会 4.21 第1回講演会 5.27 水文地質小委員会発足 本学会より小野寺 透氏参加</p> <p>7. 4 第2回講演会 8. 北海道支部「蛇紋岩と工事に関する講演とシンポジウム」 10. 4 第3回講演会 12.22 第4回講演会 12. 「応用地質」 Vol.8 No.4に地質技術士試験問題集を掲載</p>	<p>5. 8 第1回国際地球化学会議 (パリ) 5.27 第1回水文地質委員会 8.28 羽越豪雨: 死者138名 9.23 国際火山学会 (IAV) を国際火山学及び地球内部化学協会 (IAVCEI) と改組 10. 2 石油開発公団発足 10. 2 動力炉・核燃料開発事業団発足(原子燃料公社の改組)</p>	<p>3. 米 サーベイヤー3号 月の土壤写真を電送 6. アラブ諸国 対米英石油禁輸 6. 中国 水爆実験 8.27 ユニバーシアード東京大会 9.11 米 サーベイヤー5号 月の表面化学分析 玄武岩に近似 10. 8 ソ連 ロケット金星に軟着陸成功</p> <p>ボウリングブーム 炭坑の閉山が相次ぐ</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
昭和43年 (1968)	<p>1.30 定例総会 会員数 603名</p> <p>2.13 第60回日本応用地質学会委員会 委員の分担を企画、編集、行事、庶務の4部門とする</p> <p>4.25 第1回講演会</p> <p>9.12 第2回講演会</p> <p>11.26 日本応用地質学会講演会</p>	<p>2.21 えびの地震</p> <p>3. 尾道大橋開通 日本一の斜張橋</p> <p>4. 霞が関ビル完成 日本初の超高層ビル</p> <p>4. 1 日本地質学会75周年記念大会</p> <p>4. 1 日向難地震</p> <p>5.16 十勝沖地震 (M7.8)</p> <p>6. 1 科学技術庁資源調査所設置 (資源局廃止)</p> <p>7.29 日本海洋資源開発技術協力会議 ～8.2</p>	<p>3.12 東大医学部紛争 この頃より各大学で紛争激化</p> <p>6. 大気汚染防止法 騒音規制法公布</p> <p>6.26 小笠原諸島返還</p> <p>8. 8 日本初の心臓移植手術</p> <p>8.18 土砂崩れのために観光バス2台が飛騨川へ 転落</p> <p>10.17 川端康成 ノーベル文学賞</p> <p>10.21 全学連新宿駅占拠 騒乱罪適用</p> <p>11. 原子力船「むつ」起工式</p> <p>12.10 府中市で3億円強奪事件</p> <p>イタイイタイ病 新潟水俣病 熊本水俣病を公害病と認定</p>
昭和44年 (1969)	<p>1.29 定例総会・記念講演会 新会長 田中治雄 (S44～S47) 会員数 625名</p> <p>3. 4 新委員長 倉持文雄 (S44～S47)</p> <p>3. 会誌「応用地質」の活版化により広告掲載を始める 国際地質工学連合 (AIEG) の日本代表に田中会長</p>	<p>3.20 科学技術庁潜水調査船「しんかい」竣工</p> <p>4. 1 骨材資源工学会設立</p> <p>4.24 地震予知連絡会設置</p> <p>5.26 東名高速道路全線開通 全長346.7km</p> <p>6.25 東京地学協会90年史「地学雑誌」</p> <p>9. 5 国際粘土会議</p> <p>9. 8 地下水資源及び人工地下水に関する専門家会議(ニューヨーク)</p> <p>9.11～16 第1回国際地質対比計画(IGCP)会議(ブタペスト)</p> <p>9.17～20 ユネスコ主催 地盤沈下に関する国際シンポジウム (東京)</p> <p>米深海掘削船 グロマーチャレンジャー号活動</p>	<p>1.15 千葉県野島崎沖で5万トン級鉍石運搬船「ぼりびあ丸」沈没</p> <p>1.18 東大安田講堂事件 ～19</p> <p>3.12 東京に大雪 積雪30cm</p> <p>3.23 八郎潟干拓事業完了</p> <p>5. 新全国総合開発計画 閣議決定</p> <p>6.12 原子力船「むつ」進水</p> <p>7.21 米 アポロ11号 月面着陸 人類の第1歩</p> <p>10. 1 宇宙開発事業団発足</p> <p>グリーン車登場</p>
昭和45年 (1970)	<p>1.30 定例総会・講演会 立岩 巖氏 名誉会員に推薦される 会員数 681名</p> <p>4.16 北海道支部例会, 物理探鉱技術協会 北海道支部共催</p> <p>10. 8 講演会</p>	<p>2.20 地震予知連で地震観測強化地域と特定観測地域を設定</p> <p>3.16 UJNRの海洋工学委員会合同会議 (東京)</p> <p>3.24 学会名誉会員 福富忠男氏逝去</p> <p>7. 1 本州四国連絡橋公団発足</p> <p>8.25～9.6 第7回国際鉍物学会議 鉍床学会議 (東京, 京都)</p> <p>9.22～10.1 国連地熱開発利用シンポジウム(ピサ)</p> <p>9.28～10.5 水資源開発会議 (バンコク)</p> <p>10. 2 山陽新幹線六甲トンネル開通 全長16,250m</p> <p>市川浩一郎他「日本列島地質構造発達史」</p>	<p>2.11 東大人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功</p> <p>3.31 赤軍派学生 日航機「よど号」乗っ取り</p> <p>3.14～9.14 日本万国博覧会 (大阪)</p> <p>7. 光化学スモッグ発生</p> <p>11. 北海でフォーティーズ油田発見</p> <p>11.25 三島由紀夫 市ヶ谷の自衛隊で割腹自殺</p> <p>12. 公害関係14法案成立</p> <p>農薬汚染, ヘドロ公害等の産業公害多発 フライドチキン登場</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
昭和46年 (1971)	<p>1.29 定例会議・講演会 関西支部発足 役員の任期を2年とする 会員数 700名</p> <p>1.22 北海道支部総会・講演会</p> <p>5. 8 関西支部第1回総会・講演会</p> <p>7.16 応用地質座談会</p> <p>11.26 新潟応用地質研究会開催</p>	<p>2. 国連第1回天然資源常設委員会（ニューヨーク） ～3.</p> <p>7. 1 総理府に環境庁設置</p> <p>8.18 第12回太平洋学術会議（キャンベラ） ～27</p> <p>国際水文地質学会アジア地域会議（IAH）東京</p> <p>11.11 川崎市生田のがけ崩れ実験で生き埋め事故 科学技術庁 シートピア計画開始 国際海洋研究10カ年計画実施（IDOE） 世界最古のアミツォク片麻岩（40億年）発見</p>	<p>3. 内閣 宇宙開発に関する基本計画決定</p> <p>6.17 沖縄返還協定調印</p> <p>7. 3 東亜国内航空機 函館北方で遭難</p> <p>7.30 零石上空で全日空機 自衛隊機と接触墜落（零石事故）</p> <p>8.16 ドル・ショック 東京株式暴落</p> <p>10.25 中国 国連に加盟</p> <p>12.16 日本円切上げ 1ドル308円</p> <p>カップヌードル登場</p>
昭和47年 (1972)	<p>2.15 定例総会・講演会 会員数 780名</p> <p>5.15 関西支部総会・講演会</p> <p>10.27 研究発表会</p>	<p>3.15 山陽新幹線 大阪ー岡山間開業</p> <p>7. 1 石油開発公団 石油開発技術センター設置</p> <p>7. 2 西日本豪雨：天草郡上島で土石流 ～14</p> <p>10. 4 UJNR海洋資源工業調整委員会（東京）</p> <p>10.12 学会名誉会員 広田孝一氏逝去</p> <p>10.13 国際地球内部ダイナミクス研究計画（GDP）開始</p> <p>12. 4 八丈島東方沖地震（M7.3）</p>	<p>5.13 大阪 千日デパートビル火災</p> <p>5.15 沖縄返還 沖縄県発足</p> <p>6.11 田中通産相「日本列島改造論」発表</p> <p>7.24 米 地球資源技術衛星「アーツ」打ち上げ</p> <p>11. 6 北陸トンネルで急行が火災（北陸トンネル事故）</p> <p>阿賀沖油田・ガス田発見 パンダ・ブーム</p>
昭和48年 (1973)	<p>3. 6 定例総会・講演会 新会長 小野寺 透（S48～S52） 新委員長 松野 久也（S48～S49） 事務局 木野 義人（S48～S54） 第1回学会論文奨励賞 3編 「山崩れ頻発地での崩壊予知の研究」本官一邦 「岩石の吸水膨張とその地質工学的意義」 星野 寔・小林雄一・吉田 保 「利尻島の地下水について」山口久之助・小原常弘 運営組織として事務局 編集委員会、行事委員会を置く 会員数 835名</p> <p>6.14 北海道支部講演会</p> <p>7. 学会事務の一部委託</p> <p>10.25 研究発表会</p>	<p>2. アメリカを中心とする環太平洋マッププロジェクト発足</p> <p>2. 1 浅間山噴火</p> <p>4.12 小笠原西之島 海底噴火活動</p> <p>7.25 通産省 資源エネルギー庁発足</p> <p>9.29 国立極地研究所設立</p> <p>10. 1 地熱エネルギー開発国際協力計画会議（カリフォルニア） ～15</p> <p>11.14 関門橋完成</p>	<p>1.27 パリでベトナム和平協定</p> <p>2.24 足尾銅山閉山</p> <p>5. 宇宙開発事業団筑波宇宙センター開所式</p> <p>8. 8 金大中誘拐事件</p> <p>10. 1 筑波大学設置</p> <p>10. 6 第4次中東戦争</p> <p>10.17 OPECの6カ国石油大幅値上げ （第1次オイルショック）</p> <p>10.23 江崎玲於奈にノーベル物理学賞</p> <p>11.29 熊本市大洋デパート火災 死者103名</p> <p>磐城沖ガス田発見 列島改造ブーム</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
昭和49年 (1974)	<p>4.20 定例総会・講演会 企画、国際の2委員会の新設(計4委員会)</p> <p>4. 国際応用地質学会 (IAEG) に加入</p> <p>8. 8 国際応用地質学会 第2回国際会議がブラジル(サンパウロ)で開催、日本より9名出席</p> <p>11. 1 研究発表会</p>	<p>2.11 世界地質図委員会 南・東アジア部分第1回会議(カルカッタ)</p> <p>3. 1 鳥海山 153年ぶりに噴火</p> <p>3.15 国立公害研究所設立</p> <p>3. 地質調査船「白嶺丸」就航</p> <p>4.11 工技院サンシャイン計画推進本部発足</p> <p>5. 9 伊豆半島沖地震(M6.8)</p> <p>6.26 総理府に国土庁設置</p> <p>7. 火山噴火予知連絡会設置</p> <p>8. 第1回環太平洋エネルギー鉱物資源会議(ホノルル)</p> <p>9. 台風により狛江市で多摩川堤防決壊</p> <p>10. 3 ペルーで大地震:死傷者2,000名以上</p> <p>11. 地震予知研究推進連絡会設置</p>	<p>3. 名古屋新幹線公害訴訟</p> <p>3.12 小野田元少尉ルバン島より帰国</p> <p>5. インド 地下核実験発表</p> <p>6. 電源3法公布</p> <p>9. 1 原子力船「むつ」放射線もれ事故</p> <p>10. 8 佐藤栄作前首相 ノーベル平和賞</p> <p>12. 三菱石油水島製油所で重油流出事故(3万7300kL)</p>
昭和50年 (1975)	<p>4. 9 北海道支部臨時総会・講演会</p> <p>6.20 定例総会・講演会 委員長制を評議員会制度に改編 会長1名 副会長2名 庶務、編集、行事、企画、国際、財政の6委員会を設置 第2回論文奨励賞 2編 「深成岩の風化に関する研究」三浦 溝 「花崗岩分離面のせん断強度特性」吉中龍之進・吉田政美</p> <p>10.22 関西支部見学会「淡路島の地質構造と応用地質学的諸問題」</p> <p>11.29 研究発表会</p>	<p>3.10 山陽新幹線 岡山-博多間開業 東京-博多間で6時間を切る</p> <p>5.16 IUGSの第1回太平洋地域新第三系国際会議(東京) ~21</p> <p>8. 6 東北地方に豪雨 青森県岩木町で鉄砲水 ~29</p> <p>8.18 第13回太平洋学術会議(バンクーバー) ~29 日独科学技術協力海洋科学技術パネル 日仏科学技術協力海洋開発専門部会発足</p>	<p>1.6 32万トン級タンカー「祥和丸」マラッカ海峡で座礁</p> <p>4.30 サイゴン陥落</p> <p>5. 7 エリザベス英王女夫妻来日</p> <p>6. 8 金星9・10号 金星表面の撮影に成功</p> <p>7.16 江戸川区の埋め立て地より六価クロム検出</p> <p>7.19~S51.7.8 沖縄海洋博覧会開会</p> <p>11. 3 英 北海油田生産開始</p> <p>シートピア計画100m海中実験 プッシュボタン式公衆電話登場</p>
昭和51年 (1976)	<p>5.19 関西支部総会・講演会</p> <p>6.26 定例総会・講演会 会長 小野寺 透 初代副会長 池田和彦 黒田秀隆 評議員 39名 監査委員 2名 理 事 15名 地方支部 北海道 関西 会員数 1,011名(8.31現在)</p> <p>11. 6 関西支部見学会「湖南・宇治周辺の地質特性と応用地質学的諸問題」</p> <p>11.13 研究発表会</p>	<p>5.17 第1回太平洋地域新第三系国際会議 ~21 (東京)</p> <p>8.16 第25回万国地質学会議(シドニー) ~25</p> <p>9.14 台風17号により岐阜県安八町で長良川堤防決壊</p> <p>10.29 内閣に地震予知推進本部設置</p> <p>12.24 海洋開発審議会 「わが国海洋開発推進の基本構想および 基本的方策について」答申</p>	<p>2. ロッキード事件発覚</p> <p>2~7 風疹大流行</p> <p>7.27 ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕</p> <p>10.29 酒田市で大火 焼失1,200戸</p> <p>宅急便登場</p>

年	学会活動史	関連事項	一般社会史
昭和52年 (1977)	<p>3.25 北海道支部総会・講演会</p> <p>5.28 S52年定例総会 会計年度を4月～3月に変更 (従来1月～12月)</p> <p>11.12 研究発表会</p> <p>11.19 関西支部見学会「兵庫県播磨地域の地質特性と山地災害」</p>	<p>2.14 通産省 総合エネルギー対策推進本部設置</p> <p>4. 高速増殖炉「常陽」が臨界</p> <p>7. 国鉄 世界初のリニアモーターカーの走行テスト成功</p> <p>8. 7～12 有珠山噴火</p> <p>8.19 第7回環太平洋深成作用プロジェクト(CPPP)研究集会 ～26 (名古屋, 富山)</p> <p>11. 2 国立科学博物館創立100年記念講演会</p> <p>12. 火山噴火予知研究シンポジウム(東京)</p>	<p>1. 4 品川駅付近の電話ボックスに毒入りコーラ 2名死亡</p> <p>1～2 全国的寒波 日本海側は豪雪</p> <p>5. 2 12カイリ領海法 200カイリ漁業水域法公布</p> <p>7.14 国産初の静止気象衛星「ひまわり」ケネディ宇宙センターから打ち上げ</p> <p>9. 3 巨人軍王選手 通算756号ホームラン世界記録樹立</p> <p>11. 気象庁静止気象衛星「ひまわり」の運用開始</p> <p>11. 4 閣議 第3次全国総合開発計画決定</p> <p>初任給10万円時代到来</p>
昭和53年 (1978)	<p>5.27 総会・講演会 会長 倉持文雄(S53～S56) 副会長 芥川真知(S53～S56) 第3回論文奨励賞 2編 「写真地質解析のための水系パターンの定量化と多変量判別」小島圭二・登坂博行 「大鳴門橋の地盤調査」宮島圭司 会員数 1,183名</p> <p>5.12 北海道支部講演会</p> <p>11.25 関西支部見学会 「近畿西部の中央構造線の地質特性と応用地質学的諸問題」</p>	<p>1.14 伊豆大島近海地震(M7.0) ～15</p> <p>4. 工技院 省エネルギー技術開発「ムーンライト計画」実施</p> <p>4. 活動火山対策特別措置法施行</p> <p>5. 9 第1回南極地質コロキウム</p> <p>6.12 宮城県沖地震(M7.4) : 死者27人</p> <p>6.27 第1回測地学審議会噴火予知委員会</p> <p>6.27 石油開発公団 石油公団と改称</p> <p>7. 5 農林省 農林水産省と改称</p> <p>8. 7 地震予知連で特定観測地域の見直し</p> <p>10.10 本四連絡橋 児島一坂出ルート正式着工</p> <p>学術会議〈Recent Progress of Natural Science in Japan〉 Vol.3 (地質学鉱物学関係) 岩波講座「地球科学」全16巻刊行開始</p>	<p>5.20 新東京国際空港(成田)開港</p> <p>6. 1 福岡市で異常湧水 時間給水</p> <p>6.15 大規模地震対策特別措置法公布(S53.12.14施行)</p> <p>7. 国鉄 リニアモーターカー試験車時速337kmの世界新記録達成</p> <p>8.12 日中平和友好条約調印</p> <p>12.14 大規模地震対策特別措置法施工 永大産業、VAN、筑摩書房等の大型倒産が相次ぐ</p>
昭和54年 (1979)	<p>1. 1 事務局独立 西早稲田2丁目に移転</p> <p>3.16 北海道支部総会・講演会</p> <p>4. 1 九州支部設立</p> <p>4.21 関西支部総会・講演会</p> <p>5.19 総会・講演会 英文学会名改称 JAPAN SOCIETY OF ENGINEERING GEOLOGY 会員数 1,210名</p> <p>5.25 北海道支部研究発表会</p> <p>10.19 研究発表会・20周年記念行事(シンポジウム) ～20</p> <p>10.27 関西支部見学会「西神戸地域における応用地質学的諸問題」</p> <p>10.27 九州支部総会・講演会・見学会(福岡市)</p>	<p>1. 8 代替エネルギー国際会議 ～13</p> <p>8.20 第14回太平洋学術会議(ハバロフスク) ～9.1</p> <p>10.28 木曾御岳山 有史以来初噴火</p> <p>11. 1 地質調査所 筑波研究学園都市へ移転</p> <p>11. 1 東京地学協会創立100周年記念講演 ～2</p> <p>11.15 物理探鉱技術協会 物理探査学会に名称変更</p> <p>洋上石油備蓄基地 現地調査始まる</p>	<p>1. 1 米中国交正常化</p> <p>1.13 国公立大で初の共通一次試験実施</p> <p>1. イラン革命による第2次石油危機</p> <p>3.28 米スリーマイル島の原発事故</p> <p>6.29 第5回先進国首脳会議(東京サミット)</p> <p>7.11 日本坂トンネル事故 死者 7人</p> <p>プロ野球ドラフトの「空白の一日」江川(神)小林(巨)のトレード</p>

年	学会活動史	関連事項	一般社会史
昭和55年 (1980)	<p>3. 北海道支部「地質調査法の問題点 その1 ボーリング調査の関題点」発行</p> <p>5.23 北海道支部研究発表会</p> <p>5.24 関西支部総会・講演会</p> <p>5.31 定例総会・講演会</p> <p>副会長 池田俊雄 山本栄一 (S55,56)</p> <p>各委員長改選 会員数 1367名 (S54年度末)</p> <p>第4回論文奨励賞 3編</p> <p>「硬質岩盤における節理分布の数量モデル化及びその摘要に関する考察」緒方正彦</p> <p>「岩石の物理量の相互関係及び物理量による岩石の工学的分類に関する試案」他 糟谷憲司</p> <p>「トンネル掘削に伴う内空変位の予測」</p> <p>浅野勝博・近藤達敏・若佐秀雄</p> <p>6.21 九州支部総会・講演会</p> <p>10.24~25 シンポジウム・研究発表会</p> <p>11.14~15 九州支部講演会・見学会 (大分県)</p> <p>11.15 関西支部見学会「奈良~京都地域の開発と応用地質学的諸問題」</p>	<p>5.19 セントヘレンズ火山大噴火</p> <p>7. 7 第26回万国地質会議 (パリ) ~17</p> <p>8.23 第24回国際地理学会議 (東京) ~9.5</p> <p>8. 科学技術会議「ライフサイエンス推進に関する意見」提言</p> <p>10. 1 新エネルギー総合開発機構発足</p> <p>石油公団による南極地域石油基礎地質調査開始 白嶺丸使用</p> <p>日韓大陸棚石油試掘開始</p>	<p>3. 波力発電装置「海明」海上実験成功</p> <p>4.25 政府モスクワオリンピック不参加決定</p> <p>6.22 衆参両院同時選挙</p> <p>8.14 富士山で大落石事故</p> <p>8.16 国鉄静岡駅前地下街でガス漏れ大爆発 死者14人</p> <p>11. 動燃 プルトニウム燃料の国産化成功</p> <p>ルービックキューブ大流行</p> <p>スポーツドリンク隆盛</p>
昭和56年 (1981)	<p>3.27 北海道支部総会・講演会</p> <p>「地質調査法の問題点 その2 ボーリング孔内検層調査の問題点」発行</p> <p>3.30 「建設工事における断層」特別号発行 (第1号)</p> <p>5.16 九州支部総会・講演会</p> <p>5.22 北海道支部研究発表会</p> <p>5.23 定例総会・講演会</p> <p>会員数 1,515名 (S55年度末)</p> <p>5.23 関西支部総会・講演会</p> <p>6. 3 北海道支部青函トンネル等の見学会 ~5</p> <p>10.25 九州支部講演会・見学会 (長崎県) ~26</p> <p>11. 6 シンポジウム・研究発表会 ~7</p> <p>11. 8 関西支部見学会「六甲山地の地質構造と応用地質学的諸問題」</p>	<p>1.22 地震予知総合研究振興会発足</p> <p>3.15 島弧変動シンポジウム (千葉県公害研) ~16</p> <p>4. 宇宙科学研究所発足</p> <p>7.22 科学技術会議「防災に関する研究開発基本計画について」を答申</p> <p>8.28 国際火山学地球内部化学会(IAVCEI) ~9.8 弧状列島の火山活動シンポジウム (東京 箱根)</p> <p>10. 3 潜水調査船「しんかい2000」熊野灘で2,800mを記録</p>	<p>3.16 臨時行政調査会発足</p> <p>4.18 敦賀原発で高レベル放射性廃棄物漏れ</p> <p>6. 6 国家公務員の定年制決まる</p> <p>6. 仁尾太陽熱試験発電所 (電源開発) タワー集光方式で1,000kW発電</p> <p>6. 通産省 テクノポリス候補地16地区を発表</p> <p>8.26 米 ボイジャー2号 土星に接近</p> <p>10. 6 北炭夕張新鉱でガス突出事故 死者・不明93人</p> <p>10.19 福井謙一氏にノーベル化学賞</p> <p>日本にマイコンブーム起こる</p> <p>国鉄「フルムーン」発売</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
昭和57年 (1982)	<p>3.26 北海道支部総会・講演会</p> <p>5. 関西支部設立10周年記念論文集 「応用地質学の最近の研究」発行</p> <p>5.22 定例総会 会 長 芥川真知 (S57~S60) 副会長 篠木嶺二 (S57~S60) 委員長改選 第5回論文奨励賞 2編 「関越トンネルにおける山はね」猪間英俊 「割れ目系岩盤における透水係数算定の基礎的考察」 渡辺邦夫・古田島信義 会員数 1,700名 (S56年度末)</p> <p>5.23 関西支部総会・研究発表会</p> <p>5.28 北海道支部研究発表会</p> <p>5.29 九州支部総会・講演会</p> <p>6.18 北海道支部見学会</p> <p>10. 8~9 シンポジウム・講演会</p> <p>11. 6 関西支部見学会「亀岡・篠山地域の水理地質と応用地質学的諸問題」</p> <p>11.13~14 九州支部講演会・見学会 (熊本)</p> <p>12. 4 九州支部研究発表会</p>	<p>3.21 北海道浦河町で震度6 重軽傷 147人</p> <p>6.23 東北新幹線開業 (大宮-盛岡間)</p> <p>7.23 九州北西部、山口県に豪雨 長崎市で死者・不明 299人 (長崎豪雨)</p> <p>8. 2 台風10号による被害続出 死者・不明者 81人</p> <p>11.15 上越新幹線開業 (大宮-新潟間)</p> <p>第5世代コンピュータの官民合同による開発事業がスタート</p>	<p>2. 8 通信衛星「さくら2号」打ち上げ</p> <p>2. 8 ホテルニュージャパン火災</p> <p>2. 9 日航機羽田沖墜落事故 24人死亡</p> <p>5.24 フォークランド紛争</p> <p>5.23 日米通商摩擦 市場解放策第2弾決定</p> <p>6. 国鉄 有人型リニアモーターカーで時速300kmの浮上走行</p> <p>6.22 IBMスパイ事件 (おとり捜査)</p> <p>10. 9 北炭夕張炭坑閉山</p> <p>11. 4 1ドル278円65銭 以降円高</p> <p>11.27 中曽根内閣誕生</p> <p>二次半導体戦争 エアロビクスダンス流行</p>
昭和58年 (1983)	<p>4.15 支部総会・特別講演会</p> <p>5.21 定例総会・シンポジウム 会員数 1,757名 (S57年度末)</p> <p>6. 2 北海道支部研究発表会・見学会 ~3</p> <p>6. 4 九州支部総会・講演会</p> <p>8.12 関西支部講演会 ロンドン大学ハッチンソン教授「地すべり」</p> <p>9.17 九州支部研究発表会</p> <p>10.28 研究発表会 ~29</p> <p>11.11 九州支部講演会・見学会 ~12</p> <p>11.19 関西支部見学会「湖西地域の応用地質学的諸問題」</p> <p>12.17 関西支部災害シンポジウムと研究発表会 ~18</p>	<p>1.27 青函トンネルの先進導坑 着工以来19年ぶりに貫通</p> <p>5.26 日本海中部地震 (M7.7) : 地盤の液化化、津波、死者・行方不明 104人</p> <p>7.22 山陰地方に集中豪雨 死者119人</p> <p>10. 3 三宅島大噴火: 溶岩流により阿古地区の400戸焼失</p> <p>11.28 日本学術会議法改正 会員選出を公選制から推薦制へ</p>	<p>1.23 ソ連の原子炉積載軍事衛星コスモス落下 被害なし</p> <p>4. 9 日本の総人口 1億1,869万人 (総理府発表)</p> <p>9. 1 大韓航空機ソ連領空に入りミサイルにて撃墜される</p> <p>10.12 ロッキード裁判 田中元首相に有罪の判決</p> <p>写真週刊誌178万部突破</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
昭和59年 (1984)	<p>3.19 北海道支部総会・特別講演会</p> <p>5.19 九州支部総会・講演会</p> <p>5.31 定例総会・シンポジウム 委員長改選 第6回論文奨励賞 2編 「青函トンネル建設工事における先進ボーリングによる地質の先方予知と実績」 蝦名克彦・矢部哲雄・服部修一 「断層粘土中の石英粒子の表面構造による断層活動性評価の試み」 金折祐司・宮腰勝義・角田隆彦・猪原芳樹・佐竹義典 会員数 1,790名 (S58年度末)</p> <p>6. 1 北海道支部研究発表会</p> <p>6.12 九州支部5周年記念「ハワイ地熱・火山セミナー」(ハワイ) ~17</p> <p>6.22 北海道支部見学会</p> <p>6.30 関西支部総会・研究発表会</p> <p>8. 特別号「岩盤分類」発刊</p> <p>8.22 事務局 新宿区高田馬場2-1-9松留ビルへ移転</p> <p>10.19~20 研究発表会</p> <p>11. 2 九州支部見学会 (八代一人吉)</p> <p>11.17 関西支部見学会「奈良県五条~十津川」</p>	<p>6.29 海上保安庁が相模トラフは全長300km以上の大海底谷と発表</p> <p>9.14 長野県西部地震 (M6.8: 死者・行方不明29人 (長野県王滝村))</p>	<p>1.19 アフリカで飢餓が深刻化</p> <p>1.23 放送衛星「ゆり2号」打ち上げ</p> <p>6.30 サラ金大手倒産が続く</p> <p>10.31 ガンジー首相暗殺</p> <p>11. 1 新札 (1万円 5千円 千円) 発行</p> <p>11.16 電々公社のケーブル火災により世田谷で9万回線が不通となる</p> <p>「エリマキトカゲ」ブーム グリコ・森永事件</p>
昭和60年 (1985)	<p>3.13 北海道支部総会・講演会</p> <p>5.18 九州支部総会・講演会</p> <p>5.31 総会・シンポジウム 会員数 1,763名 (S59年度末)</p> <p>6. 1 関西支部総会・講演会</p> <p>6. 6~8 九州支部見学会 (Expo'85)</p> <p>6.14 北海道支部見学会 (地質学会道支部と共催)</p> <p>7. 1 北海道支部創立20周年記念式典・特別講演</p> <p>8. 3 九州支部講演会「岩盤分類」</p> <p>10.19 関西支部地下水に関する技術講習会</p> <p>10.25 研究発表会 ~26</p> <p>11.18 九州支部研究発表会</p> <p>11.30 関西支部見学会「西神・北神地域の開発に関する応用地質学的諸問題」</p>	<p>3.10 青函トンネル 本坑貫通 世界一の海底トンネル 全長 53.85km、海底部分 23.3km、最大水深 140m</p> <p>3.16 科学万博「つくば85」開幕</p> <p>6. 8 本四架橋の大鳴門橋開通 (着工S51.7) 全長 1,729m、中央径間 876m、東洋一の吊り橋</p> <p>7.26 長野市地附山で大規模地すべりが発生: 死者26人</p> <p>9.19 メキシコ南西部で大地震 (M8.1): 死者8千人</p> <p>11.13 ネバドデルルイス火山が噴火: 死者・行方不明25,000人</p>	<p>4. 1 NTT、日本たばこ産業民営化</p> <p>8. 7 日本人として初めて宇宙空間を目指す科学者3人が選ばれる</p> <p>8.12 日航123便群馬県御巣鷹山中に墜落 520人死亡</p> <p>8.15 中曽根首相 初の靖国公式参拝</p> <p>11. 2 阪神タイガース優勝フィーバー</p> <p>米国でエイズ広がる</p>

年	学会活動史	関連事項	一般社会史
昭和61年 (1986)	<p>5. 9 九州支部総会・講演会</p> <p>5. 北海道支部研究発表会</p> <p>5.30 会 長 池田俊雄 (S61～)</p> <p>副会長 井上康夫 (S61～)</p> <p>第7回論文奨励賞</p> <p>「結晶片岩の岩盤クリープ (その1,2)」千木良雅弘</p> <p>「未固結地山中のトンネル周辺における地下水挙動 (その1,2)」</p> <p>中山範一・成田一男・北村孝海・向山拡美</p> <p>会員数 1,780名 (S60年度末)</p> <p>6.14 北海道支部見学会</p> <p>6.20 九州支部見学会 (シラストンネル)</p> <p>6.21 関西支部総会・講演会</p> <p>8.22 九州支部講習会「不連続岩盤の定量的記載法」</p> <p>10.24～25 研究発表会</p> <p>11.14 九州支部研究発表会</p> <p>11.15 関西支部見学会「北但地域の地質特性と～16 応用地質学的諸問題」発刊</p>	<p>5.20 ハイテク汚染に警鐘 環境白書</p> <p>11.21 伊豆大島三原山大噴火：島民約1万人避難</p>	<p>1.28 米国スペースシャトル「チャレンジャー」爆発 乗員7人死亡</p> <p>3.14 ハレー彗星接近 欧州の探査機ジョット核を撮影</p> <p>3.31 原油価格急落 1バレル10ドルを割る</p> <p>4.26 ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故放射能汚染</p> <p>9. 6 社会党初の女性党首 土井委員長</p> <p>11. 1 超低金利時代 (公定歩合年3.0%に)</p> <p>12.13 円高・貿易摩擦により製造業の空洞化が進む</p>
昭和62年 (1987)	<p>2.28 北海道支部地質講習会</p> <p>3.13 北海道支部総会</p> <p>5. 8 九州支部総会・講演会</p> <p>5.22 北海道支部研究発表会</p> <p>5.29 定例総会・シンポジウム</p> <p>6.12～13 北海道支部見学会</p> <p>6.19 九州支部見学会 (福岡県)</p> <p>6.20 関西支部総会・講演会</p> <p>8.21 九州支部講習会「土質断面図の読み方作り方」</p> <p>9.18 九州支部10周年記念シンポジウム</p> <p>「九州地方における応用地質学の役割」</p> <p>10.24～11.1 記念海外見学会 (東南アジア)</p> <p>10.28 関西支部技術講習会「地盤調査の現状と問題点」</p> <p>10.30～31 研究発表会</p> <p>11. 7 関西支部見学会「兵庫県社町平木鉦山・大川瀬ダムおよびその周辺の有馬層群」</p> <p>12. 4 九州支部10周年記念座談会</p>	<p>8. 本四坂出児島ルート 橋桁が連結される</p> <p>9. 高速道路網 青森～熊本まで連なる</p>	<p>4. 1 国鉄民営化 JRグループ6社に分割</p> <p>9. 新電々グループの営業が始まる</p> <p>10. 円高進行・株価暴落</p> <p>11. 竹下内閣誕生</p> <p>11.28 南アフリカ航空機墜落 (邦人47名死亡)</p> <p>11.29 大韓航空機消息絶つ</p> <p>この後世界各地で航空機事故続発</p> <p>12. 円高進行 1ドル=128円台に</p> <p>首都圏で地価が高騰する</p> <p>日米貿易摩擦深刻化</p>

年	学会活動史	関連事項	一般社会史
昭和63年 (1988)	<p>3.11 北海道支部総会・特別講演</p> <p>5.21 九州支部総会・講習会 支部創立10周年記念式典</p> <p>5.13 定例総会・30周年記念行事・研究発表会 ～5.14</p> <p>会長 井上康夫 (S63,S64) 副会長 中島秀雄 (S63,S64) 評議委員40名、理事20名、監査委員 2名 名誉会員に小野寺 透、山本荘毅、黒田秀隆の3氏推薦 (名誉会員 9名) 会員数 1798人 (S62年度末)、賛助会員 116社 国際会員125人 第8回論文奨励賞 2編 「凍上試験による地山の凍上性の判定」北川修三・川上義輝 「六甲山地における土砂災害について」 低引洋隆・小橋澄治・羽原俊行</p> <p>◎ 30周年記念行事 記念講演 小野寺 透 (名誉会員) 「この地殻に生きるー応用地質学の原点ー」 功労者表彰 二見満枝(事務局)、松本 喬(印刷) 祝賀会 来賓者祝辞 大平成人 (社)土質工学会 矢島壮一 (社)全国地質調査業協会連合会 出席者 116名</p> <p>◎ 研究発表会 発表論文38編、参加者 287名</p> <p>6. 4 関西支部総会・講演会</p> <p>9.19 国際応用地質学会 (IAEG) 国際シンポジウム ～23 (於 アテネ)、本学会より9名参加</p> <p>9.27 見学会 千葉県高滝ダム 参加者 49名</p> <p>11. 4 「防災地質に関する」講習会 参加者 93名</p> <p>事務局人事異動 新任 今井:事務局長、芳賀:編集、金森:庶務 退任 二見:事務局員</p>	<p>2.10 元学会副会長 山本栄一氏逝去</p> <p>3.13 世界最長の青函トンネル開業 (53.85km) 80年続いた青函 連絡船終航式</p> <p>4.10 世界最長の道路・鉄道併用の瀬戸大橋が開通 (児島・坂出間、海峡部9,368m) 工期9年半、工費1兆1,300億円</p> <p>5. 世界最長の吊り橋「明石海峡大橋」着手 橋長3,910m、中央支間長1,990m</p> <p>6. 藤ノ木古墳でファイバースコープにより石棺内の撮影 に成功</p> <p>7. 9 梅雨前線の影響で九州から東北にかけ、広い範囲で大雨 ～21</p> <p>10. 物理探査学会40周年</p> <p>12. 7 アルメニア地震 (M6.8) : ソ連アルメニア共和国で地震 犠牲者は25,000人、アルメニアはアラビア・ユーラシア 両プレートの境界に位置している</p> <p>12.19 北海道・十勝岳26年ぶりに噴火</p> <p>「自然災害科学事典」築地書館 「宇宙から見た地球」丸善</p>	<p>1.21 国土庁 全国の最高路線価格を発表、県庁所在地の平均 上昇率23.8%、都内平均上昇率79.2%、史上最高</p> <p>2.13 カルガリー冬季オリンピック開幕 ～28 橋本聖子5種目全てに入賞</p> <p>3.18 東京ドーム「ビッグエッグ」完成、開場記念オープン戦</p> <p>4. 1 「マル優制度」廃止、預貯金利子に20%課税</p> <p>4.14 アフガニスタンで和平協定成立</p> <p>5.25 日米建設交渉合意、7公共事業で外国企業参入へ</p> <p>6. スパイクタイヤの製造中止を決定、粉塵公害防止のため</p> <p>6.18 リクルート事件の発端、川崎事件発覚</p> <p>8.20 イラン・イラク戦争8年ぶりに停戦発効</p> <p>9.17 第24回ソウル・オリンピック開幕 160ヶ国・地域が参加</p> <p>1.17 円高 1ドル121円52銭 (過去最高)</p> <p>11.26 「ふるさと創生」政策決定、全市町村に一律1億円を交付</p> <p>ドライビールが流行 プロ野球の「南海ホークス」と「阪急ブレーブス」が 身売り「ダイエーホークス」、「オリックスブレーブス」 となる 「となりのトトロ」、「ラストエンペラー」等が人気</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
<p>昭和64年 ↓ 平成元年 (1989)</p>	<p>3.16 北海道支部総会・特別講演 4. 学会会計システムの改善を実施(複式簿記へ) 5.20 九州支部総会・講演会 5.26 定例総会・シンポジウム 会則の一部変更 会員数 1,799名(S63年度末)、賛助会員 119社 ◎シンポジウム「活断層の調査と解釈」 講演 4編、参加者 125名 6.30 関西支部総会・講演会 9.14 見学会 東名高速(松田～御殿場間)改築現場 参加者 48名 10.13 H1研究発表会(於 東京) ～14 特別講演「ソ連アルメニア地震の災害」川島一彦 発表論文 38編、参加者 166名 発表会場にて学会誌に関するアンケートを実施 &lt;結果&gt; ・口絵 継続希望:42、無くてよい 0、どちらでも 3 ・シリーズ解説 毎号読む19、時々読む27、読まない 0 ・Q&amp;A 毎号読む18、時々読む24、読まない 2 ・文献紹介① 毎号見る23、時々見る18、見ない 1 ・ // ② もっと積極的に紹介20、現状でよい 8</p>	<p>3. 2 佐賀県吉野ヶ里遺跡で、銅剣・ガラス製管玉など発掘 弥生時代最大の環濠集落・墳丘墓と推定 6.30 伊豆半島・伊東沖で群発地震発生7月まで続く: 家屋損壊・道路崩壊が生じる (7.13 には伊東沖で海底噴火、一部住民避難、漁港閉鎖、 7.15 海底火口を確認) 7. 9 第28回万国地質学会(IGC)ワシントンで開催 ～7.19 7.16 福井県越前海岸(国道305)で岩盤崩落、ロックシェッドを 直撃・破壊 マイクロバスの15人全員死亡 9.12 第26回自然災害科学総合シンポジウム(於 北海道) 9. 国際地形学会(I.A.G)創設 9. 横浜ベイブリッジ開通 全長860mの大斜張橋 10.17 ロマプリータ地震(M7.1):米カリフォルニアのサンタ クルス山地で発生、震源より90km離れたサンフランシスコ では、建物の倒壊や二層式高速道路が崩壊 死者63人  「東北地方土地地質図解説書」東北地方土地地質図編纂 委員会編・(財)国土開発技術研究センター 「岩の調査と試験」(社)土質工学会 「断層調査法」岩松 暉、横田修一郎 著 各省庁より地下空間利用に関する構想が打ち出される 建設コンサルタント中長期ビジョン「ATI構想」発表</p>	<p>1. 7 天皇崩御、皇太子明仁殿下 新天皇に即位 年号を「平成」に改元(1.8 施行) 1.14 国の行政機関 隔週土曜閉庁開始(第2・4土曜) 2. 4 金融機関、土曜全休開始 2.24 昭和天皇の大喪の礼 4. 1 消費税スタート(3%) 6. 2 宇野内閣成立(わずか2ヶ月余の短命内閣) 6. 4 天安門事件 (民主化を要求して集まった群衆を軍隊で制圧) 6.24 美空ひばりさん死去(7.4 女性初の国民栄誉賞) 7.23 参議院選挙で与野党逆転 8. 9 海部内閣成立 8.25 礼宮さま、紀子さま婚約発表 9. 大相撲横綱千代の富士 965勝の史上最多記録を達成 国民栄誉賞 9.27 ソニー 米映画会社コロビアの買収を発表(34億ドル) 10. 幕張メッセ完成 11. 9 ベルリンの壁崩壊 11.15 横浜 坂本弁護士一家失踪事件 12. 東証株価 3万8,915円の史上最高値記録  紀子さんブーム、ペレストロイカが流行語となる</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成2年 (1990)	<p>3.16 北海道支部総会・特別講演</p> <p>5.17 定例総会・シンポジウム 会 長 岡本隆一 (H2~H5) 副会長 福竹養造 (H2~H5) 評議委員40名、理事20名、監査委員 2名 会費改定 (S60より5年ぶり) 6,000円 会員数 1,891人 (H1年度末)、賛助会員 143社 国際会員 144人 名誉会員 5名 第9回論文奨励賞 2編 「深部花崗岩中の割れ目解析—岐阜県東濃地域に分布する花崗岩を例にして」 吉田英一・大澤英明・柳澤孝一・山川 稔 「ジオトモグラフィによる岩盤の画像化 (その1)—岩盤の物性分布の画像化—」、「II(その2)岩盤間の地下水の流れの画像化」 小島圭二・神尾重雄・石橋弘道・内山成和・斉藤秀樹・島祐雅 ◎シンポジウム テーマ「高温岩体地熱発電の現状と展望」 講演 6編、参加者 65名</p> <p>5.19 九州支部総会・講演会</p> <p>6.21 H2 研究発表会 北海道支部共催 (於 札幌) ~22 特別講演「火山と火山災害」勝井義雄 発表論文50編、参加者224名</p> <p>6.23 見学会 定山溪ダム・有珠山砂防施設</p> <p>6.30 講習会 九州支部共催 (於 福岡) テーマ「防災地質の現状と展望」参加者128名</p> <p>6.30 関西支部総会・講演会</p> <p>10. 5 見学会 宮ヶ瀬ダム 参加者 50名</p> <p>第29回万国地質学会 (IGC) 及びIAEG総会 「京都」開催に伴う体制が整う—「IGC-92事務局」を学会内に開設</p>	<p>1.22 新幹線御徒町トンネル工事で道路陥没事故</p> <p>6.20 JR東日本 信濃川水力発電再開工事竣工 JR首都圏の使用電力の80%を供給、出力45万kw 水路トンネルの総延長26.7km</p> <p>6.20 イラン北西部地震 (M7.7:) 死者4~5万人 家屋の倒壊、地すべりによる被害が顕著</p> <p>7. 2 中部九州で集中豪雨: 死傷者100名以上、 阿蘇地区大被害、JR豊肥線不通</p> <p>7.16 フィリピン・ルソン島地震 (M7.8) : 死者1,600人以上 地すべり、噴砂、液化化などが発生、高層建築の倒壊 100kmにおよぶ地震断層(Digdig断層)現れる、変位は左横 ずれ6.6m、垂直2.0m</p> <p>8. 6 第6回(25周年記念)国際応用地質学会 (IAEG) 国際会議 ~10 於 アムステルダム 本学会も参加</p> <p>9.13 全国地質調査業協会連合会 第1回技術フォーラムを東 ~14 京で開催</p> <p>9.16 台風19号により沖縄から東北地方まで被害発生: ~20 死傷者170人以上、家屋16,500戸、船舶410隻以上</p> <p>11. ユーロトンネルのサービストンネル貫通</p> <p>11.17 雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火</p> <p>11.29 第8回岩の力学国内シンポジウム</p> <p>12.10 ジオトモグラフィ—国際シンポジウム</p> <p>12.11 千葉県南東部で竜巻発生、78人が負傷、1500棟が被害</p> <p>「東京都総合地盤図(II)—山の手・北多摩地区」 東京都土木技術研究所</p>	<p>1.13 大学入試センター第一回試験実施</p> <p>2. 5 都市・地方銀行間のオンラインサービス提携開始</p> <p>2.12 ソ連 大統領制導入を決定 (3.15 ゴルバチョフ初代大統領選出) (10.15 同大統領ノーベル平和賞受賞)</p> <p>2~3. バルト3国 相次いでソ連からの独立を決議</p> <p>3. 8 千葉県、新設ゴルフ場での農薬使用全面禁止 (全国初)</p> <p>3.23 国土庁、地価高騰全国に波及、 大阪圏の住宅地が前年比56.1%上昇 (過去最高)</p> <p>3.28 円安 1ドル158円63銭</p> <p>4. 1 三井・太陽神戸銀行合併</p> <p>4. 1 大阪で「国際花と緑の博覧会」開催 (ロープウェイ事故等相次ぐ)</p> <p>6.10 ペルー大統領選、日系二世「フジモリ氏」当選</p> <p>6.29 礼宮さま、紀子さまご結婚の儀</p> <p>7. 首都圏水不足で取水制限へ</p> <p>8.02 イラク軍クウェートに侵攻・制圧 &lt;湾岸危機&gt;</p> <p>9. 大阪の真夏日、史上最長の連続67日を記録</p> <p>10. 3 東西ドイツ統一</p> <p>11.12 天皇 即位の礼</p> <p>11. 観測史上最も遅い台風28号が紀伊半島に上陸</p> <p>11. 国会開設百周年で議事堂を初めて一般に開放</p> <p>11.26 松下電器、米のMCA社買収を発表 (61億ドル)</p> <p>12. 2 秋山豊寛TBS記者、 日本人初の宇宙飛行 (ソユーズ11号・ソ連)</p> <p>12.21 名目GNP、初の400兆円突破 (土地と株の増加分485兆円におよばず)</p> <p>TVで「ちびまる子ちゃん」ブーム バブル崩壊、3K (きつい、汚い、危険) が流行語となる</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
<p>平成3年 (1991)</p>	<p>3.22 北海道支部総会・特別講演・特別報告                      4. 学会誌「応用地質」本年より年6回(隔月)発行                      5. 4 第1回海外応用地質学関連サイト調査団                      ～5.13 マルパッセ、バイオント等のダムを視察                      団長 岡本隆一 会長他21名                      5.18 東北支部・設立総会、会員数 154名、計4支部となる                      記念講演「開発と自然保護に関連して」北村 信                      5.18 九州支部総会・講演会                      5.23 定例総会・シンポジウム                      会員数 1,917人(H2年度末)、賛助会員 147社                      国際会員 157人                      ◎シンポジウム テーマ「土砂地盤の調査と評価」                      特別講演「動く地盤とその対応」池田俊雄                      一般講演 6編、参加者 108名                      6.29 関西支部総会・講演会                      9.26 講習会 東北支部共催(於 仙台)                      テーマ「防災地質の現状と展望」参加者63名                      10.14 IAEG国際シンポジウム 於チュニジア                      ～16 学会より3名参加                      10.22 H3研究発表会(於東京)                      ～23 特別講演「世界の海峡トンネル」持田 豊                      発表論文37編、参加者 142名                      10.24 見学会 浦山ダム 参加者 47名                      11.29 関西支部創立20周年記念事業                      ～30 記念論文集「地球環境と応用地質」発刊                      シンポジウム・パネルディスカッション 参加者270名</p>	<p>3.31 奈良俣ダム竣工(水資源開発公団) 堤高:158m、堤体積:                      1,310万m<sup>3</sup>、ロックフィルダムで日本一のボリューム                      4. ユーロトンネル本坑貫通                      4. 東京大学 地球物理学科を地球惑星物理学科へ改組                      5. ～6. ユーロトンネル本坑(北・南)相次いで貫通                      6. 3 雲仙普賢岳で大規模な火砕流発生:死者・行方不明43名                      6. 7 第29回万国地質学会(京都開催)を閣議決定                      6.12 フィリピン・ピナトゥポ火山今世紀最大級の大噴火:                      死者 約300人、避難民85,000人、噴出総量20億m<sup>3</sup>以上                      火山灰150km四方に降下、火山灰による泥流、二次災害                      で米軍クラーク空軍基地使用不可(11.26 基地返還)                      6.19 名誉会員・元会長 田中治雄氏逝去                      6.20 東北・上越新幹線東京駅乗り入れ開始                      8. 計量法が変更 熱量カロリーがジュール、騒音のホーン                      がデシベルなど国際単位に統一                      9.15 雲仙普賢岳北東斜面で最大規模の火砕流発生:多数の民                      家や小学校が焼失                      9.24 台風19号により全国に被害甚大:死傷者1,500人以上                      ～10.1 家屋17万戸以上、船舶930隻、農作物被害5,735億円                      10. 2 地下水の上昇で西湖が増水、湖畔のキャンプ場など浸水                      10.11 地下水の上昇でJR武蔵野線新小平駅隆起災害                      ー相次ぐ台風や長雨により各地で地下水の異常上昇発生ー                      12. 関西国際空港の埋め立て工事完成                       「新編 日本の活断層一分布図と資料一」活断層研究会編                      東京大学出版会                      「北陸地方土木地質図解説書」北陸地方土木地質図編纂委員                      会・国土開発技術研究センター                      「軟岩の調査・試験の指針(案)(1991年版)」土木学会</p>	<p>1. 1 東京23区の市内局番が4桁になる                      1.17 湾岸戦争勃発                      ベルシャ湾岸の多国籍軍、イラク軍に攻撃開始                      「砂漠の嵐作戦」と命名                      1.24 政府 湾岸戦争支援として                      90億ドル(1兆2,000億円)追加支出                      2. 9 関西電力美浜原発で原子炉が自動停止する事故                      2.23 立太子の礼                      3. 「常磐新線」の事業主体(第三セクター)首都圏新都市鉄道                      (株)発足                      3. 9 新宿に新東京都庁完成 高さ240mの日本一の高層ビル                      総工費 1,600億円                      3.14 広島市で鋼製53トンの橋桁が落下、14人犠牲                      4.16 ゴルバチョフ大統領、ソ連元首として初来日                      4.22 ノンバンク 静信リース倒産、                      バブル経済崩壊初のノンバンクのケース                      6. 5 海上自衛隊 クウェート沖で掃海作業開始                      6.12 エリツィン氏、ロシア共和国初の大統領                      6.14 横綱千代の富士 引退&lt;若貴時代&gt;                      7. 1 ワルシャワ条約機構解体                      7.12 「悪魔の詩」の訳者 五十嵐筑波大助教授刺殺                      8.19 ソ連保守派クーデター ゴルバチョフ大統領を軟禁                      8.21 クーデター失敗、                      8.24 ゴルバチョフ氏党中央委に解体勧告、                      書記長を辞任&lt;ソ連共産党の解体&gt;                      9.24 経済企画庁「いざなぎ景気(S40.11～S45.7)を超えた」と                      発表                      11. 5 宮沢内閣成立                       4 大証券の損失補てん発覚、大相撲で若貴ブーム</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
<p>平成4年 (1992)</p>	<p>1.10 学会事務局 新宿区戸塚町 1-101 南部ビルへ移転                      4.17 北海道支部総会・特別講演・特別報告                      5.15 九州支部総会・講演会                      5.19 東北支部総会・特別講演会                      5.22 定例総会・シンポジウム                      会 長 岡本隆一 (H2～H5)                      副会長 福竹養造 (H2～H5)                      評議委員50名、理事27名、監査委員 2名                      会員数 1,965人 (H3年度末)、賛助会員 149社                      IAEG会員 165人                      名誉会員 4名、参与8名                      第10回論文奨励賞 1編                      「深部地下空洞を対象とした岩盤分類法—石油地下備蓄基地における岩盤分類と総合評価」                      蒔田敏昭・福竹養造・星野延夫・井口敬次・新見 健                      ◎シンポジウム                      テーマ「都市トンネルにおける地山・環境条件の調査評価法」                      特別講演「カリフォルニアにおける断層系とブロックローテーション」浜島良吉                      一般講演 4編、参加者 82名                      6.19 関西支部総会・講演会                      9. 1 国際応用地質学会(IAEG)総会 京都で開催(IGCに合わせて実施)                      8.27にIAEG執行委員会、8.28にIAEG評議委員会を開催。                      学会ではIGC会場内にブースを設置、記念出版物として「日本の岩盤分類(和・英)」・「日本のダムの地質(英)」を発刊                      10. 2 見学会 塩川ダム 参加者33名                      10.11 第2回応用地質学関連サイト調査団                      ～24 ゴットランド島、河川関連土木施設・ユーロトンネル等                      団長 福竹養造副会長他14名                      10.27 H4研究発表会 関西支部共催 (於 大阪)                      ～28 特別講演「自然人間関係史の再検討」日下雅義                      発表論文51編、参加者164名                      10.29 見学会 関西新空港と周辺関連施設                      12. 4 講習会 関西支部共催 (於 大阪) テーマ「環境と防災」                       学会の国際交流を発展させるため「田中国際基金」を設立                      学会事務局異動 大窪事務局長</p>	<p>1. 東京湾横断道路 川崎人工島で連壁の掘削開始                      6. ブラジル・リオで地球環境サミット開催                      参加国は100ヶ国以上                      7. 1 山形新幹線開業「つばさ」運転開始、(福島・山形間)在来線の路盤を利用し、ミニ新幹線と呼ばれる                      8.24 第29回万国地質会議 (IGC) 京都で開催される                      ～9. 3 名誉総裁 皇太子殿下                      9. 5 環境庁調査 埋立てにより全国の干潟4,000haが消滅                      9.12 ニカラグア地震 (M7.2) : 死者116人以上、8mを越す津波で被害拡大                      9. 環状七号線地下河川のシールド発進 (内径12.5m、延長2km、貯留量24万m<sup>3</sup>)                      10.12 エジプト地震 (M5.9) : 死者550人以上、カイロ地域で建物倒壊による被害大                      12.12 インドネシア東部地震 (M7.5) : 死者・行方不明者2,500人以上、20mを越す津波発生、山間部では地すべり                      12. 気圧の単位ミリバールを国際単位のヘクトパスカルに変更                       「ダムの岩盤掘削」土木学会                      「100万分の1 日本地質図(第3版)」地質調査所                      「日本の活断層図(地図と解説)」活断層研究会                      「軟岩評価—調査・設計・施工への適用—」土木学会                      「付加体の地質構造—四万十帯の写真アトラス—東大出版会                       —大学の地質学系講座に改組や名称変更が多くなる—</p>	<p>1.26 大相撲 貴花田19歳5ヶ月の史上最年少優勝                      1.31 太平洋岸・関東地方に大雪                      ～2. 1                      2. 8 アルベールビル冬季オリンピック開幕                      ～23                      3.14 東海道新幹線に「のぞみ」登場、東京・新大阪間2時間半                      3.27 国土庁 公示価格が17年ぶりに下落と発表                      3.31 米 戦艦ミズーリ退役                      4. 千葉市12番目の政令都市に                      4.27 ユーゴスラビア クロアチア等4共和国と新ユーゴ連邦に解体                      5. 2 国家公務員の週休2日制がスタート                      7.16 住宅金融専門会社7社の債務が約13兆9,700億円と判明                      7.25 バルセロナ・オリンピック開幕                      ～8. 9                      8.11 東証1部の平均株価が6年4ヶ月ぶりに1万5,000円を割る                      8.24 中国と韓国が国交樹立                      9.12 国公立小中高校 第2土曜日休校に                      9.12 毛利 衛氏スペースシャトルで宇宙飛行                      ～20                      10. 9 長嶋氏 巨人軍監督に復帰                      10.30 大蔵省 都市銀行等21行の不良債権12兆3,000億円と発表                      11. 米大統領にクリントン氏(民主党)当選                       カラオケボックス登場                      きんさん・ぎんさんブーム                      “ほめ殺し”が流行語に</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成5年 (1993)	<p>4.16 北海道支部総会・特別講演・特別報告 参加者87名</p> <p>5.13 講習会(於 東京) テーマ「日本の岩盤分類」参加者92名</p> <p>5.14 九州支部総会・講演会 参加者216名</p> <p>5.19 東北支部総会・特別講演会 参加者48名</p> <p>5.28 定例総会・シンポジウム 正会員 2,040名 (H4年度末)、賛助会員 146社 IAEG会員 170名 名誉会員 4名</p> <p>◎シンポジウム テーマ 「斜面の安定性に関する調査と評価」 特別講演「斜面の安定性に関する調査と評価」小島圭二 一般講演6編、参加者198名</p> <p>6. 7 国際応用地質学会(IAEG)シンポジウム(於 モンペリエ) ～ 9 に出席 ～20 第3回海外応用地質学調査団(フランス～スペイン) ピレネー山脈の地質・ダム他を調査 団長 北村 信(東北大教授)東北支部長他25名</p> <p>6.25 関西支部総会・講演会 参加者92名</p> <p>9. 1 講習会 東北支部共催 (於 仙台) テーマ「日本の岩盤分類」参加者111名</p> <p>10.27 H5研究発表会 (於 東京) ～28 特別講演「地球環境問題に必要な視点」大嶋和雄 発表論文45編、参加者 184名</p> <p>11 .11 応用地質学会巡検「南部フォッサマグナ・丹沢山塊」 ～12 団 長 関 陽太郎 参加者21名 見学会 宮ヶ瀬ダム 参加者48名</p>	<p>1.15 平成5年釧路沖地震(M7.8)：釧路 震度6、死者2名</p> <p>2. 7 能登半島沖地震(M6.6)：輪島 震度5</p> <p>2. フィリピンのルソン島でマヨン火山が噴火：死者 70名</p> <p>4. 3 日本地質学会100周年記念</p> <p>4.29 雲仙普賢岳で大規模土石流発生</p> <p>6.～7. 伊豆半島東方沖で群発地震活発化</p> <p>7. 横浜ランドマークタワー完成 地上70階、高さ296m、日本一の超高層ビル</p> <p>7.12 平成5年北海道南西沖地震(M7.8)：奥尻島青苗地区の津波 被害甚大、死者・行方不明230人</p> <p>8. 6 鹿児島県豪雨災害：鹿児島市竜ヶ水地区土石流災害など 県全域が被災</p> <p>8. 8 グアム島で大地震(M8.2)：日本各地でも津波観測</p> <p>8.26 レインボーブリッジ・首都高速11号「台場線」開通</p> <p>9. 3 台風13号が九州、四国、中国地方を縦断：死者・不明 ～4 48人、負傷者210人</p> <p>9.27 羽田空港の新ターミナルビル「ビッグバード」開業</p> <p>9.30 インドで大地震(M6.4)：死者30,000人以上</p> <p>10.29 広島新空港供用開始</p> <p>11.12 環境基本法公布</p> <p>12. 3 東名阪自動車道(名古屋～勝川) 開通</p>	<p>1. 1 EC統合市場が発足 12カ国、3億5000万人</p> <p>1. 3 第2次戦略兵器削減条約 (START II) 調印</p> <p>3. 6 金丸 信元自民党副総裁逮捕</p> <p>3.12 北朝鮮が核不拡散条約 (NPT) から脱退を表明</p> <p>3.27 中国共産党の江沢民総書記が国家主席に</p> <p>4.23 天皇・皇后初の沖縄訪問</p> <p>5.15 プロサッカーJリーグ開幕</p> <p>6. 9 皇太子と小和田雅子さん結婚式</p> <p>6. 9 第5回ラムサール条約締約国会議が釧路市で開幕 ～16 95カ国と104のNGOが参加 釧路声明を採択</p> <p>6.21～23 新党さきがけや新生党等が相次いで結成</p> <p>7. 7 第19回主要先進国首脳会議が東京で開幕</p> <p>7.18 第40回衆議院議員総選挙、自民党過半数割れ、 55年体制が崩壊</p> <p>8. 5 土井たか子氏 初の女性衆議院議長に就任</p> <p>8. 9 細川連立内閣発足</p> <p>9.30 冷夏により93年産コメ作況指数80で戦後最悪</p> <p>10.17 ロシア海軍が日本海に放射性廃棄物を投棄</p> <p>11. 1 欧州連合条約 (マーストリヒト条約) が発効</p> <p>12.15 ウルグアイ・ラウンドが最終協定案を採択</p> <p>12.16 田中角栄元首相(享年75)が死去</p> <p>戦後日本政治史の上で画期的な年 長期不況で雇用情勢が悪 化、ゼネコン汚職、規制緩和、新党ブーム、Jリーグ、もつ鍋</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成6年 (1994)	<p>2. 4 中国四国支部設立、支部会員数 132名、計5支部となる講習会 本部・中国四国支部共催 (於 広島) テーマ 「日本の岩盤分類」 参加者80名</p> <p>4.15 北海道支部総会・特別講演・特別報告 参加者151名</p> <p>5.13 九州支部総会・講演会 参加者209名</p> <p>5.21 東北支部総会・特別講演 参加者92名</p> <p>5.27 定例総会・シンポジウム 会 長 小島圭二、副会長 田川弘義 (H6～) 正会員 2044名 (H5年度末)、賛助会員、149社、IAEG会員 206名 名誉会員に境田正宜、鈴鹿恒茂、村上政嗣、百武松児の4氏推薦 (名誉会員13名) 第11回論文奨励賞 2編 「グラウチング改良効果に関する現場試験とその考察」 奥田宏明・西野健三・飯酒丞久夫・古田島信義 「リニアメントの断裂系としての特性とその評価」 井上大栄・水落幸広・桜田裕之</p> <p>◎ シンポジウム 特別講演「斜面防災に関する最近の技術と話題」中村浩之 一般講演5編、参加者164名</p> <p>6.11 関西支部総会・講演会 参加者92名</p> <p>7. 1 中国四国支部総会・講演会 参加者90名</p> <p>9. 3 学会事務所 お茶の水SDビルに移転</p> <p>9. 3 国際応用地質学会(IAEG) 第7回国際会議(於 リスボン)～9 日本より36編の論文参加 参加者 70名</p> <p>9.10 第4回海外応用地質学調査団 (2コース) ～18 ポルトガル～スペイン 参加者35名 ケニア～リフトバレー 参加者17名</p> <p>10.19 H6 研究発表会 九州支部共催 (於 福岡) ～21 特別講演「雲仙普賢岳の土石流について」平野宗夫 発表論文42編、参加者 210名 見学会 長崎県島原市雲仙周辺 参加者88名</p> <p>12. 8 応用地質計測に関するシンポジウム (於 東京) テーマ「応用地質計測の現状と話題」 一般講演 7編、参加者 43名</p> <p>12. スライド集「応用地質をみる-さまざまな地質事象-」作成 (社) 全地連の発行で発刊</p>	<p>1.13 「環境政策大綱」制定</p> <p>1.17 ノースリッジ地震(M6.6)：死者57名 ロサンゼルスで発生した直下型地震</p> <p>3. 伊豆諸島(新島、神津島)で群発地震</p> <p>3.30 東京外環自動車道(大泉～和光)開通</p> <p>4. 2 関西空港自動車道及び阪神高速道路湾岸線開通</p> <p>4. 8 気象庁が94年度より導入した新システムによる初の津波注意報が東北地方太平洋沿岸に発令される</p> <p>5. 6 英仏海峡ユーロトンネル開通、 全長50.5km、海底部37.8km、1987年末着工、TBMが大活躍</p> <p>6. 8 ボリビアで深発地震(M8.3)</p> <p>6.29～30 地震予知研究シンポジウム</p> <p>7. 青森市南西部の「三内丸山遺跡」より直径1m以上の「大型掘立柱建物」跡が発見される。縄文中期には500人前後が定住したとされ、従来の縄文時代像を変えた</p> <p>8.28 気象予報士第1回試験の実施</p> <p>9. 4 関西国際空港開港 滑走路3,500m、工期7年、工費1兆5,000億円</p> <p>10. 4 北海道東方沖地震 (M8.1)：釧路で震度6、根室の津波173cm</p> <p>10.23 米国材料学会第18回国際会議 (於 京都)～27</p> <p>11. 宮ヶ瀬ダム本体コンクリート打設完了 (建設省) 重力式コンクリートダム、堤高156m、体積200万m<sup>3</sup> RCD工法で施工される</p> <p>12. 1 「公共工事の建設費の縮減に関する行動計画」の策定</p> <p>12.16 「環境基本計画」閣議決定</p> <p>12.21 首都高速湾岸線(横浜ベイブリッジ～羽田空港)開通</p> <p>12.28 「三陸はるか沖地震」(M7.5)：八戸 震度6、青森県中心に死傷者287人</p> <p>「岩の力学 -基礎から応用まで-」日本材料学会編 「中部地方土木地質図・同解説書」中部地方土木地質図編纂委員会編、(財)国土開発技術センター</p>	<p>1. 1 北米自由貿易協定 (NAFTA) 発効</p> <p>1.29 政治改革関連法案が成立</p> <p>2.12 冬季五輪リレハンメル大会開幕</p> <p>3.26 フイギアスケート世界選手権で佐藤有香選手が優勝</p> <p>4. 2 対共産圏輸出を規制したココム (COCOM) が解散</p> <p>4.10 NATO ボスニア紛争でセルビア人勢力を空爆</p> <p>4.26 中華航空機が名古屋空港で着陸失敗炎上 264人死亡</p> <p>4.28 羽田内閣 少数与党で発足</p> <p>5. 1 F1ドライバー、アイルトン・セナがレース中に事故死</p> <p>5. 9 ネルソン・マンデラ氏 南アフリカ共和国大統領に就任</p> <p>5.18 巨人の楯原投手が対広島戦で完全試合を達成</p> <p>6.22 PL法成立</p> <p>6.27 松本サリン事件発生</p> <p>6.30 村山内閣発足</p> <p>7. 3 日本初の女性宇宙飛行士 向井千秋さん宇宙へ</p> <p>7.20 長良川河口堰建設差し止め訴訟で岐阜地裁が原告の請求棄却</p> <p>8. 3 東京で41年ぶりに最高気温更新(39.1度)</p> <p>8. 5 福徳銀行神戸支店で5億4,100万円が強奪される</p> <p>8. 7 第10回国際エイズ会議が横浜で開催される</p> <p>9.13 政府がルワンダ難民救済のため、自衛隊派遣を決定</p> <p>9.14 オリックスのイチロー選手がシーズン最多の192安打を放ち、プロ野球記録を更新</p> <p>9.28 フィンランド沖のバルト海でフェリーが沈没</p> <p>10. 2 第12回アジア競技大会が広島市で開催</p> <p>10.13 大江健三郎氏ノーベル文学賞受賞</p> <p>10.18 核開発疑惑に関する米朝高官会談開催</p> <p>11. 2 年金改革法成立</p> <p>11. 8 米中間選挙で共和党が上下院で過半数を占める</p> <p>12.10 「新進党」結成</p> <p>各地で水不足 長期不況で雇用情勢が悪化 価格破壊、イチロー、新・新党、就職氷河期</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成7年 (1995)	<p>1.26 阪神大震災調査委員会発足</p> <p>2.10 学会誌第35巻第6号に阪神大震災関連投稿論文等を掲載</p> <p>3.13 阪神大震災緊急合同報告会(於 大阪) 「資料集」発刊 日本地質学会、関西地質調査業協会共催</p> <p>4. 学会誌第36号より巻頭言を掲載開始</p> <p>4.21 北海道支部総会・特別講演・特別報告 参加者148名</p> <p>4.22 中部支部設立総会・特別講演、支部会員数 133名 本部及び6支部体制となる 講習会 中部支部共催「日本の岩盤分類」参加者50名</p> <p>5.12 講習会 北海道支部共催「日本の岩盤分類」参加者163名</p> <p>5.12 九州支部総会・講演会、参加者181名</p> <p>5.21 東北支部総会・特別講演、参加者95名</p> <p>5.25 阪神大震災中間報告会 本部・関西支部共催 (於東京) 「地震と活断層分科会」報告 3編 「地盤・地震動と構造物分科会」報告 2編 「地震動と地盤災害分科会」報告 4編 「国土地理院における地震後の調査経緯について」1編 「パネルディスカッションー地震後の地盤調査の実態と今後の課題」参加360名 阪神大震災中間報告会予稿集「人工改変と地震災害」発刊</p> <p>5.26 定例総会・シンポジウム 正会員2,105名(H6年度末),賛助会員153社,IAEG会員215名 本学会の社団法人に向けての報告、法人化に関して、参与並びに歴代正副会長からなる顧問会を結成</p> <p>◎ シンポジウム テーマ「トンネル掘削と地下水挙動」 特別講演「トンネル掘削に伴う広域地下水流動変化の追跡」嶋田 純 一般講演5編、参加者209名</p> <p>6. 9 中国四国支部総会・特別講演、参加者70名</p> <p>6.24 関西支部総会・講演会 参加者112名</p> <p>6.25 第5回海外応用地質学調査団(イギリス～アイスランド)～7.9 地質、ダム、橋梁その他の調査を実施 団長 岡本隆一元会長他23名</p> <p>6.27 講習会(於 東京) テーマ「日本の岩盤分類」参加者89名</p> <p>9.20 北海道支部創立30周年記念特別講演会・祝賀会 講演5編、参加者112名、「ルジオンテスト」発刊</p> <p>10. 2 国際応用地質学会(IAEG)王思敬副会長講演会(於東京) テーマ「中国における応用地質学分野の動向」参加者30名</p> <p>10. 4～5 H7研究発表会 東北支部共催(於 仙台) 特別講演 「津波研究の現状と防災」首藤伸夫</p>	<p>1. 7 岩手県沖で地震(M6.9)：八戸、盛岡 震度5</p> <p>1.17 AM5:46、阪神・淡路大震災(M7.2)発生：震度7(気象庁判定) 死者6,425人、家屋全壊116,489戸、野島断層による内陸直下型地震で建築物、高速道路、新幹線等の鉄道にも壊滅的な被害発生</p> <p>2. 9 コロンビアで地震(M6.3)：死者40人以上</p> <p>2.11 安房トンネル長野県坑口付近で水蒸気爆発</p> <p>3.12 長良川河口堰に関する円卓会議始まる</p> <p>4. 1 新潟県北部で地震(M6.0)：新潟市、笹神村等で震度4</p> <p>4. 8 山陽新幹線震災以来81日ぶりに全線開通(新大阪～姫路)</p> <p>4.13 気象庁 新しい地震情報スタート 震度3以上の地域名を震度とともに発表</p> <p>4.18 駿河湾で地震(M5.1)：静岡、小田原 震度4</p> <p>5.23 北海道空知支庁で地震(M5.6)：北竜 震度5</p> <p>5.23 土木学会「土木構造物の耐震基準等に関する提言」を発表</p> <p>5.25 火山噴火予知連絡会が雲仙・普賢岳の噴火活動がほぼ停止状態にあるとの見解を示す</p> <p>5.27 サハリン北部で地震(M7.6)：死者1,841人</p> <p>5.31 (社)土質工学会が学会名を(社)地盤工学会に変更</p> <p>6. 3 地震防災対策特別措置法案可決</p> <p>7.11 長野・新潟県境に豪雨、JR大糸線長期不通</p> <p>7.19 日本建築学会が「建築及び都市の防災性向上へ向けての課題(第1次提言)」を発表</p> <p>7.21 「新建築構造体系総合委員会」が発足</p> <p>7.28 建築震災調査委員会が「建築物の被害状況に関する中間報告」を実施</p> <p>7.30 チリ北部沿岸で地震(M7.3)：死者3名 日本の太平洋沿岸にも津波が来襲</p> <p>9.26～28 アジア太平洋地域建設事業トップフォーラム開催</p> <p>10. 伊豆半島東方沖で群発地震</p> <p>10.12 九重山系硫黄山(大分県)が257年ぶりに噴火</p> <p>10.18 奄美大島近海で地震(M6.7)：喜界島で津波観測～19</p> <p>10.21 第10回「大学と科学」公開シンポジウム ～22 都市震災と防災システムー阪神淡路大震災から得た教訓</p> <p>10.25 「阪神・淡路大震災調査特別委員会」(日本学術会議)が第1次報告を実施</p> <p>11. 9～11 高速道路交通システム世界会議開催(於 横浜)</p> <p>12.15 名誉会員 境田正宣氏 逝去 「1993年鹿児島豪雨災害ー繰り返される災害ー」1993年 鹿児島豪雨災害調査委員会編、(社)土質工学会</p>	<p>1. 1 世界貿易機関(WTO)発足</p> <p>1.30 米国立スミソニアン博物館が5月から開催予定の原爆展を事実上中止</p> <p>2.22 ロッキード裁判丸紅ルート最高裁判決で全員の有罪が確定</p> <p>3.20 営団地下鉄線車内で猛毒サリン事件発生、死者12人、重軽傷者5,500人</p> <p>3.30 国松孝次・警察庁長官が狙撃され、重傷</p> <p>4. 9 第13回統一地方選挙青島幸男氏、横山ノック氏が知事当選</p> <p>4.14 日銀が公定歩合を年1.0%に引き下げ</p> <p>4.19 東京外為市場 1ドル79.75円の史上最高値</p> <p>5. 7 ジャック・シラク氏がフランス大統領に当選</p> <p>5.15 地方分権推進法が成立</p> <p>5.16 オウム真理教 麻原彰晃を殺人容疑で逮捕</p> <p>5.31 青島都知事 世界都市博中止を決断</p> <p>6. 5 介護休業法が成立</p> <p>6.13 シラク大統領が南太平洋で8回の核実験を行うと発表</p> <p>6.21 羽田発函館行き全日空ジャンボ機がハイジャックされる</p> <p>6.29 ソウルでデパート崩落</p> <p>7.11 米国がベトナムと国交正常化</p> <p>7.23 第17回参議院議員通常選挙</p> <p>7.23 ヘール・ボップ彗星発見</p> <p>7.31 コスモ信用組合に東京都が業務停止命令</p> <p>8.23 東京の真夏日(30度以上) 32日連続を記録</p> <p>9.22 橋本龍太郎氏が第17代自民党総裁に</p> <p>10.21 沖縄県民総決起大会開催</p> <p>10.28 水俣病被害者・弁護団全国連絡会議が政府・与党の最終解決案を受け入れ、事実上決着</p> <p>10.30 東京地裁がオウム真理教に解散命令</p> <p>11. 1 新食糧法施行</p> <p>11. 4 イスラエルのラビン首相暗殺される、中東和平に暗雲</p> <p>11.16 韓国の盧泰愚・前大統領が収賄容疑で逮捕される</p> <p>11.19 アジア太平洋経済協力会議(APEC)大阪会議開催</p> <p>12. 3 韓国の全斗煥・元大統領が反乱容疑で逮捕される</p> <p>12. 8 宗教法人法改正案が成立</p> <p>12. 8 動燃の高速増殖炉もんじゅの2次冷却系配管から液体ナトリウムが漏れ、運転中止</p> <p>12.14 ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争和平協定文書調印</p> <p>12.14 オウム真理教に破防法適用の方針を決定</p> <p>阪神大震災、オウム真理教、2年連続の記録的猛暑 がんばろう神戸、マインドコントロール、ウインドウズ95</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成7年 (1995)	<p>特別講演 「活断層による地震評価の課題」 垣見俊弘                      発表論文43編、ワークショップ6編、                      ポスターセッション6展、参加者 229名</p> <p>10.12 見学会 東京電力葛野川発電所 参加39名</p> <p>12.15 阪神・淡路大震災調査委員会報告会（於 東京）                      第1分科会から「地震と活断層」 編                      第2分科会から「地盤・地震動と構造物」編                      第3分科会から「地震動と地盤災害」 編                      「日本応用地質学会からの提案」 小島委員長(会長)                      参加者 244名                      「兵庫県南部地震－地質・地盤と災害－報告書」を発刊</p>		NOMO（野茂）

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成8年 (1996)	<p>4. 学会誌第37巻第1号において兵庫県南部地震報告会における応用地質学会からの提案を掲載</p> <p>4.12 北海道支部総会・特別講演会・特別報告 参加者165名</p> <p>4.26 東北支部総会・特別講演会 参加者74名</p> <p>5.17 中部支部総会・見学会 参加者32名</p> <p>5.17 九州支部総会・講演会 参加者179名</p> <p>5.24 定例総会・シンポジウム 会 長 小島圭二、副会長 田川弘義 正会員 2,236名 (H7年度末)、賛助会員 154社 IAEG会員 218名 名誉会員に芥川眞知、池田俊雄、北村 信、倉持文雄、深田淳夫、藤田和夫、宮崎政三、山内豊聰、山崎達雄の9氏推薦 (名誉会員22名) 第12回論文奨励賞 2編 「ダム基礎地盤の浸透破壊抵抗性に関する基礎的研究」 山口嘉一・田原則雄・松本徳久 「兵庫県南部地震の神戸の地盤と被災状況調査」 石川浩次・溝口昭二・大鹿明文 ◎シンポジウム テーマ「応用地質と地形」 一般講演5編、参加者192名</p> <p>5.24 中国四国支部総会・特別講演 参加者117名</p> <p>6.15 関西支部総会・講演会 参加者93名</p> <p>7.24 第6回海外応用地質学調査団 (中華人民共和国) ~8.3 IGCのコンGRES・ツアーに参加、 団長 小島圭二会長他41名</p> <p>10.11 第4、5回海外応用地質学調査団報告会 (於 東京) 参加者50名、調査団報告書を2冊発刊</p> <p>10.17 斜面地質に関するシンポジウム (於 東京) テーマ「斜面地質学の研究動向と今後の展望」 一般講演7編 参加者128名</p> <p>10.25 講習会 本部・東北支部共催 (於 仙台) テーマ「地質・地盤と地盤災害」参加者81名</p> <p>10.31 ~11.1 H8研究発表会 中国・四国支部共催 (於 広島) 特別講演「近畿地方における活断層調査結果について」 杉山雄一 発表論文64編、参加者 209名</p> <p>学会誌第37巻第4号特集「兵庫県南部地震—応用地質学からの視点—」</p>	<p>1.10 「土木構造物の耐震基準等に関する第2次提言」土木学会</p> <p>2.10 北海道古平町の豊平トンネル大規模岩盤崩落事故 坑口部崩壊、バス乗客等20名死亡</p> <p>2.17 インドネシアで地震(M7.5)：死者25人 父島で103cmの津波を観測</p> <p>3. 5 駒ヶ岳 (北海道) が54年ぶりに噴火</p> <p>4. 1 気象庁が「気象庁震度階級関連解説表」を作成</p> <p>6. 3 科学技術庁防災科学研究所「全国強震ネット」運用開始</p> <p>8. 4 第30回万国地質学会議 (IGC)へ調査団派遣 (於 北京) ~14 参加者20名</p> <p>8.11 宮城県北部地震(M5.9~5.4)：3回の地震が連続発生</p> <p>9.10 河川改修時におけるコンクリート護岸の使用禁止 (建設省)</p> <p>9.12 地震調査研究推進本部が糸魚川—静岡構造線活断層系で数百年以内にM8程度の直下型大地震の可能性を指摘</p> <p>9.30 阪神大震災で倒壊した高速道路復旧</p> <p>10. 1 国土地理院が「都市圏活断層図(1/25000)」の市販開始</p> <p>10. 1 気象庁が47年ぶりに震度階級を改定</p> <p>10.15 伊豆半島東方沖で群発地震：伊東で最大震度4</p> <p>11. 5 学会名誉会員 北村 信氏逝去</p> <p>11.30 味噌川ダム竣工(水資源開発公団)、堤体積890万m<sup>3</sup> 国内最高所のダム、堤頂標高1,130m</p> <p>12. 6 長野県小谷村で大規模土石流発生</p> <p>「トンネル標準示方書・同解説 開削工法編・シールド工法編・山岳工法編」土木学会 H8年7月 「道路橋示方書・同解説 耐震設計編」等 (社)日本道路協会 H8年12月 「地震と土砂災害」建設省河川局砂防部監修 (財)砂防・地すべり技術センター編、砂防広報センター 「NATM設計施工指針」日本鉄道建設公団編 「東京都(区部)大深度地下地盤図—東京都地盤図集6」 東京都土木研究所編 「地形学から工学への提言」日本地形学連合編 「関東地方土木地質図」関東地方土木地質図編纂委員会編、(財)国土開発技術研究センター</p>	<p>1.11 橋本龍太郎内閣発足</p> <p>1.19 社会党が党名を「社会民主党」に変更</p> <p>2.14 羽生善治名人が史上初の7冠独占を達成</p> <p>3.23 台湾初の総統直接選挙で李登輝総統が当選</p> <p>3.25 狂牛病の人間への感染の可能性を英政府が認める</p> <p>4. 1 東京三菱銀行発足</p> <p>4.12 日米両国政府が普天間飛行場を5年ないし7年以内に全面返還と発表</p> <p>5.11 エベレスト登頂に成功した難波康子さんが下山途中に遭難</p> <p>5.31 ネタニヤフ氏がイスラエル首相に就任</p> <p>5.31 サッカーワールドカップ(2002年)日本と韓国の共同開催となる</p> <p>6.18 住専法可決(住専不良債券6,850億円処理に税金を投入)</p> <p>7.12 チャールズ皇太子とダイアナ妃が離婚</p> <p>7.19 アトランタオリンピック開催 ~8.4 日本は金3、銀6、銅5</p> <p>7.20 堺市の小学校で「O-157」集団中毒発生</p> <p>8. 4 渥美 清さん死去</p> <p>8.29 エイズ薬害問題で安部英前帝京大副学長逮捕</p> <p>9.10 国連総会が包括的核実験禁止条約 (CTBT) を採択</p> <p>9.22 台風17号で関東、東北地方に被害 死者・不明11人</p> <p>9.28 民主党結成</p> <p>10.20 初の小選挙区比例代表並立制選挙の実施</p> <p>11. 5 米大統領選で民主党のクリントン大統領が再選</p> <p>11. 7 第2次橋本自民単独内閣成立</p> <p>11.21 大蔵省が阪和銀行に業務停止命令</p> <p>12. 5 広島原爆ドームが世界遺産の文化遺産リストに登録される</p> <p>12.17 ペルーの首都リマの日本大使公邸がMRTAに襲撃・占拠される</p> <p>12.26 新進党の羽田孜・元首相らが離党して太陽党を結成</p> <p>小選挙区比例代表並立制による初めての選挙 住専不良債権問題、薬害エイズ、厚生省の贈収賄事件 メーカードラマ、アムラー</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成9年 (1997)	<p>4.11 北海道支部総会・特別講演・特別報告 参加者138名</p> <p>5.16 九州支部総会・講演会参加者164名</p> <p>5.23 東北支部総会・特別講演 参加者147名</p> <p>5.29 定例総会・シンポジウム 正会員2,291名 (H8年度末)、賛助会員155社 IAEG会員214名 名誉会員に甲藤次郎、佐々木敏雄、柳治一の3氏推薦 (名誉会員25名) ホームページの開設、インターネット通信の導入準備 法人化に関して科学技術庁との協議継続</p> <p>◎ シンポジウム テーマ 「岩盤斜面の調査と評価技術」 特別講演「都市地盤防災地質図の必要性についての提言」 大矢 暁 一般講演 5編、参加者245名</p> <p>6. 6 中国四国支部総会・特別講演 参加者110名</p> <p>6.13 中部支部総会・見学会 参加者55名</p> <p>6.14 関西支部総会・後援会 参加者62名</p> <p>6.23 国際応用地質学会(IAEG)シンポジウム (アテネ) ～.27 団長 小島圭二会長他30名 IAEG出席に合わせて調査団2班編成</p> <p>6.16 第7回海外応用地質学調査団 (トルコ班) ～22 アナトリア断層、カッパドキア調査 参加者15名</p> <p>6.28 (スイス班) ～7.6 トンネル・ダムを調査 参加者15名</p> <p>10.21 H9研究発表会 北海道支部共催 (於 札幌) ～22 特別講演「無機物運動と生き物諸相-私の見た自然現象から-」東 三郎、発表論文69編、参加者214名 「地質調査法の問題点」改訂版第2巻 「ボーリングコアの観察/岩盤編」発刊</p> <p>10.23 見学会 豊浜トンネル、沼前地すべり 参加者41名</p> <p>11.14 第一回応用地質学アジアシンポジウム (於 東京) テーマ「ダムの地質」招待講演6編、一般講演7編 参加者約50名 中国、韓国、台湾から招待</p> <p>11.27 講習会 テーマ「地質・地盤と地震防災」(於 東京) 講演6編、参加者63名</p> <p>学会誌第38巻特集号「応用地質における調査・解析技術の新展開」</p> <p>学会事務局異動 渡辺事務局長</p>	<p>3. 3 伊豆半島東方沖で群発地震</p> <p>3.22 秋田新幹線が開業、「こまち」運転開始</p> <p>3.22 「ほくほく線」開通一 六日町・犀潟間(全長59.5km、トンネル部40.3km)、 鍋立山トンネル等の難工事を克服、着工より29年8ヶ月</p> <p>4.14 諫早湾干拓地で水門を閉鎖</p> <p>4.17 第10回学協会共通問題に関する討論会</p> <p>5.10 八幡平澄川・赤川温泉で大規模地すべり・土石流発生</p> <p>5.10 イランで地震(M7.1)：死者1,560人</p> <p>7.10 鹿児島県出水市で大規模土石流発生：死者21人</p> <p>7.11 地盤・水環境と気候変動シンポジウム</p> <p>7.12 八甲田山の田代平高原で炭酸ガスにより自衛隊員3人が 中毒死亡</p> <p>8.25 国道229号(北海道)第二白糸トンネル南坑口で大規模岩盤 崩落事故 幸いにも死傷者ゼロ</p> <p>9.19 名誉会員 甲藤 次郎氏逝去</p> <p>10. 1 北陸新幹線(高崎一長野間)が開業(長野行新幹線と呼ば れる)、「あさま」運転開始</p> <p>12. 1 地球温暖化防止会議が京都で開催</p> <p>12. 6 安房トンネル開通(延長4.37km 総工費860億円) 岐阜県平湯・長野県中ノ湯間の通年通行が可能へ</p> <p>12.18 東京湾アクアライン開通</p> <p>「自然になじむ山岳道路・ダム付替道路の事例より考える」 建設省河川局開発課、土木研究所環境部監修、(財)国土開 発技術研究センター 「日本地質図体系 近畿地方」地質調査所監修</p>	<p>1. 2 日本海でロシア船籍のタンカー・ナホトカ号が沈没 油流失により海岸汚染深刻化</p> <p>1.31 公安審査委員会がオウム真理教に対する破防法適用申請 を棄却</p> <p>2.19 鄧小平氏 死去</p> <p>2.23 初のクローン羊誕生</p> <p>3.11 東海村の動燃工場で爆発事故</p> <p>4. 1 消費税率を5%に引き上げ</p> <p>5. 1 英国で労働党圧勝</p> <p>5.29 伊良部選手、ヤンキース入り</p> <p>6.17 臓器移植法が成立</p> <p>6.18 新EU条約を採択</p> <p>6.20 主要国首脳会議 ロシアを加えて (G8) デンバーで開催</p> <p>7. 1 香港が中国に返還</p> <p>7. 2 東京湾原油流失事故(パナマ船籍、ダイヤモンド・グレース 号)</p> <p>8. 6 グアム島で大韓航空機墜落</p> <p>8.31 ダイアナ元皇太子妃がパリで交通事故死</p> <p>9. 5 マザー・テレサ死去</p> <p>9.11 第2次橋本改造内閣が発足</p> <p>9.23 日米、新防衛指針に合意</p> <p>10.27 NY株式、過去最大の暴落</p> <p>11. 1 日ロ首脳会談</p> <p>11.16 サッカー・仏ワールドカップに日本出場決定</p> <p>11.17 エジプトで観光客テロ</p> <p>11.24 土井さん、日本人初の宇宙遊泳</p> <p>11.24 山一証券が自主廃業申請と営業休止を決定</p> <p>12. 8 金大中氏韓国大統領に当選</p> <p>12. 9 「ソニー」の創業者井深 大氏死去</p> <p>12.21 名護市市民投票で米軍海上基地建設反対が58%となる</p> <p>日本版ビックバン、金融危機、建設不況、公共投資削減 ポケモン、もののけ姫、</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成10年 (1998)	<p>4 「応用地質計測－手法と解釈・評価－」を発売</p> <p>4.10 北海道支部総会・特別講演 参加者131名</p> <p>5.11 見学会 東京電力 神流川発電所下部ダム 参加者50名</p> <p>5.15 九州支部総会・特別講演 参加者164名</p> <p>5.29 東北支部総会・特別講演 参加者43名</p> <p>5.21,22 定例総会・40周年記念式典・シンポジウム 会 長 市川 慧 副会長 大島洋志 田中芳則 正会員2,373名 (H9年度末)、賛助会員155社 IAEG会員209名 名誉会員に奥田節夫、川崎逸郎、蔵田延男、齊藤 実、 篠木嶺二、武田裕幸、星野 寔、松吉兼雄の8氏推薦 (名誉会員33名) 論文賞 3編 「扇射探索法による採石場斜面の安定性評価」 田中芳則 「地震による建築物被害分布の平均化の方法とその意義 －1995年兵庫県南部地震を例として－」 黒木貴一・脇坂安彦・秋山一弥 「評点法による岩盤斜面の安定度診断の試み」 角田隆彦</p> <p>◎ 40周年記念式典 記念講演 「21世紀のエネルギーを生み出す産学共同体」 木村 孟 「大深度地下建設の諸問題」 福地合一</p> <p>◎ シンポジウム テーマ 「地域特性に見る応用地質学上の問題と展望」</p> <p>5.29 中国四国支部総会・特別講演 参加者114名</p> <p>6.12 中部支部総会・特別講演 参加者53名</p> <p>6.19 関西支部総会・特別講演 参加者73名</p> <p>9.20 国際応用地質学会(IAEG)第8回国際会議(於 バンクーバ ー) 団長 市川 慧会長, 他2名</p> <p>9.20 第8回海外応用地質学調査団 (カナダ・アメリカ) ～10.3 カナダ班、アメリカ班 参加者24名</p> <p>10.21 H10研究発表会 中部支部共催 (於 名古屋) ～22 特別講演「超深深層への挑戦－地層処分の技術的信頼性 を得るために－」 湯佐泰久、 発表論文78編、参加者214名</p> <p>講習会 テーマ「応用地質計測」(於 本部及び全国6支部) 学会誌第39巻特集号「40周年記念特集号」</p>	<p>2.4 アフガニスタン北東部で地震：M 6.1、死者4,000人</p> <p>4.5 明石海峡大橋が開通</p> <p>4.29 気候変動枠組み条約の京都議定書に署名</p> <p>5.30 アフガニスタン北部で地震：M 6.9、死者5,000人</p> <p>6.13 北海道室蘭市の室蘭港に架かる白鳥大橋開通</p> <p>7.17 パプアニューギニアで地震：M 7、死者2,500人</p> <p>9.3 岩手県内陸北部地震：M 6.2 (旧M 6.1)、最大震度：6弱</p> <p>10.1 核燃料サイクル開発機構発足</p>	<p>1. 新進党解党、野党再編へ</p> <p>2.25 金大中氏、韓国大統領就任</p> <p>2.7 長野オリンピック開幕</p> <p>4.1 日本版金融ビッグバンスタート</p> <p>4.18 エリツィン・ロシア大統領来日</p> <p>4.27 民主・民政・新党友愛・民改連、新「民主党」結党</p> <p>5.2 X JAPANのギタリストhideが死去</p> <p>5.11 インドで24年ぶり2度目の核実験</p> <p>5.21 スハルト・インドネシア大統領辞任、後任にハビビ副大統領</p> <p>5.28 パキスタン、インドに対抗して初の核実験。</p> <p>6.3 ドイツで超高速列車ICEが脱線。100人以上が死亡</p> <p>6.10 FIFAワールドカップフランス大会開幕</p> <p>7.12 第18回参議院議員選挙投票、自民党惨敗</p> <p>7.25 和歌山毒物カレー事件発生 Microsoft Windows 98日本語版発売</p> <p>7.30 小渕内閣発足</p> <p>8.7 ケニアナイロビの米大使館テロ事件、247人死亡</p> <p>8.20 米国、アフガニスタンとスーダンのテロ関連施設を ミサイル攻撃</p> <p>8.31 北朝鮮、テポドン発射、三陸沖に着弾</p> <p>9.6 黒澤明監督死去</p> <p>10.8 金大中韓国大統領、日本訪問</p> <p>10.9 地球温暖化対策推進法公布</p> <p>10.29 向井さん、2度目の宇宙へ</p> <p>11.25 江沢民中国国家主席、日本訪問</p> <p>12.1 NPO法施行</p> <p>12.16 国際連合の大量破壊兵器査察を拒否したイラクを米英軍 が空爆</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
<p>平成11年 (1999)</p>	<p>4 「斜面地質学」を発売                      4.22 北海道支部総会・特別講演 参加者110名                      5 「九州の大地とともに」を発売(九州支部)                      5.12 見学会 茨城県小山ダム 参加者50名                      5.14 九州支部総会・特別講演 参加者194名                      5.14 東北支部総会・特別講演 参加者127名                      5.27 定例総会・シンポジウム                      正会員2,387名 (H10年度末)、賛助会員144社                      IAEG会員209名                      ◎ シンポジウム テーマ                      「地下水変動に関わる様々な要因と応用地質」参加者151名                      5.28 中国四国支部総会・特別講演 参加者114名                      6.4 中部支部総会・特別講演 参加者43名                      6.16 関西支部総会・特別講演 参加者75名                      8 「土木地質図作成マニュアル」を発売                      10.27 H11研究発表会 九州支部共催 (於 鹿児島)                      ~28 特別講演「火山地域の土砂災害とその対策」下川悦郎、                      発表論文87編、参加者210名                      11.26 講習会 テーマ「斜面地質学」(本部ほか全国5支部)                      9.23~ 第2回アジア地域応用地質学国際シンポジウム                      25 参加者約100名(日本から市川会長ほか15名が参加)                      9.26~ 第9回海外応用地質学調査団(ネパール)                      10.10 市川団長 参加者27名                       学会誌第40巻特集号「現場の教訓-継承したい貴重な事例-</p>	<p>1.25 コロンビアで地震：M 6、死者1,000人                      5.1 本州四国連絡橋「瀬戸内しまなみ海道」開通                      6.27 山陽新幹線福岡トンネルのコンクリート壁が剥落                      6.29 梅雨前線の影響で西日本を中心に大雨、福岡市や広島県では浸水や土砂災害が発生した                      8.14 熱帯低気圧の影響により関東地方で大雨、玄倉川で13人が死亡                      8.17 トルコ大地震：M 7.4、建物崩壊で16,000人死亡                      9.20 文部省、国立大学の独立行政法人化実施を表明                      9.21 集集地震(台湾大地震)：M 7.7、2,000人以上が死亡                      9.24 台風18号が熊本県に上陸、全国的に高潮や暴風で被害が出る                      10.30 上信越自動車道が全線開通                      11.12 トルコ北西部で地震：M 7.2、死者400人                      12.4 山形新幹線、新庄へ延伸</p>	<p>1.1 EUの単一通貨ユーロがフランス・ドイツなど11カ国で導入(銀行間取り引きなどの通貨として)                      1.14 自自連立により、小渕第1次改造内閣が発足                      2.28 臓器の移植に関する法律に基づく初めての脳死臓器移植が実施される                      3.1 日産自動車、フランスのルノーと資本提携を結ぶ                      3.3 日本銀行、ゼロ金利政策実施                      3.23 日本海で不審船発見、威嚇射撃をするも北朝鮮の清津港に逃走。(能登半島沖不審船事件)                      3.24 (1998年からの)コソボ紛争への制裁のため、NATO軍がユーゴスラビアを空爆、6月10日停止                      4.11 統一地方選挙、石原慎太郎氏、東京都知事に当選 横山ノック氏が大阪府知事に再選                      6.1 ソニーがロボット犬「AIBO」の発売を開始                      6.10 NATO、ユーゴ軍のコソボからの撤退合意で空爆停止                      6.30 改正労働者派遣法・改正職業安定法成立                      7.8 中央省庁等改革関連法、地方分権一括法が成立                      9.30 東海村JCO臨界事故発生、茨城県東海村の核燃料施設JCOで日本初の臨界事故、2人死亡                      10.1 ロシア軍がチェチェン共和国に侵攻                      10.5 自民・自由・公明3党連立内閣発足                      12.21 マカオ、ポルトガルから中国に返還                      12.31 ロシアのエリツィン大統領が辞任、代行にプーチン首相を指名                      12.31 パナマ運河、アメリカ合衆国からパナマに返還                      12.31 2000年問題の動向が注目される中の年越し</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成12年 (2000)	<p>4.14 北海道支部総会・特別講演 参加者70名</p> <p>5.12 見学会 茨城県小山ダム 参加者42名</p> <p>5.12 東北支部総会・特別講演 参加者142名</p> <p>5.19 九州支部総会・特別講演 参加者190名</p> <p>5.26 定例総会・シンポジウム 会 長 大島洋志 副会長 田中芳則 清水国夫 正会員2,414名 (H11年度末)、賛助会員145社 IAEG会員206名 名誉会員に磯崎義正、井上康夫、岩橋 徹、白井慶治、 西川泰、林田精郎、三浦 清、持田 豊の8氏推薦 (名誉会員41名) 論文賞 2編 「地震時の地下水変動から推定される淡路島北部地域の水 理特性」 徳永朋祥 「未固結堆積物の定方位連続地層採取方法の開発とその応 用」 原口 強・小島圭二</p> <p>◎ シンポジウム テーマ 「斜面ハザードマップの現状と課題」 特別講演「技術者の資格と教育」落合英俊</p> <p>5. 31 中国四国支部総会・特別講演 参加者110名</p> <p>6.16 関西支部総会・特別講演 参加者71名</p> <p>7.14 中部支部総会・特別講演 参加者76名</p> <p>7.26 「1999ChiChi地震の応用地質学的側面」「都市地震防災の ための都市深部地盤モデル」に関するシンポジウム</p> <p>8.4 第10回海外応用地質学調査団 ～17 ブラジル、ペルー調査 参加者17名</p> <p>10 「山地の地形工学」を発刊</p> <p>10.31 H12研究発表会 関西支部共催 (於 京都) ～11.1 特別講演「文化財と地震防災」土岐憲三、 発表論文91編、参加者234名</p> <p>11.10 講習会 「山地の地形工学」発刊に伴う講習会(於 東京)</p> <p>学会誌第41巻特集号「21世紀の応用地質」</p>	<p>1.23 吉野川可動堰の可否を巡る住民投票が徳島市で実施 反対得票率90%以上となり徳島市、可動堰建設計画頓挫</p> <p>3.11 徳島自動車道が全線開通</p> <p>3.31 有珠山が28年ぶりに噴火</p> <p>7.28 四国縦貫自動車道が全線開通</p> <p>7.1～8.18 新島・神津島・三宅島近海で地震： M 6.5が2回 (7月1、30日)、M 6.3が1回 (7月15日)、 最大震度：6弱の地震を6回観測 (7月1、9、15、30日に各1 回、8月18日に2回)、死者1人、約1ヶ月後に三宅島が噴火 地震活動は6月26日から始まった</p> <p>10.6 鳥取県西部地震：本震は M 7.3、鳥取県西部で最大震度： 6強</p> <p>10.7 関東最大の多目的ダム、宮ヶ瀬ダム (中津川) が完成 富郷ダム (銅山川) が完成、吉野川総合開発事業が完了</p> <p>2.28 アラビア石油、サウジアラビア分探掘権が失効</p>	<p>2.6 大阪府知事選で太田房江氏当選。</p> <p>3.8 営団地下鉄 (現・東京地下鉄) 日比谷線中目黒駅で脱線事 故 (営団日比谷線脱線衝突事故) 5人が死亡、60人以上が 重軽傷</p> <p>4.2 小淵恵三総理大臣、脳梗塞で緊急入院 (4日、小淵内閣が総辞職) その後、5月14日死去</p> <p>4.3 保守党結成</p> <p>4.5 森喜朗氏が日本の第85代内閣総理大臣に指名される</p> <p>5.3 西鉄バスジャック事件発生</p> <p>5.7 プーチン氏がロシア大統領に就任</p> <p>5.15 森喜朗総理大臣、神の国発言</p> <p>6.1 大規模小売店舗立地法が施行</p> <p>6.6 香川県豊島の住民と県、不法投棄に関して合意</p> <p>6.10 群馬県新田郡尾島町 (現・太田市) の化学工場で爆発事故 が発生、死者4人、けが人多数</p> <p>6.25 第42回衆議院議員総選挙 (6月13日公示)</p> <p>6.29 雪印集団食中毒事件発覚</p> <p>6.30 建設省入札疑惑につき中尾栄一元建設相を受託収賄容疑 で逮捕</p> <p>7.12 そごうが民事再生手続開始の申立て</p> <p>7.21 九州・沖縄で第26回主要国首脳会議 (九州・沖縄サミット) が開催される、7月23日まで</p> <p>7.25 コンコルド墜落事故、パリ郊外のホテルに激突して114人 死亡</p> <p>8.25 与党3党、公共事業見直しを求める勧告案に合意</p> <p>9.6 ロシア・プーチン大統領来日</p> <p>9.15 シドニーオリンピック開幕</p> <p>9.27 ハザマ、第一勧銀などと債権放棄につき合意発表</p> <p>10.1 国勢調査</p> <p>10.10 筑波大学名誉教授の白川英樹にノーベル化学賞を贈られ ることが決定される</p> <p>10.12 朱鎔基・中国首相来日</p> <p>11.4 前期旧石器時代の文化が日本にも存在していたとして注 目された、宮城県築館町 (現・栗原市) の上高森遺跡の 捏造が発覚</p> <p>11.11 オーストリアケーブルカー火災事故、トンネル内の火災 で日本人ツアー客10人含む155人が死亡</p> <p>11.27 名古屋地裁、名古屋南部大気汚染公害訴訟で国・企業に賠 償命令</p> <p>12.1 原発振興法成立</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
<p>平成13年 (2001)</p>	<p>3 「都市地震防災のための深部地盤モデル」最終報告書 (社全地連共著) を発刊</p> <p>3.6 北陸支部総会・特別講演 参加者29名</p> <p>4 CD-ROM版「写真で見る応用地質-地形・地質と斜面災害」を発刊</p> <p>6.7 北海道支部総会・特別講演</p> <p>5.17,18 見学会 第二東名 森・掛川IC工事、 大谷崩れ及び坂本地すべり 参加者25名</p> <p>5.17 九州支部総会</p> <p>5.31 東北支部総会・特別講演</p> <p>5.25 定例総会・シンポジウム 正会員2,424名 (H12年度末)、賛助会員147社 IAEG会員201名 名誉会員に中島秀雄氏推薦 (名誉会員42名)</p> <p>◎ シンポジウム テーマ 「応用地質分野における物理探査 の再評価」 「地震被害と地質・地盤情報」 特別講演「弾性波速度分布によるトンネル岩盤の事前予測 と施工時の岩盤評価との関係」 中川浩二</p> <p>6.1 中国四国支部総会・特別講演 参加者121名</p> <p>7.6 中部支部総会・特別講演</p> <p>6.8 関西支部総会・特別講演 参加者69名</p> <p>9.3-5 第3回アジア地域応用地質学国際シンポジウム 於 インドネシア、参加者約200名(日本から井上国際委 員長ほか15名が参加)</p> <p>10.31 H13研究発表会 東北支部共催 (於 郡山) ～11.1 特別講演「磐梯山の最新の活動と火山噴火予知の現状」 浜口博之、発表論文90編、参加者233名</p> <p>10.9 講習会 「トンネル工事のための土木地質学」(於 東京) 参加者201名</p> <p>学会誌第42巻特集号「デジタル時代の応用地質」</p>	<p>1.6 中央省庁再編により建設省、運輸省・北海道開発庁・国土 庁と合併し国土交通省が発足</p> <p>1.13 エルサルバドルで地震：M 7.6、死者3,000人</p> <p>1.26 インド西部地震 グジャラート州でM 7.9、2万人強が死亡</p> <p>2.20 長野県の田中康夫知事、県議会で「脱ダム宣言」</p> <p>3.24 芸予地震：本震はM 6.7 (4月23日改訂・旧M 6.4) 広島県南部で最大震度6弱、死者2人</p> <p>3.27 諫早水門長期開放へ</p> <p>9.26 千葉県知事、三番瀬埋め立て中止表明</p>	<p>1.6 中央省庁再編、1府12省庁制となる</p> <p>1.20 ジョージ・W・ブッシュ氏がビル・クリントン氏の後を継 いでアメリカ合衆国大統領に就任</p> <p>2.9 ハワイ沖で愛媛県宇和島水産高の実習船「えひめ丸」が米 海軍の原子力潜水艦グリーンヴィルと衝突して沈没、9人 が行方不明に (えひめ丸事件)</p> <p>2.22 コロンビアで矢崎総業の現地法人「矢崎シーメル」社の日 本人副社長がコロンビア革命軍に誘拐される。約2年9ヵ月 後に遺体で見発見</p> <p>3.25 千葉県知事に無党派、堂本暁子氏当選</p> <p>3.28 米、地球温暖化防止の京都議定書から離脱</p> <p>4.1 情報公開法施行</p> <p>4.26 第1次小泉内閣発足</p> <p>5.1 浦和・大宮・与野の3市合併でさいたま市誕生</p> <p>6.8 大阪教育大附属池田小児童殺傷事件</p> <p>6.21 経済財政諮問会議、経済財政基本方針 (骨太の方針) を決 定</p> <p>7.21 明石市のJR山陽線朝霧駅の歩道橋で花火大会の見物客が 将棋倒しになり、11人死亡</p> <p>7.29 第19回参議院議員選挙 (7月12日公示)</p> <p>8.29 H-IIA ロケット試験機1号機が打ち上げられる</p> <p>9.10 日本国内初の狂牛病 (BSE) 感染牛が発見される</p> <p>9.11 アメリカ同時多発テロ事件</p> <p>10.3 東京地裁、小田急線の高架化工事につき事業認可処分を違 法と判決</p> <p>10.7 アメリカ軍によるアフガニスタン侵攻開始 (タリバン政権 に対する戦争)</p> <p>12.23 アルゼンチン政府が対外債務の一時支払い停止を宣言</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
<p>平成14年 (2002)</p>	<p>4.17 北海道支部総会・特別講演 参加者33名                      5.17 九州支部総会・特別講演                      5.31 東北支部総会・特別講演 参加者32名                      5.24 定例総会・シンポジウム                      会 長 大島洋志 副会長 井上大榮 江崎哲郎                      正会員2,438名 (H13年度末)、賛助会員134社                      IAEG会員195名                      名誉会員に相原安津夫、永峰良則、羽原俊行の3氏推薦                      (名誉会員45名)                      論文賞 2編                      「土砂トンネルの切羽安定性評価に基づく地山分類法」                      木谷日出男                      「黄鉄鉱を含む堆積岩の溶水酸性化ポテンシャルに関する                      実験的検討」                      五十嵐敏文・大山隆弘                      ◎ シンポジウム テーマ 「最近の岩盤分類に関する技術動                      向と今後の展望」                      特別講演「明石海峡大橋の地盤と基礎」吉中龍之進                      5.31 見学会 水資源開発公団 滝沢ダム、参加者43名                      6.5 中国四国支部総会・特別講演 参加者146名                      6.5 中部支部総会・特別講演 参加者78名                      6.7 関西支部総会・特別講演 参加者71名                      6.26 北陸支部総会・特別講演 参加者21名                      9.6 講習会「地形で読む山地の地質」(於 大阪)                      参加者62名                      9.14 第11回海外応用地質学調査団                      ～28 南アフリカ巡検 参加者15名                      10.31 H14研究発表会 中四国支部共催 (於 高松)                      ～11.1 特別講演「石と人の美しき出会い」前田 仁                      発表論文116編、参加者292名                      12.13 講習会「トンネル工事のための土质地質学」(於 福岡)                       学会誌第43巻特集号「環境と応用地質」</p>	<p>3.25 アフガニスタン北部で地震：M 6、死者1,000人                      小泉純一郎内閣、「骨太の方針」に従い公共事業総点検を                      開始、10年以上事業が進捗していないダム事業の多くが計                      画中止・休止となる                      5.21 衆院、地球温暖化防止の京都議定書を承認                      8.13 ヨーロッパで大洪水発生                      12.1 東北新幹線盛岡駅～八戸駅間延長開業                      12. 熊本県の潮谷義子知事、県営荒瀬ダム(球磨川)を水利権失                      効後に解体・撤去する方針を表明</p>	<p>1.1 欧州単一通貨ユーロ、12カ国で流通開始                      1.9 首相、ASEAN5カ国歴訪(～15)                      1.29 ブッシュ大統領が悪の枢軸発言をする                      2.8 ソルトレイクシティオリンピックが開幕(～22日)                      2.17 ブッシュ大統領来日                      5.20 東ティモールが主権国家として独立、21世紀初の独立国誕                      生                      5.28 経済団体連合会(経団連)と日本経営者団体連盟(日経連)                      が統合、日本経済団体連合会(日本経団連)が発足                      5.31 FIFAワールドカップ開幕(～6月30日)                      6.12 G8外相会議、カナダで開幕                      8.5 住民基本台帳ネットワーク開始                      9.10 スイスが国連に加盟、27日には東ティモールも加盟し国                      連の加盟国は191ヶ国になった                      9.17 小泉純一郎首相が訪朝、金書記長、日朝首脳会談で、日本                      人拉致問題を公式に認める                      10.8 小柴昌俊東京大学名誉教授にノーベル物理学賞、翌日                      には田中耕一島津製作所社員にノーベル化学賞の受賞が                      決定する(日本人の同年ダブル受賞は初めて)                      10.12 バリ島で爆弾テロ事件発生、日本人含む190人以上が死                      亡した                      10.15 拉致被害者5人が帰国                      12.19 韓国の第16代大統領に盧武鉉氏が当選する</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成15年 (2003)	<p>1.1 大島洋志 IAEG副会長に就任</p> <p>4 「応用地質計測 ー手法と解釈・評価ー」を発刊</p> <p>4.18 北海道支部総会・特別講演 参加者81名</p> <p>4.25 北陸支部総会・特別講演 参加者34名</p> <p>5.16 九州支部総会・特別講演</p> <p>5.23 東北支部総会・特別講演 参加者116名</p> <p>5.23 中国四国支部総会・特別講演 参加者135名</p> <p>5.24 中部支部総会・特別講演 参加者47名</p> <p>5.30 定例総会・シンポジウム 正会員2,388名 (H14年度末)、賛助会員127社 IAEG会員186名</p> <p>◎ シンポジウム テーマ「地盤環境の調査・評価技術の現状」 特別講演「応用地質分野におけるGIS技術の活用」 江崎哲郎</p> <p>6.5 関西支部総会・特別講演 参加者65名</p> <p>6.6 見学会 大谷石採掘跡地観測所・採掘現場、参加者25名</p> <p>10.16 H15研究発表会 北海道支部共催 (於 札幌)</p> <p>～17 特別講演「有珠山噴火災害の復興における技術的課題」 岡田 弘 発表論文132編、参加者263名</p> <p>講習会「電子地質図の作成基礎講座」(於 東京) 参加者80名</p> <p>学会誌第44巻特集号「海外の応用地質」</p>	<p>3.30 高松自動車道が全線開通</p> <p>5.16 福岡高裁, 川辺川利水訴訟で原告農家側逆転勝訴の判決</p> <p>5.26 宮城県沖で地震 (東北地震、三陸南地震) : 本震は M 7.1、岩手県・宮城県で最大震度6弱、太平洋プレート内の地震</p> <p>7.7 能登空港開港</p> <p>7.20 九州地方で集中豪雨が発生、死者23人</p> <p>7.26 宮城県北部地震: 本震は M 6.4、宮城県北部で最大震度: 6強 (このほかにも、前震と余震で、それぞれ1回ずつ震度6弱を記録) 負傷者700人以上、およそ5,000戸の住宅が被害</p> <p>9.26 十勝沖地震: 本震は M 8.0、北海道で最大震度: 6弱、死者2人、同日発生の最大余震もM 7.1、最大震度: 6弱</p> <p>10.1 独立行政法人発足</p> <p>10. 電源開発株式会社、民営化が決定 (翌年民営化、東証一部に株式公開)</p> <p>12.26 イラン、ケルマーン州バムで M 6.7の大地震: 建物崩落でおよそ3万人が死亡し、アルゲ・バム遺跡も崩壊した</p>	<p>1.10 北朝鮮が核拡散防止条約(NPT)脱退を宣言</p> <p>2.1 アメリカ航空宇宙局、スペースシャトル・コロンビア号、帰還のため大気圏突入後、テキサス州上空で空中分解、墜落、宇宙飛行士7名全員死亡</p> <p>2.24 北朝鮮が地对艦ミサイルを日本海に向け発射 (3月10日にも発射)</p> <p>3.19 アメリカ・イギリスによるイラク侵攻作戦開始 (イラク戦争開戦) 3月頃から中国で新型肺炎SARSが大流行、死者700人超</p> <p>4.1 平成の大合併</p> <p>4.1 郵政事業庁が日本郵政公社に</p> <p>4.13 統一地方選挙, 石原都知事再選</p> <p>4.27 衆院補欠選挙</p> <p>5.1 ヨルダンのアンマン国際空港の手荷物検査場で、毎日新聞の記者が取材の記念に持ち帰ろうとした手榴弾が爆発、空港職員1人が死亡</p> <p>5.23 個人情報保護法が参議院本会議で可決され、成立する</p> <p>6.6 盧武鉉 (ノ・ムヒョン) 韓国大統領、国賓として来日、天皇と会見 (~9日)</p> <p>6.10 政府はりそなホールディングスに対して1兆9,600億円の公的資金注入を決定</p> <p>8.14 アメリカ・カナダで東部を中心に大規模な停電 (北アメリカ大停電、BLACKOUT 2003)</p> <p>8.31 沖縄で非番中の自衛官が不発ロケット弾により爆死、後に大量の武器弾薬が同自衛官宅などで発見される</p> <p>9.15 阪神が18年ぶりセ・リーグの優勝決める</p> <p>9.16 自民党総裁再選を受け、小泉再改造内閣が成立</p> <p>10.1 東海道新幹線の東京駅～新横浜駅間に品川駅が開業</p> <p>10.7 カリフォルニア州知事に俳優・アーノルド・シュワルツェネッガー氏が当選</p> <p>10月 鳥インフルエンザ感染発生</p> <p>11.9 第43回衆議院総選挙、投票即日開票、与党3党、絶対安定多数を確保 (11月19日、第二次小泉内閣)</p> <p>11.24 コロンビアで2001年2月に誘拐され、コロンビア革命軍が身代金を要求していた日本企業の現地法人副社長が射殺遺体で見つかる</p> <p>11.29 地方銀行上位行の足利銀行 (本店・栃木県宇都宮市) が、特別危機管理銀行の認定を受け経営破綻、一時国有化</p> <p>12.1 地上デジタルテレビジョン放送が東京、大阪、名古屋で放送開始</p> <p>12.13 アメリカ軍がサッダーム・フセインイラク元大統領を拘束</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成16年 (2004)	<p>4.16 北海道支部総会・特別講演 参加者22名</p> <p>5.2 第4回国際応用地質学会アジアシンポジウム 於 香港 4 参加47名(日本から東北支部等12名参加)</p> <p>5.14 九州支部総会・特別講演 参加者165名</p> <p>5.20 関西支部総会・特別講演 参加者63名</p> <p>5.21 東北支部総会・特別講演 参加者95名</p> <p>5.21 中国四国支部総会・特別講演 参加者135名</p> <p>5.22 中部支部総会・特別講演 参加者29名</p> <p>5.26 北陸支部総会・特別講演 参加者32名</p> <p>5.28 定例総会・シンポジウム 会 長 井上大榮 副会長 北川修三, 小坂和夫 正会員2,319名 (H15年度末)、賛助会員124社 IAEG会員175名 名誉会員に大八木則夫、緒方正彦、岡本隆一、黒田和男、 杉本卓司、福竹養造の6氏推薦 (名誉会員51名) 論文賞 2編 「地質時間にわたる淡塩漸移帯の形成過程と形態変化に関する数値解析的検討」 登坂博之 「酸性水発生に関わる掘削残土の応用地質学的検討—鉱山に近接して施工される八甲田トンネルにおける岩石特性評価法」 服部修一・太田岳洋・木谷日出男</p> <p>◎ シンポジウム テーマ 「地質スケールに応じた地下水流動問題とその応用地質学的アプローチ」 特別講演「大阪平野に見られる地下水問題」参加者160名</p> <p>6.22 講習会 「斜面防災調査と対策」(於 東京) 参加者66名</p> <p>7.9 講習会 「付加体地質」(於 東京) 参加者54名</p> <p>7.10 現場研修 三浦半島三浦市浜諸磯</p> <p>8.19 第12回海外応用地質学調査団 ～28 第32回国際地質学会議、イタリア巡検 参加者15名</p> <p>8 「応用地質用語集 (CD-ROM) Ver.1.0」を発刊</p> <p>10.28 H16研究発表会 北陸支部共催 (於 新潟) ～29 特別講演「越後平野の「変革」と大河津分水 ～人と思想と技術にふれて～」五百川 清、 発表論文139編、参加者222名</p> <p>10.18 講習会 「最新のリモートセンシング技術を応用した防災地質」(於 東京) 参加者51名</p> <p>学会誌第45巻特集号「地下水」</p>	<p>3.13 九州新幹線新八代駅～鹿児島中央駅間が開業</p> <p>3.27 長崎自動車道が全線開通</p> <p>7.13 平成16年7月新潟・福島豪雨発生。三条市や中之島町(現在の長岡市)を中心に甚大な被害</p> <p>7.18 福井豪雨発生:JR越美北線の橋梁が流失、建設凍結中の足羽川ダム(足羽川)建設再開要望が高まる(2006年建設再開)</p> <p>8.26 佐賀地裁,有明海沿岸漁民の諫早湾干拓工事差し止め請求を認める決定</p> <p>10.20 台風23号:死者・行方不明者93人</p> <p>10.23 新潟県中越地震(新潟県中越大震災):本震は M 6.8、新潟県中越地方で最大震度7、死者68人、震度6弱以上の余震を4回観測、妙見堰(信濃川)が損壊</p> <p>12.26 スマトラ島沖地震:インドネシア、アチェ(スマトラ島) M 9.3、インド洋周辺諸国の海岸地域に大規模な津波被害、死者・行方不明者は外国人観光客を含む約30万人</p>	<p>1.12 山口県の養鶏場で日本国内では79年ぶりとなる鳥インフルエンザが発生</p> <p>1.19 自衛隊イラク派遣開始</p> <p>3.4 長嶋茂雄巨人軍終身名誉監督が脳梗塞で入院</p> <p>3.11 スペイン列車爆破事件発生</p> <p>3.20 中華民国(台湾)総統選挙で陳水扁総統再選</p> <p>4.1 日本航空と日本エアシステムが完全に経営統合</p> <p>4.1 市町村合併により7府県で11市が誕生</p> <p>4.7 イラク日本人人質事件発生</p> <p>4.28 年金改革関連法案が与党賛成多数で可決</p> <p>5.22 2回目の日朝首脳会談が平壤で行われ、拉致被害者の家族5人が帰国</p> <p>5.27 イラクで取材の日本人ジャーナリスト2名殺害</p> <p>6.8 G8シーアイランド・サミットが米国ジョージア州で開催</p> <p>6.13 近畿日本鉄道が大阪近鉄バファローズとオリックスブルーウェーブの合併計画を発表</p> <p>7.11 第20回参議院議員通常選挙投票実施</p> <p>7.21 韓国の盧武鉉大統領と日本の小泉純一郎首相が済州島で会談</p> <p>8.13 アテネオリンピック開幕(8月29日)</p> <p>9.19 江沢民氏が中央軍事委員会主席を退き、胡錦濤氏が中国の共産党、政府、軍の全権を掌握</p> <p>9.27 第2次小泉改造内閣発足</p> <p>11.1 新紙幣発行</p> <p>11.2 プロ野球で50年ぶりに東北楽天ゴールデンイーグルスの新規参入が決まる</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成17年 (2005)	<p>2.5 報告会 「平成16年新潟県中越地震災害調査報告会」(地すべり学会と共催) 参加者125名</p> <p>3.5 講演会 「活断層と地震の予測」(技術士会と共催) 参加者223名</p> <p>4.15 北海道支部総会・特別講演 参加者23名</p> <p>5.13 九州支部総会・特別講演 参加者86名</p> <p>5.20 東北支部総会・特別講演 参加者120名</p> <p>5.20 中国四国支部総会・特別講演 参加者34名</p> <p>5.20 関西支部総会・特別講演 参加者65名</p> <p>5.27 定例総会・シンポジウム 正会員2286名(H16年度末)、賛助会員115社 IAEG会員169名</p> <p>◎ シンポジウム テーマ 「地形工学の新たな展開—新潟中越地震災害の実態を踏まえて—」 特別講演「応用地質学のための地形図読図」 鈴木隆介 参加者130名</p> <p>5.28 中部支部総会・特別講演 参加者25名</p> <p>6.3 北陸支部総会・特別講演 参加者22名</p> <p>11.29 合同シンポジウム「付加体と土木地質—地質図の有効性と限界—」 参加者150名</p> <p>10.27 H17研究発表会 中部支部共催(於 名古屋) ~28 特別講演「東海・東南海地震の地震動および津波災害について」安藤雅孝、発表論文136編、参加者285名</p> <p>12.9 講習会 「付加体と応用地質の関わり」(産総研との共催)(於 つくば) 現地研修会 茨城県御前山ダムサイト 参加者28名</p> <p>学会誌第46巻特集号 「2004年(平成16年)新潟県中越地震および豪雨災害」 「応用地質における地形情報の活用」</p>	<p>2.17 中部国際空港(セントレア)が愛知県常滑市沖合に開港</p> <p>3.20 福岡県西方沖地震:本震はM 7.0、福岡県・佐賀県で最大震度:6弱、死者1人</p> <p>3.25 愛知万博が開催(~9月25日まで)</p> <p>3.28 スマトラ島沖地震:インドネシア、スマトラ島沖で大きな地震、M 8.6、震源地に近いニアス島などで1,000~2,000人が死亡</p> <p>7.3 小笠原諸島の南硫黄島沖の「福徳岡ノ場」と呼ばれる海底火山が噴火する</p> <p>8. 全国的大洪水で各地のダムが枯渇、早明浦ダムの貯水率が0%となり連日報道される</p> <p>8.16 宮城県南部地震:M 7.2、宮城県で最大震度:6弱、宮城県沖地震とは別の地震</p> <p>8.24 つくばエクスプレス線が開通</p> <p>10.1 道路関係四公団が民営化</p> <p>10.8 パキスタン地震:M 7.6、死者約10万人 億首ダム(億首川)、世界初の台形CSGダムとして建設が開始される</p>	<p>1.11 青色発光ダイオード訴訟で発明者に対し1審より大幅減の8億円を支払うことで和解</p> <p>1.20 ジョージ・W・ブッシュ氏2期目のアメリカ合衆国大統領に就任</p> <p>2.1 三宅島の避難指示が15時に解除され、4年5ヶ月ぶりに帰島を果たす</p> <p>2.16 京都議定書発効</p> <p>2.26 H-IIAロケット7号機が無事に打ち上げられ、運輸多目的衛星新1号(3月8日、愛称「ひまわり6号」と命名)が軌道に投入される</p> <p>3.25 愛知万博が開幕(9月25日まで開催)</p> <p>4.1 ペイオフ完全施行。個人情報保護法施行</p> <p>4.2 ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世が死去</p> <p>4.19 新ローマ教皇が決定、ベネディクト16世と名乗る</p> <p>4.25 JR福知山線脱線事故が起こる、運転士含め死者107人・負傷者555人とJR史上最悪の鉄道事故となる</p> <p>5.1 北朝鮮が日本海に向けて地对艦ミサイルを発射</p> <p>5.23 日本道路公団が発注する鋼鉄製の橋梁の工事にあたり、工事に携わったメーカーで談合</p> <p>6.26 茨城県水海道市の養鶏場で、国内初のH5N2型の鳥インフルエンザが検出される</p> <p>6.29~ 建材を製造している企業や建設業などで、従業員や家族がアスベスト(石綿)が原因とみられる中皮腫などによって多数、死亡していたことが公表される</p> <p>7.7 ロンドン同時爆破事件が発生、地下鉄3ヶ所とバス1台が被害に遭い、死者は55人、負傷者は1,000人以上</p> <p>7.26 日本人宇宙飛行士野口聡一さんが搭乗したスペースシャトル「ディスカバリー」の打ち上げに成功、週間のミッションを終え、8月9日に地球に帰還</p> <p>8.8 郵政民営化関連法案が参議院で否決、これを受けて第2次小泉改造内閣は衆議院を解散</p> <p>8.26 ハリケーン「カトリーナ」が米国上陸。死者約1,200人原油価格は高騰し、ブッシュ政権の支持率は急落</p> <p>9.11 第44回衆議院議員総選挙</p> <p>9.17 民主党代表選で前原誠司氏が代表に選ばれる</p> <p>9.21 第163回特別国会召集、3次小泉内閣が発足</p> <p>10.1 日本原子力研究所と核燃料サイクル開発機構が統合し、日本原子力研究開発機構が発足</p> <p>10.14 郵政民営化関連法案が成立</p> <p>11.17 耐震強度偽装事件が発覚、歯建築設計事務所による構造計算書</p> <p>11.26 惑星探査機「はやぶさ」が小惑星「イトカワ」への着陸と岩石の採取に成功</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成18年 (2006)	<p>4.19 北海道支部総会・特別講演 参加者112名</p> <p>5.12 関西支部総会・特別講演 参加者50名</p> <p>5.12 九州支部総会・特別講演 参加者135名</p> <p>5.19 東北支部総会・特別講演 参加者111名</p> <p>5.20 中国四国支部総会・特別講演 参加者34名</p> <p>5.20 中部支部総会・特別講演 参加者26名</p> <p>5.26 定例総会・シンポジウム 正会員2,262名 (H17年度末)、賛助会員112社 IAEG会員168名 名誉会員に石川浩次、佐田公好、藤田 崇、宮島圭司、榎倉克幹の5氏推薦 (名誉会員56名) 論文賞 2編 「GISを用いた山地地形から三次元地すべり危険斜面を抽出する方法の開発と適用」 周 国云・江崎哲郎・佐々木靖人 「表層崩壊による崩土到達範囲確率予測手法の開発」 福田徹也・佐々木靖人・脇坂安彦 ◎ シンポジウム テーマ「付加体における応用地質学的問題」 特別講演「Engineering Geological Activities in Korea」 Yoon Kern Shin、参加者160名</p> <p>6.9 現地研修会 愛川トンネル建設現場及び宮ヶ瀬ダム 参加者27名</p> <p>6.16 北陸支部総会・特別講演 参加者37名</p> <p>9.6 国際応用地質学会(IAEG)第10回コンgres(於ノッティンガム) 井上会長ほか参加 IAEG総会を同時開催</p> <p>9.11 第13回海外応用地質学調査団 イギリス巡検 井上会長ほか10名が参加</p> <p>9.22 講演会「社会に貢献する応用地質学」(全地連フォーラム)</p> <p>9.23 現場見学会 根尾谷断層と奥美濃水力発電所 参加者21名</p> <p>10.19 講習会「応用地形学」参加者49名</p> <p>11 「応用地形セミナー 空中写真判読演習」を発売</p> <p>11.9 H18研究発表会 九州支部共催 (於 熊本)</p> <p>～10 特別講演「阿蘇火山の形成と最近の噴火活動」渡辺一徳、 発表論文159編、参加者307名</p> <p>学会誌第47巻特集号「環境汚染問題に対する応用地質学の貢献」</p>	<p>4.21 伊豆半島東方沖地震：本震はM 5.8、静岡県で最大震度：6弱、伊東市、伊豆市など伊豆半島各地で被害多数</p> <p>5.27 ジャワ島中部地震：M 6.2、死者5,000人以上</p> <p>7.17 ジャワ島南西沖地震：M 7.7、死者500人以上</p> <p>7. 滋賀県の嘉田由紀子知事、知事就任時の所信表明で新幹線新駅・産廃処理場建設と並びダム事業の凍結を表明する</p> <p>8. 長野県知事選挙で田中康夫を破り当選した村井仁知事、「脱ダム宣言」の見直しを表明する。</p>	<p>1.10 韓国、ソウル大学校の黄禹錫教授が発表した、ES細胞に関する論文が捏造と判明</p> <p>1.16 東京地検特捜部が証券取引法違反容疑で、ライブドアおよび関連施設等の強制捜査を行う</p> <p>2.10 トリノ冬季オリンピック開幕</p> <p>2.17 フィリピンレイテ島で、大規模な土砂崩れ。人口約3,000人の村が壊滅状態になるなど、2、000人が犠牲になる</p> <p>3.21 第1回ワールドベースボールクラシックで、王貞治監督率いる日本が初代優勝</p> <p>3.26 アスベスト被害を受けた患者や遺族に対して弔慰金や医療費などを給付する石綿による健康被害の救済に関する法律が施行された</p> <p>5.20 イラクでフセイン政権崩壊後、約3年ぶりに正式政府が発足</p> <p>6.9 FIFAワールドカップドイツ大会開幕</p> <p>7.5 北朝鮮が、テポドン2号など7発の弾道ミサイルを日本海へ向け連射</p> <p>7.25 イラクで、人道支援活動を行っていた陸上自衛隊員の最後の280名が、日本へ帰国</p> <p>10.8 安倍首相が、中国を訪問、胡錦涛国家主席と首脳会談</p> <p>10.9 安倍首相が、韓国を訪問、盧武鉉大統領と首脳会談</p> <p>12.26 サッダーム・フセイン元イラク大統領の死刑が確定 30日に死刑執行</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
<p>平成19年 (2007)</p>	<p>4.18 北海道支部総会・特別講演 参加者88名                      5.11 関西支部総会・特別講演 参加者59名                      5.11 中国四国支部総会・特別講演 参加者35名                      5.11 九州支部総会・特別講演 参加者119名                      5.12 中部支部総会・特別講演 参加者24名                      5.18 東北支部総会・特別講演 参加者128名                      5.25 定例総会・シンポジウム                      正会員2,157名 (H18年度末) 賛助会員106社                      IAEG会員153名                      ◎ シンポジウム テーマ 「地質調査と設計・施工を結ぶ                      コーディネート機能としての岩盤分類」                      特別講演「既存の岩盤分類の考え方・利用の変遷, および                      地盤工学会の岩盤分類とその動向」伊藤 洋                      6.15 北陸支部総会・特別講演 参加者32名                      9.7 シンポジウム「最新の災害に対する研究-安全・安心の                      ために-」(全地連フォーラム)                      10.11 H19研究発表会 関西支部共催(於 大阪)                      ~12 特別講演「近年の地震による地すべり」千木良雅弘、                      発表論文135編、参加者269名                      10.14 第6回応用地質学アジアシンポジウム「テーマ; 災害地質」                      ~17(於 ソウル) 参加者約200名(日本から井上会長ほか43名                      が参加)                      11.3 現地研修会「新潟県中越地震による旧山古志村の被災状況                      と復旧」 参加者37名                       学会誌第48巻特集号「リスクと応用地質」</p>	<p>2. 嘉田滋賀県知事、ダム事業凍結を事実上撤回、県営ダム事業                      再開を発表する                      3.25 能登半島地震:震源は石川県能登沖 M 6.9、最大震度:6                      強、北陸地方を中心に強い揺れ、死者1人                      7.16 新潟県中越沖地震:M 6.8、新潟県・長野県で最大震度:6強、                      死者15人</p>	<p>1.1 潘基文氏が新国際連合事務総長に就任                      1.14 日本の安倍晋三総理大臣、フィリピン・セブ島のホテル                      で、日中韓首脳会談に出席、北朝鮮の核兵器放棄を求め                      る共同声明を発表                      2.3 イラク・バグダードでイラク戦争後最大規模の自爆テロ発                      生、130人以上が死亡、300人以上が負傷                      2.5 中国の海洋調査船が尖閣諸島・魚釣島付近で無断海洋調査                      3.13 安倍首相、「安全保障協力に関する日豪共同宣言」に署名                      4.16 バージニア州のバージニア工科大学構内で、32人死亡、1                      5人負傷とアメリカ合衆国史上最悪となる銃乱射事件発                      生                      4.30 麻生外務大臣、アメリカ合衆国国務省でライス国務長官                      と会談                      5.15 ニコラ・サルコジ新フランス大統領就任                      5.17 朝鮮半島分断以来、初めて韓国・ムン山と北朝鮮・開城を                      結ぶ列車が試験運行される                      7.29 日本の参議院議員通常選挙で与党自民党が大敗し、民主                      党が参議院第一党になる                      8.1 アメリカ・ミネソタ州ミネアポリスでミシシッピ川にかか                      る高速道路のアーチ型の橋が崩落、多数の死傷者が出る                      8.20 中華航空機が那覇空港で爆発炎上。乗客・乗員165人無事                      脱出                      9.8-9 オーストラリア・シドニーでAPEC首脳会議開催                      9.12 安倍首相が突然内閣総理大臣辞任を表明                      9.14 日本の月探査衛星「かぐや」、打ち上げに成功                      9.18 ミャンマーでの軍事政権への抗議行動に僧侶たちが加わ                      り、反政府デモへと発展                      9.26 福田康夫氏が新内閣総理大臣に就任                      10.12 建築家黒川紀章氏、死去                      10.19 パキスタンでブット元首相を狙った爆弾テロが起き、136                      人が死亡                      11.24 オーストラリアで総選挙で労働党が勝利、ケビン・ラッド                      労働党党首がオーストラリア首相となる                      12.19 韓国大統領選挙で、李明博氏が次期大統領に選出される                      12.24 ネパール政府、240年続いた王制を廃止、共和制を導入す                      ることを発表                      12.27 パキスタンのブット元首相が暗殺される</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成20年 (2008)	<p>4.18 北海道支部総会・特別講演 参加者65名</p> <p>5.16 関西支部総会・特別講演・一般講演 参加者49名</p> <p>5.16 中国四国支部総会・講演会 参加者55名</p> <p>5. 9 九州支部総会(設立30周年記念総会)・特別講演 参加者124名</p> <p>5.17 中部支部総会・講演会 参加者68名</p> <p>5.23 東北支部総会・特別講演・討論会 参加者126名</p> <p>5.30 定例総会・シンポジウム 参加者221名 会長 江崎哲郎 副会長 千木良雅弘、成田賢(~H21) 正会員2,112名 (H19年度末)、賛助会員99社 IAEG会員145名 名誉会員に小島圭二、小林芳正、鈴木隆介、中尾健児 安江朝光の5氏推薦 (名誉会員61名) 論文賞 3編 「微生物の代謝活動により固化する新しいグラウトに関する基礎的研究」 川崎 了 「新潟県魚沼丘陵北部の河成段丘の層序」 幡谷竜太・柳田 誠・山本真哉・古澤 明 「地下温度からみた東京低地における地下水環境変化の評価」宮越昭暢・林 武司・佐倉保夫・川島眞一・川合将文 ◎シンポジウム テーマ「自然由来の環境問題」 特別講演「自然界におけるヒ素の存在形態と挙動ー土壤・地質・地下水汚染への対応ー」島田充堯</p> <p>6. 6 北陸支部総会・特別講演 参加者44名</p> <p>6.14 現場研修会「新潟県中越地震および中越沖地震の被災状況」参加者25名</p> <p>9.13 平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震(第一次)調査団 ~14 現地調査</p> <p>10.30 H20研究発表会(於 横浜) 発表論文113編、参加者358名 ~31 設立50周年記念大会「応用地質50年の実績と次の50年へ向けて」参加者358名(来賓4名 名誉・正会員292名 学生会員7名 非会員54名 マスコミ1社) 海外招待: 中国、韓国 ○記念行事、岩手・宮城内陸地震の調査団報告会 ○横浜地盤相談窓口および横浜地震・防災マップ解説 来訪者119名 ○記念祝賀会 参加者195名</p> <p>11. 3 講習会「初生地すべり現場講習会ー新潟県一ツ峰沢ー」 参加者37名 日本応用地質学会九州支部編「九州の自然災害~地盤災害を主として~」発刊</p>	<p>2. 5 米国中西部で大規模竜巻群が発生、テネシー州・アーカンソー州などで被害、死者57人</p> <p>2.20 シムル島地震:震源はスマトラ島西沖のシムル島の都市シナバンの北西42km Mw 7.5、死者3人、負傷者25人</p> <p>5. 2 ミャンマーに大型サイクロンが直撃。エヤワディ地区に被害が集中、死者350人程度</p> <p>5.12 四川大地震:震源は中国四川省汶川 Ms 8.0、死者約7万人</p> <p>6.14 岩手・宮城内陸地震:震源は岩手県内陸南部M 7.2、最大震度:6強、岩手県奥州市と宮城県栗原市を中心に強い揺れ、死者17人、行方不明者6人、負傷者426人</p> <p>7. 5 東海北陸自動車道全線開通</p> <p>7.24 岩手県沿岸北部地震:震源は岩手県沿岸北部 M 6.8、最大震度:6弱、東北地方の太平洋側で強い揺れ、死者1人、負傷者211人</p> <p>8.26 平成20年8月末豪雨:紀伊半島から関東地方にかけて発生 ~31 した豪雨災害、死者2人、負傷者7人</p> <p>10.23 イエメンで暴風雨が発生、死者が多数発生し、世界文化遺産「シバームの旧城壁都市」の建造物群に倒壊被害</p>	<p>1.30 中国製冷凍餃子の異物混入事件</p> <p>2.15 米国北イリノイ大学で銃乱射事件が発生し、6人死亡、16人が負傷、犯人は犯行後自殺</p> <p>2.17 アフガニスタン・カンダハルで自爆テロが発生し、約80人死亡</p> <p>2.24 キューバ国家評議会、フィデル・カストロ氏の後継に弟であるラウル・カストロ氏を選出</p> <p>2.25 韓国大統領に李明博氏就任</p> <p>3. 2 ロシア大統領選挙、ドミートリー・メドヴェージェフ氏当選</p> <p>3.14 中国・チベット自治区で、中国政府への抗議運動が暴動化、少なくとも18人死亡、380人以上負傷、403人逮捕</p> <p>3.22 台湾総統選挙、馬英九氏当選</p> <p>4.10 チベット仏教最高指導者ダライ・ラマ14世、日本と米国訪問</p> <p>5.26 三浦雄一郎氏、日本人最高齢75歳7ヶ月でチョモランマ登頂</p> <p>6. 8 秋葉原通り魔事件発生。7人死亡、10人負傷</p> <p>7. 7 北海道洞爺湖町で主要国首脳会議が開催 ~9</p> <p>7.22 八王子通り魔事件発生、1人死亡、1人負傷</p> <p>8. 6 モーリタニアでクーデター、ムハンマド・ウルド・アブデルアズィーズ氏が高等国家評議会議長就任</p> <p>8. 8 北京オリンピック開幕 (~24日)</p> <p>8. 8 ロシアとジョージア(グルジア)間で戦闘</p> <p>9.15 投資銀行リーマン・ブラザーズが経営破綻(リーマン・ショック)</p> <p>9.24 麻生内閣発足</p> <p>10. 1 松下電器産業がパナソニック株式会社に社名変更</p> <p>10. 8 南部陽一郎氏、小林誠氏および益川敏英氏がノーベル物理学賞受賞</p> <p>10. 9 下村脩氏がノーベル化学賞受賞</p> <p>10.17 国際連合総会で、非常任理事国に日本、ウガンダ、メキシコ、オーストリア、トルコの計5ヶ国が選出</p> <p>11. 4 米大統領選挙、民主党のバラク・オバマ氏が当選</p> <p>11.26 インドのムンバイにて大規模同時多発テロ事件が発生、 ~29 172人死亡、284人負傷</p> <p>12.13 福岡県太宰府市で、日中韓首脳会談が初開催</p> <p>12.27 イスラエルがガザ地区を空爆</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成21年 (2009)	<p>4.17 北海道支部総会・特別講演・特別報告会 参加者90名</p> <p>5.15 関西支部総会・特別講演・研究発表会 参加者55名</p> <p>5.15 中国四国支部総会・講演会 参加者43名</p> <p>5.15 九州支部総会・講演会 参加者50名</p> <p>5.15 東北支部総会・特別講演・討論会 参加者95名</p> <p>5.22 定例総会・シンポジウム 正会員2,033名 (H20年度末) 賛助会員93社 IAEG会員130名</p> <p>◎ シンポジウム テーマ 「関東平野の地盤と地下水環境—都市域の地下水問題の解決に向けて—」 特別講演「南関東地域における地下水問題の歴史と今後の課題—東京都を主体にして—」 遠藤 毅</p> <p>5.23 中部支部総会・講演会 参加者35名</p> <p>6.19 北陸支部総会・講演会 参加者35名</p> <p>7.25 現場研修会 「那須野原扇状地の水文地質と共生する農業」 参加者18名</p> <p>9. 1 法人化に伴い「一般社団法人日本応用地質学会」となる</p> <p>9. 9 第7回国際応用地質学会アジアシンポジウム「大規模建設～11 における地質工学的問題 (於 中国) 参加者約200名 (日本から12名) 特別招待講演 大島洋志</p> <p>10.22 H21研究発表会 東北支部共催 (於 山形) ～23 発表論文103編、参加者213名</p> <p>学会誌第50巻特集号「応用地質と市民生活」</p>	<p>2. 2 浅間山が噴火、噴煙は約2,000m上空まで達し、関東地方でも火山灰を確認</p> <p>3.10 桜島が爆発的噴火、大きさ1メートル超の噴石が飛散</p> <p>7.22 山口県で集中豪雨、防府市の特別養護老人ホームに大量の土砂が流れ込む、入居者7人死亡</p> <p>8.11 駿河湾地震：震源は静岡県御前崎沖 M 6.5、最大震度：6弱 (静岡県内)、死者1人、負傷者319人</p>	<p>1. 1 日本が国連安保理の非常任理事国に就任</p> <p>1.14 中央大学理工学部教授刺殺事</p> <p>1.21 バラク・オバマ氏、第44代米大統領に就任</p> <p>2.16 ヒラリー・クリントン米国务長官が来日</p> <p>2.17 中川昭一金融担当大臣が朦朧会見により辞表を提出</p> <p>2.24 麻生首相がホワイトハウスにてオバマ米大統領と日米首脳会談</p> <p>3. 3 民主党小沢一郎代表の第一公設秘書、西松建設前社長らが政治資金規正法違反容疑で逮捕</p> <p>3.10 日経平均株価の終値が7054円98銭、バブル崩壊後の最安値を更新</p> <p>3.23 第2回ワールドベースボールクラシックにて日本が2大会連続優勝</p> <p>3.29 森田健作氏が千葉県知事選挙に初当選</p> <p>4. 1 岡山市が政令指定都市に移行</p> <p>4.22 道路特定財源の廃止が決定</p> <p>4.26 名古屋市長選挙で民主党推薦の河村たかし氏が初当選</p> <p>5.11 詐欺容疑で起訴された小室哲哉氏に懲役3年、執行猶予5年の有罪判決</p> <p>5.11 小沢一郎民主党代表、代表職を辞職する意思を表明</p> <p>5.21 裁判員制度施行</p> <p>6. 1 75歳以上の高齢運転者の普通自動車運転免許等の更新の際に認知機能検査の義務付けを開始</p> <p>6.25 マイケル・ジャクソン氏が自宅で心肺停止状態となり逝去</p> <p>8.30 第45回衆議院議員総選挙にて民主党が大勝。政権交代へ。</p> <p>9. 1 消費者庁が発足</p> <p>9.16 鳩山内閣発足</p> <p>9.29 島根県出雲市の砂原遺跡で、12万年前頃の日本最古の旧石器20点の発見を発表</p> <p>10. 9 オバマ米大統領がノーベル平和賞を受賞</p> <p>11. 3 オバマ米大統領が初来日</p> <p>11. 5 国内初のプルサーマル発電が開始</p> <p>11.11 事業仕分け開始</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成22年 (2010)	<p>4.16 北海道支部総会・特別講演・特別報告会 参加者68名</p> <p>5.14 関西支部総会・講演会・研究発表会 参加者48名</p> <p>5.14 中国四国支部総会・講演会・見学会 参加者42名</p> <p>5.14 九州支部総会・講演会 参加者84名</p> <p>5.15 中部支部総会・特別講演 参加者51名</p> <p>5.28 東北支部総会・特別講演 参加者46名</p> <p>5.25 定時社員総会・シンポジウム 参加者190名 会長 千木良雅弘 副会長 脇坂安彦、中筋章人(～H23) 正会員2,006名 (H21年度末)、賛助会員90社 IAEG会員114名 名誉会員に奥園誠之、柴田祐啓、菅原 捷、田中芳則 古谷尊彦の5氏推薦 (名誉会員66名) 論文賞 2編 「岩石のせん断-透水-可視化同時試験装置の開発とそのデータの解析法」 朴 赫・長田昌彦・渡辺邦夫 「中央構造線の地表形態を変化させた四国法皇山脈の重力変形」 加藤弘徳・千木良雅弘 ◎シンポジウム テーマ「地すべりの初生と初生地すべりについて」 特別講演「初生地すべりの解剖学」千木良雅弘</p> <p>6.18 北陸支部総会・特別講演・発表会 参加者38名</p> <p>9. 4 国際応用地質学会(IAEG)第11回コンgres (於 ニュージ ～12 ーランド)、東北支部創立20周年記念事業に係る海外調査 団 参加10名</p> <p>10.11 H19研究発表会 中国四国支部共催 (於 松江) ～22 発表論文172編、参加者306名</p> <p>10.21 現場研修会 東北支部との共催「岩手・宮城内陸地震の災 害現象と復旧対策」参加者41名</p> <p>10. 「中国四国地方の応用地質学」を発刊 (中国四国支部)  学会誌第51巻特集号「地盤中の熱と応用地質」</p>	<p>1.13 ハイチ地震：震源はハイチ首都ポルトープランス付近 Mw 7.1、死者31万人以上</p> <p>2. 2 高速道路無料化社会実験路線となる37路線50区間を発表</p> <p>2.27 沖縄本島近海地震 震源は沖縄本島南東沖 M 7.2、最大 震度：5弱 (沖縄本島)</p> <p>2.28 チリ地震 (2010年)：震源はチリ中部沿岸 Mw 8.8、死 者800人以上</p> <p>3.20 国道1号第二京阪道路 (枚方IC-門真JCT間) 開通</p> <p>6.28 全国37路線50区間において高速道路無料化社会実験開始 (2011年3月31日まで)</p> <p>7.16 広島県庄原市で豪雨による土砂災害発生 (最大時間雨量9 1mm、3時間累積雨量173mm(広島県大戸雨量計)：、死者 1人、負傷者1人</p> <p>9. 4 カンタベリー地震 (2010年)：震源はニュージーランド・ クライストチャーチ Mw 7.0</p> <p>9.14 「霧島、伊豆大島、白滝」日本ジオパーク認定</p> <p>10. 3 「山陰海岸」世界ジオパーク認定</p> <p>10.14 現地時間8月5日に発生したチリ北部サンホセ鉱山落盤事 故で地下約700mに閉じ込められた33人が、現地時間10月 13日に全員無事救出</p> <p>10.18 奄美豪雨発生、20日は24時間降水量が700ミリを超える記 録的な豪雨となる</p> <p>10.21 羽田空港 D滑走路供用開始、新国際線ターミナル開業</p> <p>12. 4 東北新幹線 (八戸-新青森間) 開業</p>	<p>1. 1 平城遷都1300年祭開幕</p> <p>2.12 (現地時間) バンクーバー冬季オリンピック開幕</p> <p>3.26 子ども手当法が成立</p> <p>4. 8 オバマ米大統領とメドヴェージェフ・ロシア大統領が新核 軍縮条約に調印</p> <p>5.28 宮崎県で広がる家畜伝染病「口蹄疫」に対応する口蹄疫対 策特別措置法が参院本会議で可決・成立</p> <p>5.28 米アップル社の多機能携帯端末「iPad (アイパッド)」の 国内販売が始まる</p> <p>6. 2 鳩山首相が退陣表明</p> <p>6. 8 菅内閣発足</p> <p>6.11 FIFAワールドカップ南アフリカ大会が開幕、日本は海外 開催大会で初めての決勝トーナメント進出</p> <p>6.13 小惑星探査機「はやぶさ」が地球帰還</p> <p>8.21 第92回全国高等学校野球選手権大会決勝戦で、興南 (沖 縄) が東海大相模 (神奈川) に13-1で勝利し、史上6校目 となる春夏連覇を達成</p> <p>9.24 米大リーグ、シアトル・マリナーズのイチロー選手がメジ ャー史上初の10年連続のシーズン200安打を達成</p> <p>10. 6 米バドュー大の根岸英一特別教授、北海道大の鈴木章名 誉教授、米デラウェア大のリチャード・ヘック名誉教授 がノーベル化学賞受賞</p> <p>11. 5 尖閣諸島沖での海上保安庁巡視船と中国漁船の衝突ビデ オ映像がインターネットに流出</p> <p>11.13 アジア太平洋経済協力会議(APEC)が横浜で開催</p> <p>11.16 宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、小惑星「イトカワ」か ら帰還した探査機「はやぶさ」のカプセルに入っている微 粒子を分析し「イトカワ」のものと確認、小惑星の物質回 収は世界初の快挙</p> <p>12.15 絶滅種に指定されていた魚「クニマス」が、京都大学の中 坊徹次教授らにより70年ぶりに西湖で発見</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成23年 (2011)	<p>4.15 北海道支部総会・特別講演・特別報告会 参加者72名</p> <p>5.13 関西支部総会・講演会・研究発表会 参加者48名</p> <p>5.13 九州支部総会・講演会 参加者41名</p> <p>5.20 中国四国支部総会・講演会 参加者70名</p> <p>5.20 東北支部総会・特別講演・討論会 参加者90名</p> <p>5.21 中部支部総会・講演会 参加者37名</p> <p>6. 東日本大震災特別委員会発足</p> <p>6.17 定時社員総会・シンポジウム 参加者130名 正会員1,971名 (H22年度末)、賛助会員86社 IAEG会員99名</p> <p>◎シンポジウム テーマ「応用地質学の変遷と将来展望」 基調講演「応用地質学の将来展望」西垣 誠 特別講演「海外業務での光と影・中国での吊橋技術を中心にして」沈 赤</p> <p>6.24 北陸支部総会・特別講演 参加者38名</p> <p>7.15 報告会 (全地連と共催) 「地盤から見た東日本大震災」</p> <p>10.27 H23研究発表会 北海道支部共催 (於 札幌) ～28 発表論文129編、参加者236名 特別講演「地形変化と生物多様性－劣化と再生のシナリオ」中村太士</p> <p>11.28 現場研修会 地質学会との共催「霞ヶ浦のあゆみ－環境変遷、過去から未来へ－」参加者32名</p> <p>12.25 設立50周年記念出版物「原典からみる応用地質学－その理論と実用－」発刊</p> <p>学会誌第52巻特集号「斜面防災に貢献する応用地質学」</p>	<p>1.19 霧島山 (新燃岳) でマグマ水蒸気爆発と思われる噴火が発生、26日には本格的なマグマ噴火が始まり9月頃まで継続</p> <p>2.22 カンタベリー地震 (2011年) : 震源はニュージーランド・クライストチャーチ Mw 6.3、死者185人 (日本人28人を含む)</p> <p>3. 9 三陸沖地震 (2011年) : 震源は三陸沖 M 7.3、最大震度: 5弱、55cmの津波が観測される</p> <p>3.11 東北地方太平洋沖地震: 震源は三陸沖 Mw 9.0、最大震度: 7、9.3m以上の津波、死者19,630人、行方不明者2,569人</p> <p>3.11 東北地方太平洋沖地震により、東京電力福島第一原発で炉心溶融、水素爆発、事業所外への放射性物質の放出を伴う事故が発生</p> <p>3.12 長野県北部地震: 震源は長野県・新潟県県境付近 M6.7、最大震度: 6強、死者3人</p> <p>3.12 九州新幹線 (博多－新八代間) 開業。</p> <p>3.12 札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ) が開通。</p> <p>3.15 静岡県東部地震: 震源は静岡県東部 M 6.4、最大震度: 6強</p> <p>3.19 北関東自動車道 (太田桐生IC－佐野田沼IC間) 開通により北関東自動車道が全線開通。</p> <p>3.27 名古屋市営地下鉄桜通線 (野並－徳重間) 開業。</p> <p>4. 7 宮城県沖地震: 震源は宮城県沖 M 7.2、最大震度: 6強、死者4人</p> <p>4.11 福島県浜通り地震: 震源は福島県浜通り M 7.0、最大震度: 6弱、死者4人</p> <p>6.30 長野県中部地震: 震源は長野県松本市付近 M 5.4、最大震度: 5強、死者1人</p> <p>7.27 平成23年7月新潟・福島豪雨: 新潟県や福島県会津における大雨で、死者4人、行方不明者2人</p> <p>8.30 紀伊半島豪雨: 台風12号の大雨で、紀伊半島を中心に大規模な土砂災害等が発生、死者82人、行方不明者16人</p> <p>9.18 インド北東部地震: 震源はインド・ネパール国境付近 Mw 6.9、死者100人超</p> <p>9.15 台風15号上陸、暴風・大雨により、宮城県、静岡県、愛知県などで死者19人、行方不明者1人</p> <p>10. 8 タイ大洪水: 7月下旬からの豪雨により、大規模な洪水が発生し、タイ政府が対策本部を設置、死者815人</p> <p>10.23 トルコ東部地震: 震源はトルコ・ヴァン付近 Mw 7.2、死者600人超</p>	<p>1.14 菅第2次改造内閣発足</p> <p>1.14 チュニジアでジャスミン革命と呼ばれる民主化運動により、ベン・アリ大統領が国外脱出し、独裁政権が崩壊</p> <p>1.22 JAXAの宇宙ステーション補給機HTV-2 (こうのとり2号) 打ち上げ、28日に国際宇宙ステーションにドッキング</p> <p>2. 6 日本相撲協会が、八百長問題のため春場所の中止を決定</p> <p>4. 1 NHKの衛星放送BS1、BSプレミアムが、ともにハイビジョンで放送開始</p> <p>6.24 スポーツ基本法公布 (8.24施行)</p> <p>7. 8 スペースシャトル・アトランティスが国際宇宙ステーションへ飛行、スペースシャトルの最後の飛行となった</p> <p>7.18 FIFA女子ワールドカップドイツ大会で、サッカー日本女子代表が初優勝、年末には「なでしこジャパン」が新語・流行語大賞を受賞</p> <p>7.24 地上アナログテレビ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行、なお、東北地方太平洋沖地震により大きな被害を受けた岩手・福島・宮城の3県では2012年3月31日までアナログ放送を継続</p> <p>9. 2 野田内閣発足</p> <p>10.31 国連人口基金の推計で、世界人口が70億人に達する</p> <p>10.11 滋賀県大津市で中学2年生がいじめを苦に自殺、本事件などを契機に、2013年にいじめ防止対策推進法が成立</p> <p>12.17 北朝鮮の金正日総書記が死去</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
<p>平成24年 (2012)</p>	<p>4.20 北海道支部総会・特別講演・特別報告会 参加者100名                      5.11 関西支部総会・講演会・研究発表会                      5.13 地質の日記念 街中ジオ散歩in Tokyo「身近な地層や岩石を知ろう」(於 千代田区界限、地質学会と共同主催) 参加者32名                      5.18 九州支部総会・講演会 参加者91名                      5.18 中国四国支部総会・講演会 参加者68名                      5.18 東北支部総会・特別講演 参加者112名                      5.19 中部支部総会・講演会 参加者32名                      6. 1 定時社員総会・シンポジウム 参加者147名                          会長 千木良雅弘 副会長 脇坂安彦、大塚康範(~H25)                          正会員1,952名 (H23年度末)、賛助会員81社                          IAEG会員92名                          名誉会員に石橋弘道、岩松 暉、内瀬戸信彦、桑原啓三、                          田川弘義、田中富男、福富幹男、吉田鎮男の8氏推薦                          (名誉会員74名)                          論文賞 2編                          ・「地震時の自然斜面崩壊に関する調査と解析ー中越地震の                            2つの斜面崩壊を例としてー」 亀谷裕志・金井哲男                          ・「竜の口層の堆積岩における重金属類の溶出挙動および形                            態変形に及ぼす風化の影響」 須藤孝一                      ◎シンポジウム テーマ「最近の地形の計測技術と応用地質                        学への適用」                          特別講演「地形変化の予知・遡知と応用地質学の接点」松                          倉公憲                      6. 8 現場研修会「地形・地質が物語る過去の地震ー南房総を訪                        ねてー」                      6.24 北陸支部総会・特別講演 参加者38名                      7.13 シンポジウム(全地連と共催)「地盤から見た“東日本大震                        災”」参加者約200名                      11. 1 H24研究発表会 北陸支部共催 (於 新潟)                        ~ 2 発表論文120編、参加者225名                          特別講演「新潟地域の石油・天然ガス開発と今後の展開ー                          炭鉱・開発・生産から販売までー」 深澤 光                       学会誌第53巻特集号「震災の対応および復興にかかわる応用地                      質学の貢献」</p>	<p>2. 6 ネグロス島沖地震：震源はフィリピン・ネグロス島                      Mw 6.7、死者51人                      2. 7 岡山県倉敷市のJX日鉱日石エネルギー水島製油所で、海底                      パイプライン敷設等のためのトンネル掘削工事中に落盤                      事故が発生、トンネル内に海水が流入し、工事現場の作業                      員5人が死亡                      2.29 東京スカイツリー竣工 (5.22開業)                      4.11 スマトラ島沖地震 (2012年)：震源はインドネシア・スマ                      トラ島沖 Mw 8.6、死者10人以上                      4.19 東京電力福島第一原発の1~4号機の廃炉が決定                      5. 6 茨城県つくば市で大型突風発生、死者1人                      6.20 原子力規制委員会設置法が成立                      6.29 整備新幹線新函館ー札幌、金沢ー敦賀、諫早ー長崎3区間                      の着工認可                      7.11 九州北部豪雨：熊本、福岡、大分、佐賀の4県で大雨とな                      り各地で河川の氾濫や土石流が発生し、死者30人、行方不                      明者2人                      10.29 ハリケーン「サンディ」が米国東部に上陸。米国・カナダ                      における死者132人 (他国でも犠牲者有)                      12. 2 中央自動車道笹子トンネル上り線で天井板崩落事故、9人                      が死亡                      12. 7 三陸沖地震 (2012年12月)：震源は三陸沖 M 7.3、最大                      震度：5弱、死者1人</p>	<p>2.27 半導体DRAM大手のエルピーダメモリが会社更生法を申                      請し経営破綻                      3. 1 格安航空会社ピーチアビエーション就航                      3.31 東日本大震災の影響で終了時期が延期されていた岩手・                      宮城・福島の3県の地上アナログ放送が終了し、全国で放                      送の完全デジタル化が完了                      4.11 金正恩氏が朝鮮労働党の第一書記に就任                      4.29 関越自動車道高速バス居眠り運転事故で乗客7人が死亡                      5.21 北太平洋上を中心に金環日食を観測                      6.26 消費税率を2014年4月1日から8%、2015年10月から10%                      に引き上げる消費税法改正法案が衆議院本会議で可決                      (参議院では8月19日可決、のちに10%への引き上げは20                      17年4月への延期を表明)                      7. 3 格安航空会社ジェットスター・ジャパン就航                      7.27 (現地時間) ロンドンオリンピック開幕 (~8.12)                      9.11 日本政府が尖閣諸島の魚釣島および南小島、北小島を国                      有化                      10. 8 京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受                      賞                      10.26 Microsoft Windows8発売                      12.16 第46回衆議院議員総選挙で自民党が単独で絶対安定多数                      を確保する294議席を確保                      12.26 第2次安倍内閣が発足</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成25年 (2013)	<p>4.17 北海道支部総会・特別講演・特別報告会 参加者128名</p> <p>5.12 地質の日記念 街中ジオ散歩in Tokyo「身近な地層や岩石を知ろう」(於 北区王子界限、地質学会と共同主催・深田研共催) 参加者39名</p> <p>5.17 中国四国支部総会・講演会 参加者55名</p> <p>5.17 東北支部総会・特別講演・討論会 参加者100名</p> <p>5.25 中部支部総会・講演会 参加者32名</p> <p>5.31 関西支部総会・講演会・研究発表会 参加者56名</p> <p>5.31 九州支部総会・講演会・報告会 参加者78名</p> <p>6.20 北陸支部総会・特別講演 参加者30名</p> <p>6.21 定時社員総会・シンポジウム 参加者120名 正会員1,920名(H24年度末)、賛助会員82社 IAEG会員90名</p> <p>◎シンポジウム テーマ「東日本大震災後の応用地質学の課題—新たな課題としての廃棄物処理と放射能汚染—」 特別講演:「災害に伴う廃棄物の処理」遠藤和人 「森林の放射能汚染と除染にむけた課題」高橋正通 「長崎における原爆由来の放射性核種の環境中での分布とその挙動」馬場保典</p> <p>9.24 第9回国際応用地質学会アジアシンポジウム「国際的に見た応用地質」(於 北京) 参加者220名(うち日本から4名) 基調講演; 千木良雅弘、IAEG総会を同時開催</p> <p>10.24 H25研究発表会・一般向け普及講演・見学会 中部支部~26 共催(於 名古屋) 発表論文115編、参加者234名 特別講演「歴史と現代を対比し克災する」福和伸夫 一般向け普及講演「世界遺産「熊野」-悠久の自然史と滝と深層崩壊」千木良雅弘 見学会「岐阜県東濃地域の地下環境」</p> <p>学会誌第54巻特集号「インフラの維持管理と応用地質—安心・安全な社会を目指して—」</p>	<p>2. 6 ソロモン諸島沖地震:震源は南太平洋・サンタクルーズ諸島付近 Mw 7.9、津波の高さ104cm、死者10人</p> <p>2. 8 中央自動車道笹子トンネル上り線復旧、対面通行規制解除</p> <p>3. 2 新石垣空港(南ぬ島石垣空港)が開港</p> <p>4.20 四川地震(2013年):震源は中国四川省 Ms 7.0、死者200人近く、負傷者5,000人以上</p> <p>6.22 富士山が世界文化遺産に登録</p> <p>7.22 甘肅地震:震源は中国甘肅省 Mw 5.9、死者95人</p> <p>8. 9 北東北や北海道で豪雨:土砂崩れや河川の氾濫等が発生、死者8人</p> <p>9.24 パキスタン地震:震源はパキスタン南西部 Mw 7.6、死者386人、負傷者816人</p> <p>9.24 2011年のタイの大規模洪水の再来:大雨に伴う洪水被害で、150万人余りが被災</p> <p>10.15 ボホール地震:震源はフィリピン諸島・ミンダナオ付近 Mw 7.1、死者222人</p> <p>11.10 台風30号により、フィリピンで大規模な被害</p> <p>11.17 ベトナム中部で熱帯低気圧による大雨が続き洪水被害が拡大</p> <p>11.20 小笠原諸島・西之島南南東沖約500mの海域で、海底火山の噴火による新島出現を確認</p> <p>12.18 東京電力福島第一原発5・6号機の廃炉が決定、これにより同原発の1~4号機と合わせ同発電所の6原子炉全てが廃炉となること決定</p>	<p>2.15 ロシア・チェリャビンスク州に隕石が落下し(直径17mの小惑星が大気圏に突入)、負傷者が出る</p> <p>4.15 ボストンマラソン爆弾テロ事件発生</p> <p>5.10 出雲大社で60年ぶりの本殿遷座祭が行われる</p> <p>5.23 J-PARCで放射性同位体の漏洩事故発生</p> <p>5.31 東京スカイツリーからテレビ放送開始</p> <p>7. 3 エジプトで軍部によるクーデター発生</p> <p>7.21 第23回参議院議員通常選挙で与党自民党が大勝</p> <p>8. 9 財務省、国の借金が1,000兆円を突破したことを発表</p> <p>8.12 高知県四万十市で、当時の国内観測史上最高気温となる41.0度を記録</p> <p>8.29 JR山梨リニア実験線の全線完成により試験走行再開</p> <p>9. 7 2020年夏季オリンピック開催地が東京に決定</p> <p>10. 1 安倍首相が来年4月から消費税率引き上げ(5%→8%)を正式に表明し、閣議決定</p> <p>10. 5 伊勢神宮の内宮で、御神体を旧殿から新殿へと遷す式年遷宮の主要行事「遷御」が行われる</p> <p>10.15 JR九州、約30億円を投じた車両を使用する豪華寝台列車「ななつ星in九州」の運行を開始</p> <p>11.23 中国政府が、日本が領有を主張する東シナ海の尖閣諸島を含む上空を防空識別圏に設定</p> <p>12. 6 南アフリカ共和国のネルソン・マンデラ元大統領死去</p> <p>12. 6 特定秘密保護法の成立</p> <p>12.14 中国の無人月探査機「嫦娥3号」が月面着陸に成功</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成26年 (2014)	<p>4.16 北海道支部総会・特別講演 参加者104名</p> <p>5.10 地質の日記念 街中ジオ散歩in Tokyo「下町の地盤沈下と水とくらし」(於江東区,地質学会と共同主催) 参加者25名</p> <p>5.16 東北支部総会・特別講演・討論会 参加者97名</p> <p>5.17 中部支部総会・講演会 参加者37名</p> <p>5.23 中国四国支部総会・講演会 参加者68名</p> <p>5.23 九州支部総会・講演会・報告会 参加者75名</p> <p>6. 6 定時社員総会・シンポジウム 参加者160名 会長 長谷川修一 副会長 木谷日出男、大塚康範(~H27) 正会員1,901名 (H25年度末)、賛助会員82社 IAEG会員91名 名誉会員に岩尾雄四郎、岩崎好規、大島洋志、北野晃一、田野久貴、堀 義直、吉中龍之進の7氏推薦(名誉会員81名) 論文賞 2編 「地すべり移動体を特徴付ける破碎岩-四万十帯の地すべりを例として-」脇坂安彦・上妻睦男・綿谷博之・豊口佳之 「山梨県北部、風化花崗岩における初生地すべりの変位率と内部構造」 鶴澤貴文・稲垣秀輝・小坂英輝 ◎シンポジウム テーマ「土砂災害の軽減に向けてー大規模斜面変動の前兆と評価」 招待講演「豪雨による斜面大規模崩壊と対応」東畑郁生 特別講演「深層崩壊の場所の予測と今後の研究展開について」千木良雅弘</p> <p>6.19 関西支部総会・講演会・研究発表会 参加者47名</p> <p>6.19 北陸支部総会・特別講演 参加者44名</p> <p>8.25 広島土砂災害調査団第1回会議</p> <p>9.14 第12回IAEGコンgres (於 イタリア) 総会を同時開催 ~20 第14回海外応用地質学調査団現地調査 (マルパッセダム、バイオントダム)</p> <p>10.29 H26研究発表会・見学会 九州支部共催 (於 福岡) ~31 発表論文129編、参加者301名 特別講演「地震・火山噴火予知研究の現状と課題」清水洋 災害緊急セッション(広島土砂災害) 見学会「雲仙の復興・火山防災の現在」</p> <p>11. 8 現場研修会・講習会「伊豆大島土砂災害より学ぶ:土砂 ~10 災害の要因と対策 (伊豆大島豪雨災害緊急調査団報告)」 参加者23名</p> <p>学会誌第55巻特集号「激甚化する気象災害への対応ー応用地質学的観点からー」</p>	<p>2.11 東駿河湾環状道路 (三島塚原ICー函南塚本IC間) 開通</p> <p>2.14 インドネシアのケルート山で噴火: 死者2人</p> <p>3. 7 大阪市で阿部野橋ターミナルビル (あべのハルカス) が完成、高さ300 mの日本一高いビルとなる</p> <p>4. 2 イキケ地震: 震源はチリ沖 Mw 8.1、死者6人</p> <p>4. 5 東日本大震災で被災した南リアス線の一部で運転再開</p> <p>4. 6 東日本大震災で被災した北リアス線の一部で運転再開</p> <p>5. 2 アフガニスタン地すべり災害、死者数百人</p> <p>5. 5 伊豆大島近海地震: 震源は伊豆大島近海 M 6.0、最大震度: 5弱、負傷者15人</p> <p>6.28 圏央道 (相模原愛川ICー高尾山IC間) が開通、東名ー中央道ー関越道が接続</p> <p>7. 7 気象庁による初の特別警報発表、9日には長野県南木曾町の木曾川支流で土石流が発生、死者1人</p> <p>7.16 九州電力川内原発1・2号機が原子力規制庁の安全審査に合格</p> <p>7.20 舞鶴若狭自動車道が全線開通</p> <p>8.20 広島市豪雨土砂災害: 死者74人</p> <p>9.27 御嶽山噴火: 死者58人</p> <p>12.13 東九州自動車道 (行橋ICーみやこ豊津IC間) 開通</p> <p>12.17 リニア中央新幹線の2027年開業へ向けた建設開始</p>	<p>1.29 日米の共同研究チーム、万能細胞「STAP細胞」の作製成功を発表</p> <p>2. 7 (現地時間) ソチオリンピック開幕 (~2.23)</p> <p>3. 1 中国の昆明駅でテロ事件、死者少なくとも29人</p> <p>3. 9 若田光一さんが国際宇宙ステーションの船長に就任(日本人初)</p> <p>3.31 テレビ番組「笑っていいとも!」の放送終了</p> <p>3.26 北朝鮮が中距離弾道ミサイル「ノドン」2発を日本海へ向け発射</p> <p>4. 1 消費税率が5%から8%へ、印紙税も引き上げ</p> <p>4. 9 Windows XPのサポート期間終了</p> <p>4.16 韓国「セウォル号」沈没、死者299人</p> <p>5.13 トルコ・ソマ炭鉱爆発事故、死者301人</p> <p>5.20 タイ陸軍、全国土に厳戒令発令</p> <p>5.22 タイ軍事クーデター</p> <p>6.12 (現地時間) FIFAワールドカップブラジル大会開幕 (~7.13)</p> <p>6.21 富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録決定</p> <p>7. 2 ネイチャー、「STAP細胞」に関する論文を撤回</p> <p>7.17 マレーシア航空17便墜落事件、死者298人</p> <p>9.18 スコットランドで英国からの独立を問う住民投票を実施、結果は否決</p> <p>10. 9 青色発光ダイオードの発明により赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏がノーベル物理学賞を受賞</p> <p>11.12 無人探査機「ロゼッタ」が世界初の彗星着陸に成功</p> <p>12. 3 小惑星探査機「はやぶさ2」打ち上げ成功</p> <p>12. 5 大韓航空ナッツ・リターン事件</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成27年 (2015)	<p>2.21 広島土砂災害調査団報告会「平成26年広島土砂災害に学ぶー土地の成り立ちを知り、土砂災害から身を守るー」(於 広島) 参加者約100名</p> <p>4.17 北海道支部総会・特別講演 参加者104名</p> <p>5.10 地質の日記念 街中ジオ散歩in Tokyo「等々力溪谷の地質と人の関わり」(於 等々力溪谷界限、地質学会と共同主催)参加者29名</p> <p>5.15 東北支部総会・特別講演・討論会 参加者48名</p> <p>5.22 中国四国支部総会・講演会 参加者61名</p> <p>5.29 九州支部総会・講演会 参加者64名</p> <p>5.30 中部支部総会・講演会 参加者37名</p> <p>6.12 定時社員総会・シンポジウム 参加者215名 正会員1,827名 (H26年度末)、賛助会員82社 IAEG会員88名</p> <p>◎シンポジウム テーマ「土木地質図の信頼性に関する課題とその対策ー物理探査の活用による土木地質調査の信頼性向上と効率化に向けてー」 招待講演「土木地質調査における物理探査の貢献」茂木透 特別講演「土木地質における岩盤のモデル化とその留意点」脇坂安彦</p> <p>6.24 北陸支部総会・特別講演 参加者37名</p> <p>6.26 関西支部総会・講演会・研究発表会 参加者47名</p> <p>9.24 H27研究発表会 関西支部共催 (於 京都) ～25 発表論文109編、参加者255名 特別講演「地震考古学から関西の大地震を考える」寒川旭</p> <p>9.26 第10回国際応用地質学会アジアシンポジウム「テーマ；地質災害と応用地質」・巡検 (於京都ほか) 参加者210名(うち国内115名) 発表161、基調講演6、招待講演5</p> <p>10. 2 現場研修会・講習会「福井県西部地域のトンネル建設と地形・地質」参加者9名</p> <p>10.27 IAEG後援「EGNM2015」開催 於ニューデリー 基調講演；長谷川修一、IAEG総会を同時開催</p> <p>12 「平成26年広島大規模土砂災害調査団報告書 土地の成り立ちを知り土砂災害から身を守る」を発刊</p> <p>12.11 応用地形学研究部会・災害地質研究部会 鬼怒川洪水災害現場巡検</p> <p>学会誌第56巻特別号「土砂災害の軽減に向けて：大規模斜面変動の前兆と評価ー応用地質学的観点からー」 学会誌第56巻特集号「トンネル建設に関わる応用地質学」</p>	<p>1.31 浜松市天竜区佐久間町河合で発生した土砂崩れにより天竜川に架かる原田橋が崩落、斜面点検作業を行っていた浜松市職員2人が死亡</p> <p>3. 1 常磐自動車道(富岡ICー浪江IC間) 開通(全線開通)</p> <p>3.14 北陸新幹線(長野ー金沢間) 開業、北斗星廃止によりブルートレイン全廃</p> <p>3.21 東日本大震災で被災したJR石巻線全線復旧</p> <p>4.14 関西電力高浜原発再稼働差し止め仮処分決定(福井地裁)</p> <p>4.25 ネパール地震：震源はカトマンズの北西77km Mw 7.8、死者8,500人以上</p> <p>5. 6 箱根山噴気活動活発化、噴火警戒レベル2</p> <p>5.29 口永良部島新岳噴火：火砕流発生、初の噴火警戒レベル5発表により1年にわたって全島避難</p> <p>5.30 東日本大震災で被災したJR仙石線全線復旧</p> <p>6.11 浅間山活動活発化、噴火警戒レベル2</p> <p>6.16 浅間山ごく小規模な噴火 ～19</p> <p>6.30 箱根山ごく小規模な水蒸気噴火、噴火警戒レベル3で箱根町は大涌谷より半径1km避難指示</p> <p>8.11 九州電力川内原発再稼働、新規制基準による初の再稼働</p> <p>8.15 桜島山体膨張と火山性地震の急増。噴火警戒レベル4に引き上げ、200万m<sup>3</sup>のマグマ貫入があるも噴火せず</p> <p>9.10 関東・東北豪雨：茨城県、栃木県、宮城県を中心に甚大な被害、常総市三坂町で鬼怒川堤防破堤、死者14人(災害関連死6人含む)、家屋全壊81棟、半壊7,045棟</p> <p>10.14 横浜市マンション傾斜。杭打ち工事のデータ改ざん発覚</p> <p>12. 6 仙台地下鉄東西線(八木山動物公園ー荒井間) 開業</p> <p>12.10 改正航空法施行、ドローン等の無人飛行機に規制</p> <p>12.24 関西電力高浜原発再稼働差し止め仮処分取消(福井地裁)</p>	<p>1. 3 イスラム過激派組織ボコ・ハラムがナイジェリア・ボルノ州バガで2,000人以上を虐殺</p> <p>7. 5 「明治日本の産業革命遺産ー製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産登録</p> <p>7.23 油井亀美也氏搭乗ロケットが国際宇宙ステーションに向けて打ち上げ成功、滞在141日16時間</p> <p>7.25 調布飛行場を離陸した小型飛行機が近傍の住宅密集地に墜落、9棟が破損・焼損、パイロットと住民の計3人が死亡</p> <p>8.12 中国・天津市で危険物倉庫が大爆発。死者165人、行方不明者8人</p> <p>9. 1 7月に決定した東京五輪エンブレムを白紙撤回、ベルギーの劇場ロゴマークに酷似のため</p> <p>9.20 ラグビーワールドカップで日本が南アフリカに歴史的勝利</p> <p>10. 5 大村智氏がノーベル生理学・医学賞受賞</p> <p>10. 6 梶田隆章氏がノーベル物理学賞受賞</p> <p>11.11 初の国産ジェット旅客機MRJが初飛行</p> <p>11.14 パリ同時多発テロ発生、死者130人</p> <p>12.13 第21回気候変動枠組条約締約国会議(COP21)パリ 協定締結</p> <p>12.25 中国主導のアジアインフラ投資銀行(AIIB)発足</p> <p>12.31 113番元素について、理化学研究所の研究グループが発見者として国際機関で認定され、命名権を獲得。後にニホニウムと命名</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成28年 (2016)	<p>1. 9 防災学術連携体設立(日本応用地質学会も構成団体となる)</p> <p>4.22 2016年熊本・大分地震災害調査団立上げ</p> <p>4.22 北海道支部総会・特別講演 参加者59名</p> <p>5.14 地質の日記念 街中ジオ散歩in Tokyo「国会議事堂衆議院内」(地質学会と共同主催) 参加者51名</p> <p>5.14 中部支部総会・講演会 参加者86名</p> <p>5.20 関西支部総会・講演会・研究発表会 参加者54名</p> <p>5.27 東北支部総会・特別講演・討論会 参加者44名</p> <p>5.27 中国四国支部総会・講演会 参加者54名</p> <p>5.27 九州支部総会・特別講演 参加者83名</p> <p>6.10 定時社員総会・シンポジウム・平成28年(2016年)熊本地震緊急報告会 参加者194名 会 長 脇坂安彦 副会長 木方建造、茶石貴夫(～H30) 正会員1,798名(H27年度末)、賛助会員82社 IAEG会員84名 名誉会員に磯部一洋、宇田進一、遠藤 毅、大島紀房、中川康一、西尾喬夫、古部 浩、若松幹男の8氏推薦(名誉会員89名) 論文賞 2編 「宇宙線生成核種による山地流域からの長期的土砂生産量の推定」松四雄騎・千木良雅弘 「宮崎県耳川流域塚原地点で発生した深層崩壊」林 信夫・田中和広・吉武宏晟 ◎シンポジウム テーマ「地下水の見方・捉え方」 基調講演「非定常な地下水挙動と応用地質学」徳永朋祥</p> <p>6.20 「若き技術者のための岩盤の地質工学的評価と分類」(岩盤分類再評価研究小委員会編)を発刊</p> <p>6.22 北陸支部総会・特別講演 参加者37名</p> <p>9. 1 「活断層がわかる本」(地盤工学会・日本応用地質学会・日本地震工学会編)を発刊</p> <p>10. 6 現地講習会「大規模コンクリートダム設計施工と応用地質」(於 ハッ場ダム)参加者11名</p> <p>10.26 H28研究発表会 東北支部共催(於 仙台) 発表論文124編～27 参加者287名</p> <p>11.21 現地見学会「平成26年広島土砂災害に学ぶー土地の成り立ちを知り、土砂災害から身を守るー」(於 広島市安佐南区緑井～八木地区) 参加者25名</p> <p>11.22 日本応用地質学会共催 Viet-Geo2016をハロン市で開催</p> <p>学会誌第57巻特集号「新しい計測技術と応用地質学」</p>	<p>2. 6 台湾南部地震:震源は台湾・高雄市 Mw 6.4、台南市で16階建てビルが倒壊し、死者116人</p> <p>3.26 北海道新幹線(新青森-新函館北斗間)開業</p> <p>4. 4 JR新宿駅南口の線路上空に、高速バスの乗降場を集約した日本一の交通ターミナル「バスタ新宿」が開業</p> <p>4.14 熊本地震:震源は熊本県益城町付近 M 7.3、最大震度7・16 死者269人(関連死含む)最大震度7の地震が2回発生、住宅被害は20万棟以上に上り、熊本城天守閣も一部損壊</p> <p>4.17 エクアドル地震:震源はエクアドル・ムイスネ付近、Mw 7.8、死者661人</p> <p>5. 6 羽田空港C滑走路地盤改良工事で液状化を防ぐ薬液の注入量データを施工会社が改ざんし、国土交通省に虚偽の報告をしていたと発表</p> <p>7. 1 バングラデシュの首都ダッカで「イスラム国」(IS)などの過激派組織が関与したとみられるテロによりJICAのインフラ事業事前調査プロジェクトに携わっていた日本人7名が犠牲に</p> <p>8.24 イタリア中部地震:震源はイタリア中部。Mw 6.2、死者約300人</p> <p>8.29 第35回国際地質学会議開催(於 ケープタウン)～9.1 IAEG総会を同時開催</p> <p>8.30 大型の台風10号の影響で、岩手県と北海道を中心に記録的大雨、久慈川の氾濫や空知川が決壊するなど、死者、行方不明者27人</p> <p>10.21 鳥取県中部地震:震源は鳥取県中部、M6.6、最大震度6弱</p> <p>11. 4 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で採択された地球温暖化対策の新たな枠組み「パリ協定」が発効</p> <p>11. 8 博多駅近くの福岡市営地下鉄延伸工事で、地表部の市道が幅27m、長さ30m、深さ最大15mにわたって陥没</p> <p>11.13 北カンタベリー地震:震源はニュージーランド南島北東部 Mw 7.8、死者2人</p> <p>12.17 ニューアイルランド地震:震源はパプアニューギニア沖 Mw 7.9</p> <p>12.21 日本原子力研究開発機構の高速増殖炉「もんじゅ」(福井県敦賀市)の廃炉が正式に決定</p> <p>12.22 新潟県糸魚川市で大規模火災、フェーン現象による強い南風にあおられ140棟以上が焼損</p>	<p>1. 6 北朝鮮が「初の水爆実験を実施した」と発表、核実験は通算4回。</p> <p>1.29 日銀がマイナス金利政策の導入を決定</p> <p>2.17 X線天文衛星「アストロH」を搭載したH2Aロケット30号機が鹿児島県種子島宇宙センターからの打ち上げに成功し、同衛星を「ひとみ」と命名</p> <p>5.26 主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開幕、世界経済やテロの脅威などへの対応を盛り込んだ首脳宣言を採択</p> <p>5.27 オバマ米大統領が現職の米大統領として初めて広島を訪問、原爆死没者慰霊碑に献花</p> <p>6. 1 政府は翌2017年4月に予定していた消費税率10%への引き上げを2019年10月に再延期することを決定</p> <p>6.19 選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が施行</p> <p>6.24 英国が国民投票で欧州連合(EU)離脱を選択</p> <p>7.10 第24回参議院議員通常選挙実施、与党の自民、公明のほか憲法改正に前向きな勢力が2/3を超える議席を獲得</p> <p>7.14 欧州連合(EU)離脱を決めた英国で、与党・保守党党首のメイ新首相が就任</p> <p>7.22 スマートフォン向けゲーム「ポケモンGO」の配信が欧米に続いて日本でも開始</p> <p>7.26 神奈川県相模原市の知的障害者福祉施設「津久井やまゆり園」で元職員の男が刃物を持って侵入、入所者19人を殺傷</p> <p>7.31 小池百合子氏が東京都知事に当選。築地市場の豊洲への移転の延期を決定</p> <p>8. 5 (現地時間) リオデジャネイロオリンピック開幕</p> <p>8. 8 天皇陛下が退位の意向を示唆</p> <p>10. 3 東京工業大の大隅良典名誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞</p> <p>10.31 2016年に日本を訪れた外国人旅行者数が、年初から10月30日までの暦年で初めて2,000万人を超えたと国土交通省が発表</p> <p>11. 2 気象衛星「ひまわり9号」を搭載したH2Aロケット31号機が鹿児島県種子島宇宙センターより打ち上げに成功</p> <p>11. 7 厚生労働省は、電通本社(東京)と3支社に対し、労働基準法違反容疑で強制捜査、複数の社員に違法な長時間労働をさせた疑い</p> <p>11. 9 米大統領選で共和党候補のドナルド・トランプ氏が当選</p> <p>12. 9 韓国朴槿恵大統領の弾劾訴追案が賛成多数で可決し、任期途中で退陣</p>

年	学 会 活 動 史	関 連 事 項	一 般 社 会 史
平成29年 (2017)	<p>4. 「2016年熊本・大分地震災害調査団報告書～熊本の大地・新たな伝承の始まり～」を発刊</p> <p>4.19 千木良雅弘 日本応用地質学会推薦 文部科学大臣表彰を受賞</p> <p>4.21 北海道支部総会・特別講演 参加者82名</p> <p>4.29 2016熊本・大分地震災害調査団報告会 「熊本の大地・新たな伝承の始まり」(於 熊本) 参加者208名</p> <p>5.10 「北海道地方土木地質図および同解説書」(北海道土木地質データ作成委員会編)を発刊(北海道支部)</p> <p>5.14 地質の日記念 街中ジオ散歩in Tokyo「国分寺崖線と玉川上水」(於 国分寺市・小平市、地質学会と共同主催) 参加者28名</p> <p>5.20 中部支部総会・講演会 参加者84名</p> <p>5.19 関西支部総会・講演会・研究発表会 参加者51名</p> <p>5.19 東北支部総会・特別講演・討論会 参加者44名</p> <p>5.19 中国四国支部総会・講演会 参加者72名</p> <p>5.26 九州支部総会・特別講演 参加者110名</p> <p>6. 9 定時社員総会・シンポジウム 参加者137名 正会員1,803名(H28年度末)、賛助会員80社 IAEG会員79名</p> <p>◎シンポジウム テーマ「アウトリーチ de GO ～社会貢献が切り拓く応用地質学の未来～」 基調講演「日本応用地質学会がめざすアウトリーチ活動」 長谷川修一</p> <p>6.29 北陸支部総会・特別講演</p> <p>7.24 「2017年九州北部豪雨災害調査団」立ち上げ</p> <p>9.12 社会貢献と魅力発信に関する特別委員会 第1回会議</p> <p>10.12 H29研究発表会 中国四国支部共催(於 岡山) 発表論文～13 157編 参加者333名</p> <p>11.28 第11回国際応用地質学会アジアシンポジウム「防災に係る～30 応用地質」(於 ネパール)日本の参加者約50名、基調講演；千木良雅弘、長谷川修一、第15回海外応用地質学調査団現地調査(ポカラ盆地等) 参加者20名</p> <p>学会誌第58巻特集号「応用地質学におけるITの活用」</p>	<p>5.28 パキスタンからインド北西部の熱波で最高気温53.5℃を観測</p> <p>7. 5 九州北部等で記録的豪雨：死者42人、行方不明者2人</p> <p>7.28 経済産業省、高レベル放射性廃棄物の「科学的特性マップ」を公表</p> <p>10.11 霧島連山新燃岳6年ぶり噴火</p> <p>11.13 地質時代名に初の日本名「チバニアン」が内定</p> <p>12.13 四国電力伊方原発3号機運転差し止め</p>	<p>1.21 ドナルド・トランプ氏が第45代米大統領に就任</p> <p>2.13 クアラルンプール空港で金正男氏が殺害される</p> <p>2.14 東芝が米国などでの原子力事業で巨額損失を計上したと発表</p> <p>2.24 プレミアムフライデー初実施</p> <p>3.31 福島第一原発事故に伴う避難指示区域が浪江町などで解除</p> <p>4.25 普天間基地の名護市移設に向けて護岸工事が始まる</p> <p>6. 9 天皇の退位等に関する皇室典範特例法が成立</p> <p>6.12 上野動物園でパンダの赤ちゃんが誕生、「シャンシャン」と命名される</p> <p>6.13 ヒアリが国内で初めて確認される</p> <p>6.15 テロ等準備罪法が参院で可決、成立</p> <p>6.26 プロ棋士の藤井聡太四段(当時)が公式戦29連勝の新記録を達成</p> <p>7. 2 東京都議会選挙で自民党惨敗、小池都知事が率いる都民ファーストの会が第1党となる</p> <p>7. 9 福岡県の沖ノ島と関連遺産群がユネスコの世界文化遺産に登録される</p> <p>7.28 稲田防衛大臣が南スーダンでのPKOの日報を巡る問題の監督責任を取り辞任</p> <p>7.31 森友学園の前理事長とその妻が国の補助金をだまし取った詐欺容疑で逮捕される</p> <p>8.29 北朝鮮が弾道ミサイルを発射し日本上空を通過、Jアラートが発令される</p> <p>8.31 サッカーワールドカップロシア大会アジア最終予選で日本が6大会連続6度目の本大会出場を決める</p> <p>9. 3 秋篠宮眞子さまの婚約内定が発表される</p> <p>9. 9 男子陸上100メートルの桐生祥秀選手が日本学生選手権で日本人ではじめて10秒を切る9秒98の新記録を樹立</p> <p>10. 1 ラスベガスで史上最悪規模の銃乱射事件、50人以上死亡</p> <p>10.22 第48回衆議院議員総選挙で自民党が圧勝、立憲民主党が野党第1党に</p> <p>11. 5 トランプ米大統領が来日</p> <p>11.11 TPPの参加11ヶ国が米国を除く新協定の大筋合意を発表</p> <p>11.14 小池都知事、自ら立ち上げた希望の党の代表を辞任</p> <p>12. 1 今上天皇が2019年4月30日に退位し、5月1日に新天皇即位と改元が行われる日程が決まる</p>

平成 29 年 担当：阪元恵一郎、升元一彦  
平成 20 年～29 年 編集：赤澤正彦